

2001 年度 村井純研究会 卒業制作

個人情報提供時における 他者判断基準の導入

慶應義塾大学総合政策学部 4 年
今井 佑

学籍番号 79801065
メールアドレス you@sfc.wide.ad.jp

2002 年 1 月 31 日

概要

個人は、インターネット上のウェブサイトに対して個人情報を提供するか否かを、個人情報の取り扱い方に関する指針すなわちプライバシーポリシーの内容を元に判断する。しかし、プライバシーポリシーの妥当性・法的有効性などを個人が見極めることは、大量の文章を読まなければならない手間や判断材料の少なさから困難であり、現状では判断が個人の裁量にあまりに任せすぎているという問題点がある。

本論文の目的は、「個人情報を提供する際の判断リスク・コストの低減」を行うことにより、この問題の解決をはかることである。そのためにまず「プライバシー」と「個人情報」の概念について区別を行った上で、個人情報保護に関する既存の社会制度・技術を概観した。さらに既存の社会制度・技術における問題点について分析し、「個人情報提供時における他者判断基準の導入」という概念を提案した。これは他者(情報主体以外の人)がどのようにそのウェブサイトのプライバシーポリシーを読み取ったかを参考にすることで、判断に役立てられるようにするものである。概念を支えるのは「情報の共有とオープン性」「協調フィロタリング」「コミュニティによる情報のブラッシュアップ」の3点である。

提案に基づいた形でシステムを設計し実装した。備えるべき要件については、「ユーザーが容易に理解・利用でき、個人情報取扱事業者もシステムに対応させなくても可能な限り完全な形で動作すること」「可能な限り第三者機関に頼らないで判断できる仕組みを備えること」「社会制度に照らして明らかに問題があると判断される行為を個人情報取扱事業者が行う場合、格付け・評価を切り下げるなどによって対抗措置を取ることができること」「既に普及しているプラットフォームを選び、その上でシステムを構築すること」「個人情報をウェブサイトを提供するか否かの最終的な判断は情報主体が任意に決定できるようにすること」を定義した。

このシステムを「プライバシーポリシー評価館」と命名し運用した。ユーザーに実際に使ってもらった実験により評価した結果、ユーザーは従来と比べプライバシーポリシーの内容をより速く、正確に理解できるようになり、判断に迷うリスクが減少したことがわかった。詳細なプライバシーポリシー内容を知りたいと思った際の、時間的コストも減少していることも同時にわかった。また、他者によるプライバシーポリシー評価をコミュニティ全体でブラッシュアップさせ、情報の信頼性を向上させていくことで、判断をより正確で強固なものにできることが確かめられた。

キーワード

個人情報、個人情報保護、プライバシー、プライバシーポリシー、コミュニティ

Abstract

When one individual decide to offer his personal information to the website on the Internet or not, his decision is based on the privacy policy of the website which shows how to retrieve his personal information. However, it is difficult for one individual to judge the contents validity and legal validity. Because there are limited resources to use for the judgment, and moreover, one must check and read too much document. At present, one individual has the problem that decision is depended on his responsibility.

The purpose of this paper is to support one's decision by reducing judgment risks and costs. First, I distinguished the definition of "privacy" and "personal information." Second, I surveyed the existing social system and technology about protection of personal information, and then analyzed its problems. Third, I suggested the concept, "Sharing the others decision information when offer the personal information," to realize the purpose of this paper. This concept is referring to the judgment how the others read the privacy policy of the website, and enables to reuse it. Also this concept is supported by three points, "Sharing the information openly," "Cooperation filtering," and "Brush up of the information by the community."

The requirements of the system which based on the purpose were defined "Even if normal users can easily use and understand," "Does not annoy a personal information hander," "Users can be judged without relying on the third person organization as much as possible," "When a personal information hander performs illegal act, users can down its evaluation," "Choose the platform which has already popular and build a system on it," and "Final judgment whether decide to offer user's personal information to the website or not can be manually." And then designed and coded the system.

I named the system "Gallery of Privacy Policy Evaluation" and employed. As a result of using experiment for its users and evaluation, it turns out that users can understand the contents of a privacy policy more quickly and correctly, therefore the decision risk reduced. It was also cleared that the cost of time consuming when users wish to know the detailed contents of a privacy policy is also reduced. Moreover, privacy policy evaluations that users brushed up in the community were raised informational reliability.

Keywords

personal information, protection of personal information, privacy, privacy policy, community

目次

1	はじめに	8
1.1	背景と問題意識	8
1.2	本論文の目的	8
2	個人情報保護の現状	10
2.1	「プライバシー」と「個人情報」の概念	10
2.2	社会制度	11
2.2.1	OECD「理事会勧告・8原則」	11
2.2.2	EU(欧州連合)の「個人情報保護指令」	13
2.2.3	日本の「個人情報の保護に関する法律(案)」	13
2.3	社会制度の運用例	14
2.3.1	プライバシーポリシー	14
2.3.2	日本工業規格「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項」(JIS Q 15001)	15
2.3.3	財団法人日本情報処理開発協会(JIPDEC)のプライバシーマーク	16
2.4	技術	17
2.4.1	個人情報収集技術	17
2.4.2	セキュリティ技術	18
2.4.3	選択的な個人情報の送受信に関する技術	20
3	個人情報提供時における 他者判断基準の導入	22
3.1	問題分析	22
3.1.1	社会制度	22
3.1.2	技術	24
3.2	提案	25
3.3	要件定義	27
4	システムの設計と実装	29
4.1	概要	29

4.2	設計	30
4.2.1	クライアント側	30
4.2.2	サーバー側	31
4.3	実装	44
5	システムの運用と評価 _____	46
5.1	運用	46
5.2	評価	46
5.2.1	実験	46
5.2.2	結果	48
5.2.3	分析	57
6	結論 _____	60
6.1	判明点	60
6.2	今後の課題	60

目次

図 1 Yahoo! Japan のプライバシーポリシー	15
図 2 プライバシーマーク(P マーク)	16
図 3 個人情報保護マーク	17
図 4 BBBOnline seal	17
図 5 TRUSTe seal	17
図 6 プライバシーマーク+BBBOnline seal.....	17
図 7 SSL 交信中の鍵のアイコン	18
図 8 Secure Site シール	19
図 9 CA の発行する証明書	19
図 10 プライバシーレポート	25
図 11 システム概要.....	29
図 12 ツールバー型プラグイン.....	30
図 13 プラグインのメニュー	30
図 14 プライバシーポリシー評価を見る	33
図 15 プライバシーポリシー評価を登録する	34
図 16 ユーザー情報.....	36
図 17 ユーザー評価.....	37
図 18 賛成票を投じる	37
図 19 否定票を投じる	37
図 20 トップページ「プライバシーポリシー評価館」	38
図 21 ヘルプ.....	39
図 22 プライバシーポリシーへジャンプ(プラグインのメニューから「このウェブサイトのプライバシーポリシー」をクリック).....	40
図 23 プライバシーポリシーへジャンプ(自動的に飛ぶ).....	40

表目次

表 1 個人情報保護法案の 5 原則と OECD 理事会勧告の 8 原則との比較	14
表 2 PICS タグ	21
表 3 プライバシーポリシー評価項目	43
表 4 サイトリスト構造	44
表 5 プライバシーポリシー評価を得点化する計算式	44
表 6 「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーを見つけるまでの時間.....	48
表 7 「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーについてのテスト正答数(11 問中)49	
表 8 「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーについてのテスト用紙提出までの時間	50
表 9 「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーについてのテスト正答数(11 問中)	51
表 10 「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーについてのテスト用紙提出までの時間	52
表 11 調査票:「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーを読む際.....	53
表 12 調査票:「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーを「プライバシーポリシー評価」ツールバーを使って読む際	54

1 はじめに

1.1 背景と問題意識

軍事・学術ネットワークとして発達してきたインターネットが、民間に解放されて早くも10年近くが過ぎようとしている。他のメディアと比較すれば10年は短い歴史だが、インターネットは世界中で急速に普及し、社会に必要不可欠なインフラストラクチャーとして利用されるようになった[1][2][7]。しかしその一方で、従来の軍事・学術目的の利用形態では考えもつかなかったようなインターネットの問題点も同時に明らかになりつつある。具体的には著作権問題、セキュリティ問題、有害コンテンツ問題など多岐に渡る[14]が、本論文ではインターネット上で取り交わされる個人情報保護の問題について取り扱う。

情報化社会における個人情報保護の必要性は既に一般に認知されており[33]、様々な対処方法が考えられている。社会制度面からの対処としては、アメリカ・EU加盟国ではOECD「理事会勧告・8原則」[21]をふまえた個人情報保護関連法、日本では「個人情報の保護に関する法律(案)」[23][24]などがある。技術面からの対処としては、通信路の安全確保などセキュリティの強化技術、選択的な個人情報の送受信に関する技術などがある。

しかし、これらの社会制度や技術は、インターネットという大規模かつ多方面に渡って個人情報収集される世界では、解決しなければならない問題点も多い。例えば、いくつかの第三者機関が、個人情報保護規則を社会制度面・技術面から遵守しているウェブサイトに対し承認を行う制度を試みているが、参加しているウェブサイト自体に限られる上、逐一承認が降りているかどうかを調べなくてはならず、有意に機能しているとは言い難い状況にある。

1.2 本論文の目的

本論文の目的は、個人情報を提供する際の判断リスク・コストの低減をはかることである。現在、ウェブサイト運営する企業・団体の多くはプライバシーポリシーという形で、個人情報の取り扱い指針をウェブサイトに掲げ、利用しているセキュリティ技術の説明や内部での倫理規約を明示するなどして、プライバシー保護の指針を公開している。個人はプライバシーポリシーの内容を元に、個人情報を提供するか否かを判断する。しかしその一方で、プライバシーポリシーの妥当性・法的有効性などを個人が見極めるのは困難と言わざるを得ない。もちろん時間をかければ可能であるが、現状では実質的に判断に役立てることは難しい。結果として判断が個人の裁量にあまりに任せすぎているという問題点がある。

この問題の解決に向けて、本論文では次のような構成で論を進めていく。第2章では、「プライバシー」と「個人情報」の概念について区別を行った上で、個人情報保護に関する既存の社会制度・技術を概観する。第3章では、既存の社会制度・技術における問題点について分析し、本論文の目的である「個人情報を提供する際の判断リスク・コストの低減」を実

現するための望ましい概念として「個人情報提供時における他者判断基準の導入」を提案する。これに基づいた新しいシステムが備えるべき要件についても定義する。第 4 章では、定義した要件に基づき、システムの設計と実装を行う。第 5 章では、システムの運用について述べ、評価のために行った実験について結果をまとめ、分析を行う。最後に、第 6 章で本論文の結論を述べる。なお、付録としてソースコード、実験の際に使用したテスト用紙・調査票を加えた。

2 個人情報保護の現状

2.1 「プライバシー」と「個人情報」の概念

日本国憲法ではプライバシー権はそのものとしては基本的人権の中に規定されていない[31]。プライバシーと深く関わりがあると思われる権利、すなわち信教の自由、学問の自由、通信の自由などの多くの権利については、憲法は明文により規定している。そのため、プライバシー権は主に民事事件を通して、私人間の問題として認識された後、更に公権力から侵害を受けない権利として成長してきたという歴史を持った。プライバシーという権利が、国家によって政策的に認められてのものではなく、人間としての存在に基づく基本的なものとして存在すると理解できる。

しかしながらプライバシー権は判例上具体的に認められており、私生活そのものの安穏性確保を必要とした事件¹、無断で人の外貌を撮影してはいけないとした事件²、最近では、「石に泳ぐ魚」事件³、ネットワークで氏名を公表した行為をプライバシー侵害とした「神戸ネットワーク・プライバシー事件⁴」などがある。

一方で個人情報という言葉は、現在のような情報社会では必須のテクニカルタームとなりつつあるが、その内容は明確にされておらず、特にプライバシーとの関係が明らかでないため、混乱した状況におかれている。日本の政府関係機関などが発行している報告書などでも、個人情報とプライバシーはほとんど区別されず、同義に使われている。しかし、下記の議論では、個人情報(personal data)と、プライバシー(privacy)は明確に区別されており、各議論をまとめると、個人情報というのはプライバシーの発現形態と見ることができる。

- 1980年 OECD 理事会が出した「理事会勧告・8原則」[21]
- 1995年にヨーロッパ連合体(EU)理事会が出した「個人情報保護指令」[22]

¹「宴のあと」事件 東京地裁昭和39年9月28日判決 判例時報385、「エロス+虐殺」事件 東京地裁昭和45年3月14日 判例時報586

²「捜査写真撮影」事件 最高裁大法廷昭和44年12月24日判決 判例時報385

³小説家柳美里氏が、小説「石に泳ぐ魚」を出版したが、そのモデルとなった女性は一私人で、著名人でもなかったが、その人をモデルにした小説が、その女性のプライバシーを侵害しているか、が争われた。東京地裁平成11年6月22日判決では、そのモデルとなった女性を知っているものにとっては、その小説のモデルがその女性であることがわかるうえ、名誉毀損的な内容があることをみとめ、出版の差し止めを認めた。同様な事件(「名もなき道」事件)が、平成7年に訴訟となったが、内容が「芸術的想像力でフィクションに変容している」として、プライバシー侵害を認めなかった。

⁴ネットワークのフォーラムで、突如氏名、住所などを公開した事件で、裁判所は、プライバシー権を基礎にその中核となる「個人情報コントロール権」の観点から、個人の希望しない形態での氏名などの公表は、それだけで違法となりと判断した(平成11年6月23日神戸地裁判決(控訴))にて明らかになっているとおりである。

また、それが管理できる形を取っている点が特徴的である。本論文では「プライバシーが情報という形を取り、外形に現われ、取り扱い可能なものとなったもの」として個人情報を定義し、論を進めていきたい。

2.2 社会制度

記録された情報、集積された情報、分類・分析され一定の付加的要素を持つ情報、その他管理されている一切の情報について、その厳格な管理を管理者に対して要請し、法的に指導しようとするのが、個人情報保護に関する社会制度である。ここでは主な既存の制度について概観する。

2.2.1 OECD「理事会勧告・8原則」

欧米諸国では1970年代からプライバシー法やデータ法などが相次いで制定されたが、その多くがヨーロッパに集中していた。その中には個人情報の国外処理を制限する条項を設けているものもあり、これは自国民のプライバシー保護には有益であるが、国を超えた情報流通を阻害するという側面もあった。これに反発したのがアメリカで、情報技術分野で他国より先行しているにも拘わらず世界市場でビジネスを行えないことに不満を抱いていた。

その調整役になったのがOECD(Organization for Economic Cooperation and Development・経済協力開発機構)である。OECDはこれを受け、プライバシー保護制度の国際的基準となる、「プライバシー保護と個人データの国際流通についてのガイドラインに関する理事会勧告」(Recommendation of the Council concerning Governing the Protection of Privacy and Transborder Flows of Personal Data)を1980年9月23日、採択した[21]。この勧告には、個人情報を保護するための8つの基本原則が明記されており、今日、日本はもとより、世界各国で制定されているガイドラインや法制度に少なからず影響を及ぼしている。

冒頭文は以下の通りである。

(前略)加盟国は、国内法及び国内政策の相違にもかかわらず、プライバシーと個人の自由を保護し、かつプライバシーと情報の自由な流通という基本的ではあるが、競合する価値を調和させることに共通の利害を有すること、個人データの自動処理及び国際流通は、国家間の関係に新しい形態を作り上げるとともに、相互に矛盾しない規則と運用の開発を要請すること、個人データの国際流通は経済及び社会の発展に貢献すること、プライバシー保護と個人データの国際流通に係る国内法は、そのような国際流通を妨げる恐れがあることを認識し、加盟国間の情報の自由な流通を促進すること及び加盟国間の経済的社会的関係の発展に対する不当な障害の創設を回避することを決意し、次のとおり勧告する。(以下勧告本文)

OECD8原則の概要は以下の通りである。

収集制限の原則

個人情報の収集には、制限を設けるべきであり、如何なる個人情報も、適法かつ公正な手段によって、かつ適法な場合には、情報主体に知らしめまたは同意を得た上で、収集されるべきである。

データ内容の原則

個人情報、その利用目的に沿ったものであるべきであり、かつ利用目的に必要な範囲内で正確、完全であり最新なものに保たなければならない。

目的明確化の原則

個人情報の収集目的は、収集時よりも遅くない時点において明確化されなければならない。その後のデータの利用は、当該収集目的に矛盾しないかつ、目的の変更ごとに明確化された他の目的の達成に限定されるべきである。

利用制限の原則

個人情報は、明確化された目的以外の目的のために開示、利用、その他の仕様に供されるべきではないが、次の場合はこの限りではない。

- (a) 情報主体の同意がある場合
- (b) 法律の規定による場合

安全保護の原則

個人情報は、その紛失もしくは不正なアクセス、破壊、使用、修正、開示などの危険に対し、合理的な安全保護措置により保護されなければならない。

公開の原則

- ・ 個人情報にかかる開発、運用および政策については、一般的な公開の政策が取られなければならない
- ・ 個人情報の存在、性質およびその主要な利用目的とともにデータ管理者の識別、通常の住所をはっきりさせるための手段が容易に利用できなければならない。

個人参加の原則

個人は次の権利を有する。

- (a) データ管理者が自己に関するデータを有しているか否かについて、データ管理者またはその他の者から確認を得ること
- (b) 自己に関するデータを(I)合理的な期間内に、(II)もし必要なら、過度にならない費用で、(III)合理的な方法で、かつ(IV) 自己にわかりやすい形で自己に知らしめられること
- (c) 上記(a)および(b)の要求が拒否された場合には、その理由が与えられること、およびそのような拒否に対して異議を申し立てることが出来ること
- (d) 自己に関するデータに対して異議を申し立てること、およびその異議が認められた場合には、そのデータを消去、修正、完全化できること

責任の原則

データ管理者は上記の諸原則を実施するための措置に従う責任を有する。

どの原則も情報主体が自分自身の情報を管理可能にすることに主眼が置かれている。特に、収集制限の原則、目的明確化の原則、利用制限の原則により、基本的には個人情報も情報主体の同意なくしては、収集も利用もできないことが述べられている点が重要だろう。また、7の個人参加の原則に置いて情報主体に関するデータの開示を請求できることにより、不当な情報や個人情報として利用して欲しくない情報が流通していないかを監視できるので、個人情報保護システムが正常に機能しているか確認することができる。これにより、誰にどんな目的でどのような内容の個人情報が収集・蓄積されているのかを情報主体によって管理することが可能になる。

2.2.2 EU(欧州連合)の「個人情報保護指令」

1990年に最初の提案が出され、1995年に「個人データ処理に係る個人の保護及び当該データの自由な移動に関する欧州議会及び理事会の指令」[22]として採択された。指令(Directive)は、規則(Regulation)のように構成国に直接適用されるものではないが、構成国を拘束し、3年以内に個人情報保護に関する法律の制定、または改正を求めており、その第25条では、第三国が十分なレベルの保護措置を確保している場合に限って個人データの移転を行うことができる旨の制限を各国の国内法で定めるよう求めており、現在EU各国では、これに合わせた法律の整備等が進められている。

2.2.3 日本の「個人情報の保護に関する法律(案)」

「個人情報の保護に関する法律(案)」[23][24]は、1998年の高度情報通信社会推進本部の決定した「我が国における個人情報保護システムの確立について」に基づいて検討され、2000年6月の「個人情報保護基本法制に関する大綱案(中間整理)」および2000年10月の「個人情報保護基本法制に関する大綱」を経て、2000年3月27日に政府案として閣議決定され国会へ提出された。しかしその後、有識者や民主党などの反対論により国会決議がもたつき、2001年11月7日に次の国会へ継続審議されることが決定した。

個人情報の保護に関する法律(案)では、以下の5つの基本原則を掲げ、(公的部門・民間部門を問わず)個人情報を扱う者はこれら基本原則に則り、個人情報の適正な取り扱いに努力しなければならないとしている。

利用目的による制限

個人情報は、その利用の目的が明確にされるとともに、当該目的の達成に必要な範囲内で取り扱われなければならない。

適正な取得

個人情報は適法かつ適正な方法で取得されなければならない。

正確性の確保

個人情報は、その利用の目的に必要な範囲内で正確かつ最新の内容に保たれなければならない。

安全性の確保

個人情報の取り扱いに当たっては、漏洩、滅失または毀損の防止その他安全管理のために必要かつ適切な措置が講じられるよう配慮されなければならない。

透明性の確保

個人情報の取り扱いに当たっては、本人(情報主体)が適切に関与し得るよう配慮されなければならない。

これらの5つの基本原則は、前述したOECD理事会勧告の8つの基本原則を元に作成されており、(表1)に示す対応関係が認められる。ただし、OECD理事会勧告の原則にある「責任の原則」に関しては、法案内で「個人情報取扱事業者の義務等」で具体的に規定しているため、基本原則という形では取り扱われていない。

表 1 個人情報保護法案の 5 原則と OECD 理事会勧告の 8 原則との比較

個人情報保護法案の 5 原則	OECD 理事会勧告の 8 原則
利用目的による制限	データ内容の原則、目的明確化の原則、利用制限の原則
適正な取得	収集の原則
正確性の確保	データ内容の原則
安全性の確保	安全保護の原則
透明性の確保	公開の原則、個人参加の原則

2.3 社会制度の運用例

前節で概観した個人情報保護に関する社会制度は、各種事業者・団体の自主規約に少なからず影響を及ぼしている。ここでは、参考となる運用例を概観する。

2.3.1 プライバシーポリシー

プライバシーポリシーとは、事業者(または個人)が、営利・非営利の目的を問わず、顧客やサービス利用者から個人情報を取得する際に、自主的に個人情報の収集、利用、管理に関する取り扱い方針を定め、これを実行していくことと定義できる。その狙いは、あらかじめポリシーを決め、利用者に告知することで、利用者が適切な判断のもとに個人情報を提供し、それぞれの個人情報の管理に主体的に関与できるようにしておくことにある。このプライバシーポリシーをわかりやすく明文化した状態で対外的に提示したものをプライバシーステートメントとも呼んでいる。

その内容に特別の決まりはなく、個人情報を扱うそれぞれの状況に応じて、方針(ポリシー)が立てられ、プライバシーステートメントの形で、広報パンフレットやウェブサイト公開されていることが多い。また後者の多くは、トップページからのリンクで、独立したページに案内されている(図 1)。



図 1 Yahoo! Japan のプライバシーポリシー

実際のウェブサイトを見ると、プライバシーポリシーは概ね以下のような内容で構成されている。

- どのような目的で、どのような個人情報を取得しているか(利用の目的と範囲)
- どの段階で、どういう方法で取得しているか(取得の方法)
- 他の第三者に供与することはないか(第三者利用の有無)
- どう保護、保管しているか(保管方法、セキュリティの確保)
- 収集された個人情報の誤りを修正、あるいは自己意志により削除できること(正確性)

2.3.2 日本工業規格「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項」(JIS Q 15001)

各事業者が自主的に個人情報保護の取り組みを進めるにあたって全経営的に体系的なコンプライアンス・プログラムを策定し、いわゆる PDCA(Plan, Do, Check, Action)によって継続的に改善していくことを意図したものである[26]。すなわち一定の方針の元に「計画し」、「実施し」、「監査し」、「見直す」ことをスパイラル的に継続することで事業者の個人情報保護の管理能力を高めることを目的としている。JIS Q 15001 それ自体は強制力はないが、自主的に採用し、社団法人情報サービス産業協会(JISA)などの第三者機関による認証を受けることにより、企業の個人情報保護への取り組みを客観化することができる。

2.3.3 財団法人日本情報処理開発協会(JIPDEC)のプライバシーマーク

プライバシーマーク(P マーク) (図 2)制度[27]は、申請者(民間事業者)の個人情報保護のための管理体制(マネジメント・システム)が、日本工業規格「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項」(JIS Q 15001)に準拠していることを第三者である財団法人日本情報処理開発協会、または同協会が指定する業界団体(指定機関)が評価し、プライバシーマークの使用を許諾する制度である。社団法人情報サービス産業協会(JISA)は指定機関の一つであり、会員企業に対する審査を受託している。

この制度は、次の3つの契約関係により構成されている。

- 財団法人日本情報処理開発協会と審査業務の委託を受ける業界団体との「指定機関契約」関係
- 申請者(民間事業者)と指定機関との間の「審査契約」関係
- 審査合格事業者と財団法人日本情報処理開発協会(JIPDEC)との「プライバシーマーク使用許諾(ライセンス)契約」関係

プライバシーマークの審査には、方式審査 予備審査(書類審査・現地調査) 本審査がある。本審査に合格することで財団法人日本情報処理開発協会(付与機関)と「プライバシーマーク使用許諾(ライセンス)契約」を行うことができる。許諾を受けた事業者は、自社のホームページや広報資料などにプライバシーマークを貼り付けることができ、第三者に向けて審査に合格していること、つまり適切に個人情報を取り扱っていることを示すことができる。また、適切な個人情報の取り扱いを推進することによって、個人情報の保護意識の高まりにこたえ、社会的な信用を得るためのインセンティブにもなる。



図 2 プライバシーマーク(P マーク)

プライバシーマーク程は普及していないが、財団法人日本データ通信協会では「個人情報保護登録センター」[28]を開設し、同趣旨のマーク(図 3)を発行している。



図 3 個人情報保護マーク

アメリカでは BBBOnline[30](図 4)、TRUSTe[29](図 5)などの団体が同様の制度を実施している。



図 4 BBBOnline seal



図 5 TRUSTe seal

特に BBBOnline は 2001 年からプライバシーマークとの相互運用を開始しており(図 6)、審査・運用が国を越えて行われつつある。



図 6 プライバシーマーク+BBBOnline seal

2.4 技術

個人情報保護に関する社会制度を裏で支えているのが、個人情報を保護する技術である。その一方で、当然ながら個人情報を収集するための技術も存在する。ここでは主な既存の技術について概観する。

2.4.1 個人情報収集技術

アクセスログ

ユーザーからのアクセス情報をサーバー側で収集・記録する仕組みで、情報にはホスト名または IP アドレス、OS 名、クライアント(ブラウザ)名、アクセス時間、アクセス回数などがある。

クッキー(Cookie)

クッキーはブラウザを通じてユーザーのコンピュータに一時的にデータを保存し、必要なときにサーバーがそのデータを呼び出すことができる仕組みである。サーバー側は相手が誰かをあらかじめ知っておく必要がなくなり、必要なときにクッキー情報を利用してユーザー認証を行える。アクセスログと比較すると、より個人の機微な情報を収集・記録することができる。クッキーは Netscape Communications 社により開発された。

入力フォーム

HTML の form タグを利用した情報収集・記録の仕組みで、個人の同意する範囲で任意の情報を収集できる。単純な「進む/戻る」「Yes/No」型のボタンから、アンケートフォームや掲示板の発言フォーム、ファイルのアップロードまで利用の幅は極めて広い。

2.4.2 セキュリティ技術

ログイン(ユーザー名+パスワード)

個人を識別し、他者による不正アクセスやなりすましを防ぐための初歩的な方法として、ユーザー名とパスワードの組み合わせを確認するログインがある。

SSL

SSL(Secure Socket Layer)はインターネット経路上でデータを暗号化し転送する仕組みで、個人のプライバシー情報の送信時に利用されている[41]。サイトの実在性は CA(後述)により認証を行うことで確認できる。クライアント(ブラウザ)、SSL サーバー、CA の三者が相互に接続されセキュリティシステムを築く。SSL は Netscape Communications 社により開発された。多くのクライアント(ブラウザ)では、SSL で交信中、鍵の形をしたアイコン(図 7)が表示される。



図 7 SSL 交信中の鍵のアイコン

CA

CA とは、認証局(Certificate Authority)の略で、認証局はネットワーク上で第三者が他人や他のサイトになりすますことを防ぐために公開鍵と秘密鍵の二重鍵方式で相手が間違いなく目的の相手かどうかを確認し認証を与える。鍵とは暗号を生成したり解読したりする際のコードで、公開鍵暗号方式(RSA)により公開鍵と秘密鍵の 2 つの鍵で生成、解読される[41]。CA としては VeriSign 社が有名である[42](図 8)。RSA は RSA Data Security 社により開発された。多くのクライアント(ブラウザ)では、鍵の授受の際、証明書が表示される(図 9)。



図 8 Secure Site シール

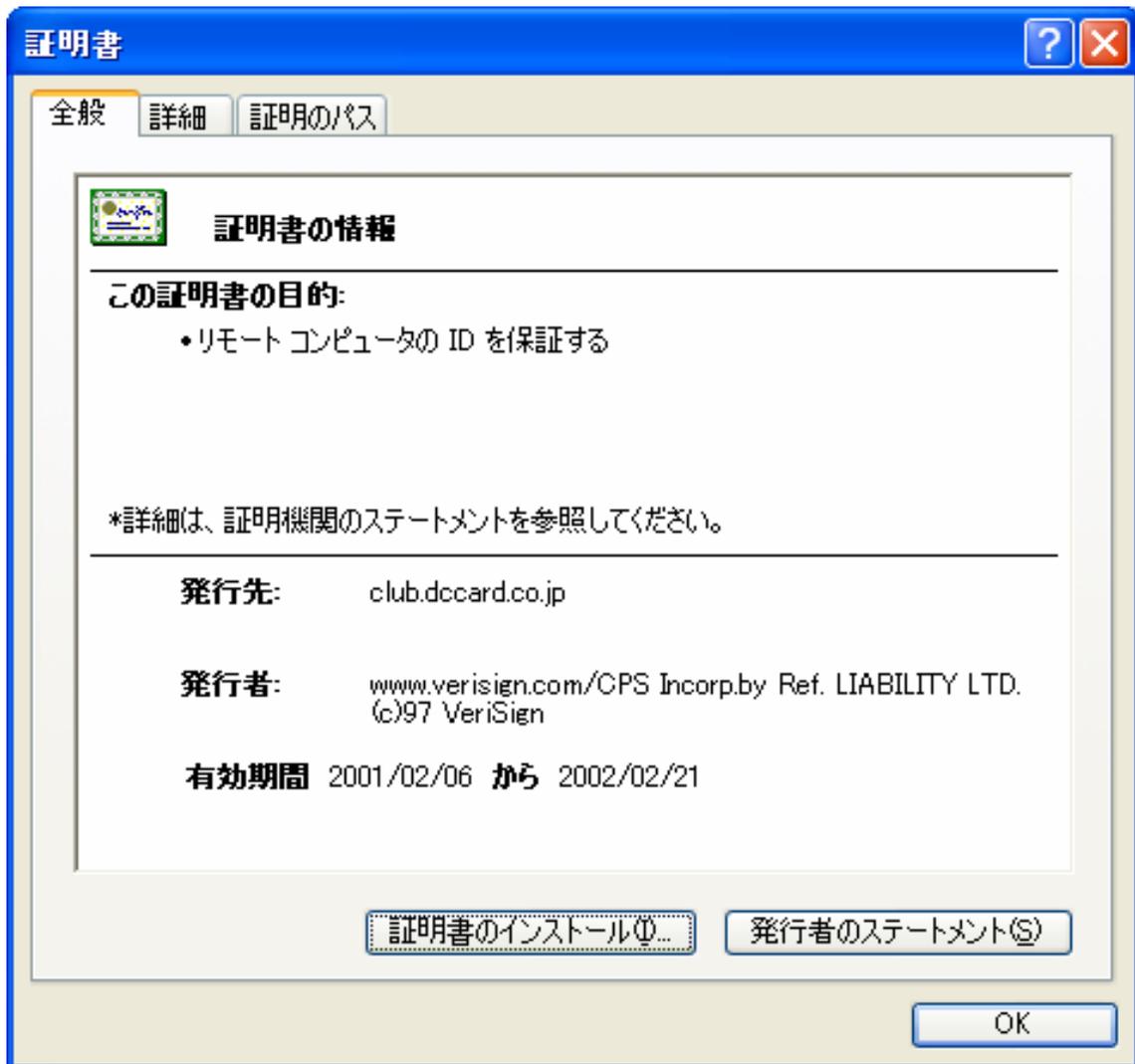


図 9 CA の発行する証明書

セッション管理

HTTP は根本的に「状態」を持たない(ステートレス)プロトコルであるため、多くのサイトではクッキーまたは HTTP の認証機能を利用して状態を保持し、仮想的に「セッション」を作り出している。クッキーを利用する場合には、ユーザー名とパスワードの組み合わせまたはユニークな ID を記憶させる。一度認証が行われた後には、ユーザーがそれを意識すること無くそのデータが送信される。一方、HTTP 認証を利用して一度ユーザー名とパスワ

ードを入力した場合、多くのクライアントの実装は同一のサーバーに対して自動的に ID とパスワードを送信する。したがってクッキーの場合と同様、認証後はユーザーがそれを意識することなく自動的にデータが送信される。

2.4.3 選択的な個人情報の送受信に関する技術

P3P

P3P とは、Platform for Privacy Preferences(プライバシー情報取り扱いにおける個人の嗜好を優先させる技術基盤)の略で、W3C が開発中の、インターネットを含むネットワーク上のプライバシー保護を目的とした技術標準である[39]。P3P を用いて、Web サイトはプライバシーポリシーを、標準化された XML 形式で記述することができる。利用者側では、P3P 対応のクライアントツールまたはブラウザによって、個人情報収集画面において Web サイトのプライバシーポリシーを参照したり、予め登録しておいたプリファレンス(どのようなサイトに、どのような使用目的で、どのような個人情報を提供して良いかを記述した規則)とポリシーとを照合して、個人情報を開示するか否かの判断を半自動で行ったりすることができる。

P3P プロジェクトは1997年の立ち上げ時から業界やプライバシー保護団体等に対するインパクトが強く、様々な利害関係者からの仕様に対する要求が引きも切らないため、開発スケジュールが当初の予定から大幅に遅れる結果となっている。2000年12月にはP3Pバージョン1.0のCandidate Recommendation(勧告候補)が公開されたものの、最終的なW3C勧告は2002年1月現在提出されていない。

P3P に準拠したシステムとしては、Microsoft Windows 用に Internet Explorer 6.0 が登場した。現在 IBM や AT&T も試験システムを開発している。Netscape Communicator の次期バージョンでは P3P に対応した機能が搭載される予定である。日本では、財団法人ニューメディア開発協会のプライバシー情報管理システムの他、NEC のヒューマンメディア研究所が、P3P 対応のサーバー構築ツールを開発している。

PICS

PICS とは、Platform for Internet Content Selection(インターネット情報選択のプラットフォーム)の略で、インターネットにおける情報の発信を制限することなく、受信者が設定した情報選択のレベルに合わせて、情報を選択的に受信(フィルタリング)できるようにするための基盤となる技術的仕様である[40]。W3C の PICS ワーキンググループによって1995年の夏から開発が進められ、標準規格として提案され、インターネットの情報の選択的閲覧のための技術的規格として、国際社会において広く採用が検討されている。

PICS はインターネット上の情報に対しラベル付け(レーティングまたは評価)し、任意の基準に基づいた分類により受信者側で情報を選別し、「見せたくない」または「見たくない」情報を排除する(フィルタリング)方式を採っている。フィルタリングを行うためには、レーティングデータが必要で、情報発信者自身が情報に対してレーティングするセルフ・レーティングと、流通している情報に第三者が付加的なレーティングを行うサードパーティ・レーティングとがある。サードパーティ・レーティングのデータは、インターネット上の情報内容を様々な観点から評価できるよう、異なる価値観に基づく複数の種類が存在しても構わない。フィルタリングソフトウェアは設定に基づいて、そのような多様な情報源からのレーティングデータを参照し、受信者が受信する情報、または親や教師が監督下の子供たちに与える情報をコントロールすることが可能になる。

情報の受け手は、この PICS 準拠のソフトを利用して、利用者自身が格付け機関を指定することによって行われる。一例として、次のようなタグ(表 2)を HTML の<head> ~</head> に書き加えるという手順が必要である。

表 2 PICS タグ

```
<head>
<meta http-equiv="PICS-Label" content='
(PICS-1.1 "http://www.gcf.org/v2.5"
labels on "1994.11.05T08:15-0500"
until "1995.12.31T23:59-0000"
for "http://w3.org/PICS/Overview.html"
ratings (suds 0.5 density 0 color/hue 1))
'>
</head>
```

こうしたタグを含む HTML を PICS 準拠のブラウザで読み込むと、ユーザーが見たい URL にアクセスする前に、この格付け機関のサイトに自動的にアクセスして、格付けのチェックを行う。ユーザーの見たい URL がアクセス禁止に指定されている場合には、アクセスを阻止する仕組みである。

当初は、子供がインターネットにアクセスする際に、親や教師が閲覧先をコントロールする目的で設計されたが、PICS 準拠の製品が多数提供されてきた結果、種々の目的にも対応できるようになってきた点は注目すべきだろう。ラベル情報の形式には汎用性があり、将来的には個人情報保護などの目的にも有効利用できるよう拡張される予定となっている。

3 個人情報提供時における 他者判断基準の導入

3.1 問題分析

第2章で概観した個人情報保護に関する社会制度や技術は、ある一面に限定すれば極めて有用な場面もある。しかしながら、大規模かつ多方面に渡って収集される情報の前に、さまざまな面から非現実的なものになりつつある。第3章では、それら問題点について分析し、本論文の目的である「個人情報を提供する際の判断リスク・コストの低減」を実現するための望ましい概念として「個人情報提供時における他者判断基準の導入」を提案する。

3.1.1 社会制度

個人情報を保護するための社会制度には満たすべき条件がいくつか存在する。

第一に、情報主体によって個人情報の管理が可能でなければならない。ここで言う管理とは、個人情報がどこでどのような目的で蓄積されているのか、またそれが正しい情報であるのかを把握し、情報主体の意志により削除または更新することを指す。また個人情報自体の正確さとともに、収集および利用の目的も常に最新のものに更新可能でなければならない。なぜなら、情報主体が一度は同意した利用目的であっても、その後、収集された個人情報に対する情報主体の状況や考え方が変化することも考えられ、それらを反映する必要があるからである。しかしながら、個人情報の管理は情報主体の個人情報を蓄積する企業や団体(個人情報取扱事業者)の数が多くなればなるほど、情報主体と個人情報取扱事業者、双方の負担が大きくなり、事実上不可能になる恐れがある。従って、個人情報保護制度として、情報主体と個人情報取扱事業者の負担を軽減する機構を持つ必要がある。

第二に、個人情報取扱事業者が個人情報を安全に蓄積するための基準を設ける必要がある。これは個人情報の盗難、流出を防ぐ意味で重要である。ここでいう安全とは、コンピュータの技術的なセキュリティ装置から個人情報にアクセスできる者に対する教育など、幅広い要素を含む。実際、個人情報が流出する場合の多くが外部の攻撃者による盗難よりも、むしろ内部からの漏洩による者であることを考慮すると、個人情報にアクセスできる者に対する教育および監査もしくは、漏洩後の対策となる機構を制度の中に盛り込む必要がある。

第三に、個人情報保護制度自体が技術的な、もしくは罰則規定などによる強制力を持っている必要がある。技術的な強制力というのは、不正な行為を行うことが困難または不可能である状態を技術的に作り出すことを指す。たとえば、個人情報と利用目的に対して、情報主体および個人情報取扱事業者により多重に署名を施しておき、個人情報および利用目的と署名文を対にしておくことで、個人情報を不正に利用しているかどうかを監査することが可能となり、個人情報の不正利用を抑制することができる。

以上三つの条件は OECD 理事会勧告および個人情報の保護に関する法律(案)の条件の中の核となる部分をまとめたものである。この三つの条件は個人情報保護制度が最低限有すべき機構であろう。

しかし、社会制度面からのアプローチには限界が存在する。

第一に、いくつかの第三者機関が個人情報保護規則を遵守しているウェブサイトに対し許諾を行う制度を実施していることは既に述べたが、参加しているウェブサイトに限られる上、逐一許諾が降りているかどうか、あるいはマークなどが存在するかどうかを調べなくてはならず、有意に機能しているとは言い難い状況にある点が挙げられる。また、個人情報取扱事業者がそうした制度に迎合する形でプライバシーポリシーを作成するのであれば、プライバシーポリシーの画一化・形骸化を招き、ひいてはきめ細やかな個人特化型(パーソナライズ)サービスの提供に抑止力がかかってしまう可能性がある上、情報主体からは第三者機関が権威化していると受け止められてしまう恐れがある。

第二に、いくら社会制度に準拠し、個人情報保護に関する管理、基準、罰則規定などを事細かに定めたととしても、インターネットの世界では通信のほとんどが一般ユーザーの目には届きにくい部分で行われているため、有効に機能しにくい点が挙げられる。例えば Microsoft Windows 98 の初期のバージョンにおいては、「オンラインユーザー登録ウィザード」プログラムが、個人情報の収集項目や目的として明示している以外の情報(Microsoft Office をはじめとしたコンピュータに既にインストールされているプログラムの一覧、ネットワークインターフェースカードの MAC アドレス¹、プロセッサシリアルナンバー²など)をユーザーの同意なしに勝手に収集していた事件があり、ソフトウェアに同梱されている使用許諾規定書と異なる個人情報の取り扱い方法が問題とされた[37]。

逆に、社会制度に準拠し収集項目や目的を明示していたとしても、その内容がある日突然変更されてしまう可能性もある。アメリカのオンライン小売業大手の Amazon.com は 2000 年 8 月 31 日に同社のプライバシーポリシーを変更し、これまで行っていなかった第三者との顧客情報共有の可能性を示唆するようになった。顧客は、情報の共有・公表を承認するかどうか選択でき、個人アカウントの設定変更やクッキーの拒否などで同社へ通知する情報を少なくすることが可能としているが、同社のサービスのメリットが少なくなる面もあることも強調しており、実質的には自己に都合の良いプライバシーポリシーの強制であった。

しかし、Microsoft や Amazon.com は対策をまったく行っていないわけではない。インターネット上で個人情報を取り扱っている事業者の大半は、そうした社会制度に準拠していないのである。現状では法的な罰則制度が整っていないため、社会制度に準拠するメリットが少ないのも一因だろう。以上のことから、社会制度面からのアプローチだけで、本論文の目的を実現することは不可能ではないにしろ、インターネットという特殊な社会の中で確実に作用する仕組みを作り上げることは困難であると考えられる。

¹ ネットワークでホストを識別するために設定されるハードウェアアドレス。Ethernet では、NIC に対して 48 ビットの識別符号が付けられており、Ethernet アドレスと呼ぶ。前半 24 ビットが IEEE で管理されたベンダー固有の ID で、後半 24 ビットが各 NIC の連番となり、世界中に 1 つしかないユニークな番号になる。

² Intel 社が Pentium III 以降のマイクロプロセッサに搭載したプロセッサ固有の識別番号。すべてのチップに違う番号が割り当てられ、コンピュータの識別に使われる。ユーザーの意思によってこの機能をオフにすることもできる。盗難にあったコンピュータをインターネットを使って割り出したり、電子商取引における顧客の識別を行ったりするなどの応用が考えられる。当初はこの機能を有効にした状態で Pentium III を出荷する予定だったが、消費者団体から、購入者のプライバシーを侵害する技術であるとの猛反発を受け、同社は出荷時の設定を「無効」に変更した。また、Pentium III の後継である Pentium 4 では PSN は削除された。

3.1.2 技術

SSL や CA などのセキュリティ技術は、暗号強度の強化¹やバグフィックスなどにより、現在ではデファクトともいえるほどに普及した。安全な通信路を確保し、情報の提供先の確実性(実在性)を保証する仕組みは現状で十分に確保されている。個人情報を保護するための技術環境、つまり満たすべき条件そのものは整っている。

しかし、問題は個人情報の取り扱い方に関する技術である。自分自身に関する個人情報の存否や所在、内容を確認することや、その情報に誤りがあった場合に訂正を求めたり、正当な根拠なく自分の情報が記録されていた場合にその削除を求めたりすることができる権利として「自己情報コントロール権」という概念が普及し始めている[43]が、それを支えるべき「選択的な個人情報の送受信に関する技術」においては、未だに多数の問題を抱えている。

P3P は登場から既に 4 年が経過しているにも拘わらず、対応しているウェブサイトが 2001 年 9 月現在で 300 程度²と非常に少ない上、対応しているクライアントが Microsoft Windows 版 Internet Explorer 6.0 に限定されており、普及が遅れている。さらに重要な問題点は、そのウェブサイトのプライバシーポリシーと、ユーザー自身のポリシーと比較し、受理・拒否を自動処理できるのはクッキーのみに限られる点である。つまり、プライバシーポリシー内容に応じた、項目別のきめ細やかな受理・拒否処理を行うことができない。もしそれを行いたいと思った場合、ユーザーは逐一数十～百行に渡る「プライバシーレポート(図 10)」を参照し、検討しなければならない。

¹ アメリカ政府は以前、56bit 以下の暗号鍵のみ輸出を許可していたが、56bit DES が破られる事件が相次ぎ、これを契機として制限が 128bit まで引き上げられた。

² P3P に対応したウェブサイトを紹介する、W3C のコンプライアンスリストによる。
http://www.w3.org/P3P/compliant_sites/



図 10 プライバシーレポート

このレポートは、対応しているウェブサイトの数が限られる上、内容・文体が法律文のようで一般的な人には難しすぎ、詳しい人でも正確に判断しようと思えば時間を取られてしまう恐れがある。その結果、快適なブラウズを阻害してしまうのである。

また、PICS は事実上の検閲システムといえる。有害なコンテンツの閲覧を回避するという概念は個人情報保護目的にも十分応用可能であるが、裏を返せば格付けを行うことで受信者は情報を制限され、また送信者は PICS に対応させたが故にアクセスを逃してしまう可能性も増えることを意味している。PICS は発信規制をしていないので検閲ではないとしているが、たとえ発信情報を規制しなくても受信者の主体性や権利を無視した規制はあり得る。格付けを行う機関が権威化し、中央集権的な立場に立つようになるのは免れないだろう。このことは第三者機関自体が、先に述べた社会制度と同様、技術の視点から設置しても問題を抱えることを示唆している。

以上のことから、技術面からのアプローチで、本論文の目的を実現することは、SSL や CA などの利用可能な環境が揃っているため不可能ではないが、普及や標準化の問題、情報主体・個人情報取扱事業者双方の負担の問題、第三者機関の権威化の問題など、解決しなければならない点が多い。

3.2 提案

これまで述べてきた個人情報保護に関する社会制度や技術が有すべき機構や問題点を整理し、本論文の目的である「個人情報を提供する際の判断リスク・コストの低減」を実現するためには、次のような条件を備えた新しい概念を構築することが重要であろう。

- 情報主体と個人情報取扱事業者の負担を軽減する機構を持つ

- 第三者機関(あるいはシステム自体)が権威化するのを防ぐ
- 社会制度に照らして反する行為に対しては、情報主体らによる制裁を加えられる
- 普及が望めるプラットフォームを選ぶ
- 最終的な判断は情報主体が任意かつ容易に行える

これらを実現可能な概念として、「個人情報提供時における他者判断基準の導入」を提案する。あるウェブサイトに対して、情報主体が個人情報を提供するか否かを迷った場合、通常はプライバシーポリシーを読み検討する。しかしこの概念は、他者(情報主体以外の人)がどのようにそのウェブサイトのプライバシーポリシーを読み取ったかを参考することで、判断に役立てられるようにする。概念を支えるのは「情報の共有とオープン性」「協調フィルタリング」「コミュニティによる情報のブラッシュアップ」の3点である。

情報の共有とオープン性

「どのようにウェブサイトのプライバシーポリシーを読み取ったか」に関する情報(以下、プライバシーポリシー評価と呼ぶ)は、一般公開されている場所に登録しておき、誰もが利用・更新できるようにする。

このモデルは、銀行・貸金業・クレジット業界における個人信用情報機関を参考にした[45]。個人信用情報機関は、金融機関や信販・クレジット業者などの与信業者が与信に当たって顧客の返済能力・支払能力を判断するための情報、すなわち個人信用情報を、収集・蓄積・共同利用することを目的として設立されている。保有する情報を与信業者が相互に登録・利用することで、貸し倒れを防ぐのである。つまり、ある与信業者が顧客に与信をする際、他の与信業者の実績を参考にしつつ、判断を行えるメリットがある。個人情報の提供を行う際も、他者によるプライバシーポリシー評価を参考することで、同様のメリットが生まれると予測した。

しかし、個人信用情報機関は会員の与信業者に限って、個人信用情報の収集・蓄積・共同利用を許可しており、情報は限定的な範囲にしか公開されていない。情報の当事者から情報開示請求があった場合は応じ、その結果誤った情報が登録されている場合は条件付きでその修正・削除に応じるが、仮に客観的に見て誤った情報が登録されていたとしても、それを当事者以外は指摘することはおろか、見ることもできない。これは個人信用情報が極めてプライベートな情報であり、他人に見られては困るためである。プライバシーポリシー評価においてはそうした制約がないため、広くオープンに情報を共有することで、複数の人の目に触れさせ、誤りを見つけやすくすることを目指す。

協調フィルタリング

他者の行ったプライバシーポリシー評価を取り寄せるという考え方は、協調フィルタリングという自分に趣味が似た人の嗜好を活用する考え方を元にした[46]。例えば音楽CDの例がある。これは、ユーザーが興味を持っているものについてユーザーにレーティング(格づけ)させ、ユーザーの好き嫌いを集めたデータを元に、協調フィルタリングソフトウェアが特定のCDを推薦するという仕組みになっている。この仕組みでは、特定のユーザーの好みを記録し、一定のアルゴリズムを用いて、ほぼ類似のレーティングにあるCDをピックアップしている。

プライバシーポリシー評価においては、このようにして情報主体の必要とする情報をカスタマイズして提供すべきだろう。

コミュニティによる情報のブラッシュアップ

誰もがプライバシーポリシー評価を登録できるようにすると、故意に情報の質を低くする行為が懸念される。

この対策として、Yahoo! Auctions などにおける、ユーザー同士が相互に信頼度(満足度)を投票しあうコミュニティモデルを参考にしたい[44]。例えばあるユーザーの登録したプライバシーポリシー評価が、あまりに事実と異なると判断される場合、他のユーザーはそのユーザーを「信頼できない」として否定票を加える。一方、正確なプライバシーポリシー評価であり判断の参考になったのであれば「信頼できる」として賛成票を加える。

つまり、もしこの信頼度投票型コミュニティモデルを妨害するような行為があった場合は、信頼できないユーザーとしてコミュニティから排除され、その後実質的にコミュニティに参加できなくなるのである[15][16][17]。このようにして、質の低い情報が登録されることに対して抑止力を持たせると共に、例え登録されたとしても自浄作用が働き、情報をブラッシュアップさせていく狙いがある[8][9]。

3.3 要件定義

前述の条件を検証し、「個人情報提供時における他者判断基準の導入」という概念に基づいた新しいシステムが備えるべき要件を定義する。

情報主体と個人情報取扱事業者の負担を軽減する機構を持つ

情報主体、つまりシステムのユーザーに対して、個人情報を提供するか否かを判断する際の負担を現状以上に増加させてはならない。いくら判断が容易なシステムが実現できるとしても、システムがコンピュータに対して高負荷であったり、高価であったり、導入のための難易度が高かったりしてはならない。また事業者にとってもこれは同様のことがいえる。システムの動作のために、敷居の高い制度や技術の導入を強制することは極力避けるべきであろう。

よって本システムでは、ユーザーが容易に理解・利用できること、事業者がシステムに対応させなくても可能な限り完全な形で動作することが必要である。

第三者機関(あるいはシステム自体)が権威化するのを防ぐ

第三者機関が監査・格付けを行う制度は、対応する事業者が少ないなど普及率的には芳しくないものの、情報主体にとっては判断リスク・コストの軽減という面で有効に働いている。反面事業者にとっては、内部規定の整備、社員教育、計画の策定、個人情報への不正アクセスを防止するシステムの構築など、負わなければならない負担が大きい。また許諾は受けたいが、負担は逃れたいとする意識から、監査項目に迎合する形でプライバシーポリシーを作るのであれば、情報主体からは第三者機関が権威化していると映る恐れがある。

よって本システムでは、可能な限り第三者機関に頼らないで判断できる仕組みを備える必要がある。

社会制度に照らして反する行為に対しては、情報主体らによる制裁を加えられる

例えばその内容に特別の決まりがないプライバシーポリシーは、Microsoft のように情報主体の目には直接見えないから問題ないだろうとばかりに破られたり、Amazon.com のように自分ばかり都合の良い内容に突如改変されたりすることがある。

よって本システムでは、社会制度に照らして明らかに問題があると判断される行為を事業者が行う場合、格付け・評価を切り下げるなどによって対抗措置を取ることができる必要がある。

普及が望めるプラットフォームを選ぶ

P3P や PICS などのシステムでは、ユーザーは専用のクライアントが必要な上、事業者もそれに対応させなければならないため、普及が遅れている。

よって本システムでは、既に普及しているプラットフォームを選び、その上でシステムを構築する必要がある。また、事業者に要求すべきシステム要件はできる限りないことが望ましい。

最終的な判断は情報主体が任意かつ容易に行える

プライバシーマークやそれに類するマークは、ある意味では第三者機関の主観的な判断により与えられていると考えて良い。一定の基準や価値観に基づいて事業者が評価され、認定が与えられる制度は、情報主体にとっては判断リスク・コストの軽減という面で有効に働いている。しかし、その判断を情報主体に強制的に押しつけるようなことがあってはならない。PICS によるレーティングシステムを導入した場合は、特にその強制性が顕著になる可能性が高い。また P3P による Internet Explorer 6.0 のプライバシーポリシー受諾は、判断の自動処理が可能なのがクッキーのみに限られ、プライバシーポリシー内容に応じた、項目別のきめ細やかな受理・拒否処理をしたい場合は数十～百行に渡る「プライバシーレポート」を検討しなければならない、情報主体の選択の容易さを著しく欠いている。

よって本システムでは、個人情報をウェブサイトを提供するか否かの最終的な判断は情報主体が任意に決定できるようにする必要がある。また、簡易的な表示に加え、より踏み込んだプライバシーポリシー内容を知りたい場合には、容易に理解できるような表示方法を実現する必要がある。

4 システムの設計と実装

4.1 概要

3章で提案した概念に基づき、また備えるべき条件を満たした形で、システムの設計と実装を行う。

システムはクライアント・サーバー型で構築する。クライアントはWWWブラウザへのツールバー型プラグインを使ってサーバーに閲覧中のウェブサイトのプライバシーポリシー評価を問い合わせる(図 11)。クライアントはその結果を参考にし、ウェブサイトに個人情報を提供するか否かを決定できる。

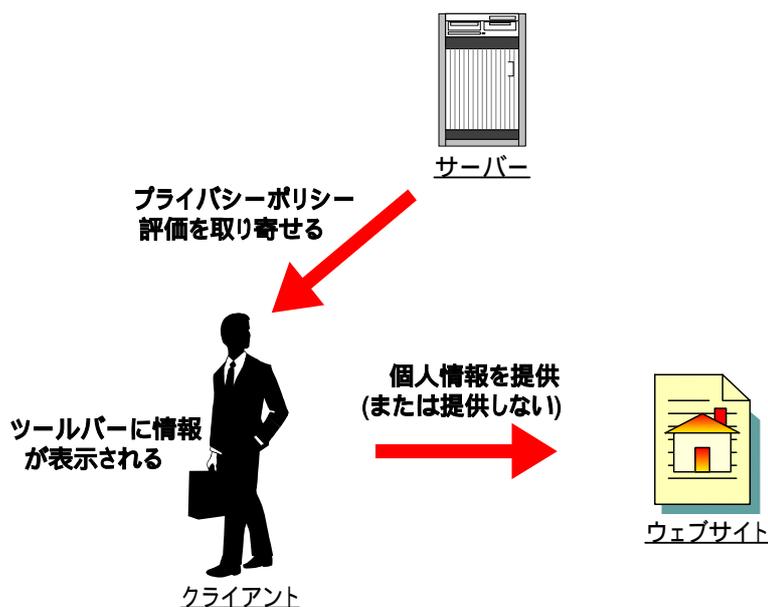


図 11 システム概要

本システムは「プライバシーポリシー評価館」と命名し、<http://privacy.sfc.wide.ad.jp/> で公開中である(2002年1月現在)。

4.2 設計

4.2.1 クライアント側

WWW ブラウザへのツールバー型プラグインを用いる。前節で定義した、「普及が望めるプラットフォームを選ぶ」という要件を満たすため、最も普及していると思われる Microsoft Windows 版 Internet Explorer 4.0 以上というプラットフォームに組み込めるように設計を行う。

初期状態



図 12 ツールバー型プラグイン

プラグインは利用の手間を最小限にするため、現在閲覧しているウェブサイトの URL を自動的に取得し、当該ウェブサイトのプライバシーポリシー評価(後述)の点数をサーバーに問い合わせ、結果を「スマイルマーク」で簡易的に表示する(図 12)。点数による結果分布は以下のようにになっている。

- 😊 ウィンクしたスマイル: 100 ~ 67 点
- 😄 スマイル: 66 ~ 34 点
- 😞 悲しいスマイル: 33 ~ 0 点

メニューをクリック

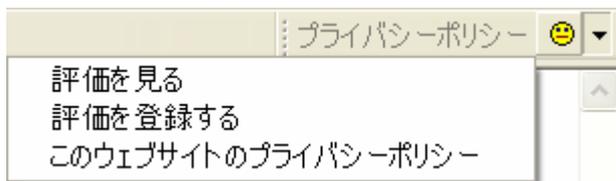


図 13 プラグインのメニュー

サーバーに記録されている様々な情報にすばやくアクセスできるようにするため、「スマイルマーク」による簡易的な表示機能だけでなく、より詳細なメニューを表示できるようになっている(図 13)。

- **評価を見る...**当該ウェブサイトのプライバシーポリシー評価にアクセスする。現在 Internet Explorer が表示している URL を取得し、それをパラメータとしてサーバーに引き渡す。
- **評価を登録する...**当該ウェブサイトのプライバシーポリシー評価を登録できるページにアクセスする。現在 Internet Explorer が表示している URL を取得し、それをパラメータとしてサーバーに引き渡す。

- このウェブサイトのプライバシーポリシー...当該ウェブサイトのプライバシーポリシーにジャンプする。現在 Internet Explorer が表示している URL を取得し、それをパラメータとしてサーバーに引き渡す。

簡易表示・詳細表示を組み合わせ、「最終的な判断は情報主体が任意かつ容易に行える」という要件を実現することが狙いである。

なお、Internet Explorer のコントロールには、MFC と比較してより緻密にコントロールが可能な Browser Helper Objects を経由している[48][49]。付録としてプラグインのコア部分に関わるソースファイルを添付した。

4.2.2 サーバー側

4.2.2.1 サービスインターフェース

サービスインターフェースは、大きく分けて「プライバシーポリシー評価関係」「ユーザー登録関係」「ユーザー信頼度関係」「その他」の4つの機能から構成されている。

「情報主体と個人情報取扱事業者の負担を軽減する機構を持つ」という要件を実現するため、ユーザーはクライアントのプラグインプログラムから容易にアクセスできるだけでなく、一般的な Web ブラウザであればほぼ全ての情報にアクセスできるように設計を行った。情報は分け隔てなくオープンされている。また、事業者が対応させなければならない点は一切ない。これらは「普及が望めるプラットフォームを選ぶ」という要件の実現にも密接に関連している。

また、「第三者機関(あるいはシステム自体)が権威化するのを防ぐ」という要件を実現するためには、ユーザー達が事業者のプライバシーポリシーの評価を行う仕組みを備えた。ユーザー達はその評価の是非について議論し、誤っているようであれば評価を更新することで、情報の質を確保する。このようにして運用はユーザーズコミュニティをベースに行われ、人々の判断を共有しながら皆で基準をブラッシュアップしていくモデルを構築する。また、コミュニティモデルにおいては、ユーザー同士による信頼形成も欠かせない。ユーザーが、他のユーザーが行ったプライバシーポリシー評価を信頼できるかできないかを投票することで、お互い顔の見えないユーザー達でも安心して情報を利用できるような環境を作り上げていく。このようにして複数の人間が関与することにより、第三者機関特有の権威の一極集中を避ける。

また、ユーザー達が事業者のプライバシーポリシーの評価を行えるということは、「社会制度に照らして反する行為に対しては、情報主体らによる制裁を加えられる」という要件を満たす狙いがある。もしそのような違反が発覚した場合は、評価を切り下げることによって、制裁を加えることが可能である。

プライバシーポリシー評価関係	
view.php *付録に添付	プライバシーポリシー評価を見る(図 14) メインコンテンツ。他者の判断したプライバシーポリシーの評価を見ることが出来る。クライアントから問い合わせを受けると、サーバーの保有するサイトリスト(後述、プライバシーポリシー評価が多数記述されている)に問い合わせ、結果を返す。プラグインを使うことで、より分かりやすく、簡単にアクセスできる。
register[1-5].php	プライバシーポリシー評価を登録する(図 15)

*付録に添付	ユーザーの判断したプライバシーポリシーの評価を登録・更新することができる。初めて登録・更新する人はユーザー登録をしなければならない。
viewlist.php	プライバシーポリシー評価一覧 登録されているプライバシーポリシー評価の一覧を見ることができる。


プライバシーポリシー評価館
 Gallery of Privacy Policy Evaluation

アサヒ・コム
 総合評価は 62 点です。



プライバシーポリシー:	あり
登録者:	you (8)
登録日:	2002-01-12
更新者:	you (8)
更新日:	2002-01-24
最終アクセス日:	2002-01-24
有効期限日:	2003-01-24
アクセス数:	28

一般的な項目			
プライバシーポリシーの掲示	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 不明
個人情報を第三者へ提供	<input checked="" type="checkbox"/> しない	<input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> 不明
個人情報管理についての内部規定	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 不明
個人情報管理についての社員教育	<input type="checkbox"/> している	<input checked="" type="checkbox"/> していない	<input type="checkbox"/> 不明
個人情報への不正アクセス(紛失、破壊、改ざん、漏洩など)についてのリスク認識	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 不明
個人情報を最新の状態で管理	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	<input checked="" type="checkbox"/> 不明
技術的な項目			
個人情報の統計・利用	<input type="checkbox"/> しない	<input checked="" type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> 不明
動的な個人情報の収集	<input type="checkbox"/> しない	<input checked="" type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> 不明
禁止項目			
特定の機微な個人情報(宗教、人種、身体・精神障害・犯罪歴など)の収集	<input checked="" type="checkbox"/> しない	<input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> 不明
苦情・相談対応項目			
情報主体からの自己の個人情報の開示要求	<input type="checkbox"/> 応じる	<input type="checkbox"/> 応じない	<input checked="" type="checkbox"/> 不明
開示の結果誤った情報があった場合の削除・訂正	<input type="checkbox"/> 応じる	<input type="checkbox"/> 応じない	<input checked="" type="checkbox"/> 不明
個人情報に関する苦情・相談	<input checked="" type="checkbox"/> 応じる	<input type="checkbox"/> 応じない	<input type="checkbox"/> 不明

この評価は信頼できますか?

できる できない

評価の更新を行いますか?

図 14 プライバシーポリシー評価を見る



* プライバシーポリシー評価館 *

Gallery of Privacy Policy Evaluation *

評価を登録する[4/5]

質問2: プライバシーポリシーの内容についてお聞きます。アサヒ・コム
のプライバシーポリシーの内容は…

一般的な項目			
個人情報第三者へ提供 	<input checked="" type="radio"/> しない	<input type="radio"/> する	<input type="radio"/> 不明
個人情報管理についての内部規定 	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 不明
個人情報管理についての社員教育 	<input type="radio"/> している	<input checked="" type="radio"/> していない	<input type="radio"/> 不明
個人情報への不正アクセス(紛失、破壊、改ざん、漏洩など)についてのリスク認識 	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 不明
個人情報を最新の状態で管理 	<input type="radio"/> している	<input type="radio"/> していない	<input checked="" type="radio"/> 不明
技術的な項目			
個人情報の統計・利用 	<input type="radio"/> しない	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> 不明
動的な個人情報の収集 	<input type="radio"/> しない	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> 不明
禁止項目			
特定の機微な個人情報(宗教、人種、身体・精神障害・犯罪歴など)の収集 	<input checked="" type="radio"/> しない	<input type="radio"/> する	<input type="radio"/> 不明
苦情・相談対応項目			
情報主体からの自己の個人情報の開示要求 	<input type="radio"/> 応じる	<input type="radio"/> 応じない	<input checked="" type="radio"/> 不明
開示の結果誤った情報があった場合の削除・訂正 	<input type="radio"/> 応じる	<input type="radio"/> 応じない	<input checked="" type="radio"/> 不明
個人情報に関する苦情・相談 	<input checked="" type="radio"/> 応じる	<input type="radio"/> 応じない	<input type="radio"/> 不明

登録

図 15 プライバシーポリシー評価を登録する

ユーザー登録関係	
createuser.php	ユーザー登録 ユーザー登録をすることで、自分の判断したプライバシーポリシーの評価を登録できたり、他者の判断がどれだけ信頼できるかを投票できたりするようになる。
deleteuser.php	ユーザー登録解除 ユーザー登録を解除できる。
changeuserinfo.php	ユーザー登録変更 ユーザー登録内容(パスワード・メールアドレス)を変更できる。
queryuserpassword.php	パスワードを忘れた場合 当該ユーザーが登録したメールアドレスに対してパスワードを再交付する。
userlist.php	ユーザー一覧 登録されているユーザーの一覧を見ることができる。

ユーザー信頼度関係	
userinfo.php *付録に添付	ユーザー情報(図 16) 当該ユーザーのプライバシーポリシー評価が他者からどれだけ信頼されているかを見ることができる。賛成票、否定票、信頼度(%)からなる。
usereval.php *付録に添付	ユーザー評価(図 17) 当該ユーザーのプライバシーポリシー評価が信頼できる場合は賛成票(図 18)、信頼できない場合は否定票(図 19)を投票することができる。



プライバシーポリシー評価館

Gallery of Privacy Policy Evaluation

ユーザー情報

youさんの情報です。

評価登録数:	5
他者からの賛成票(+):	9
他者からの否定票(-):	-1
他者からの信頼度:	80%
メールアドレス:	公開
登録日時:	2001-12-01

お名前

パスワード

パスワード(もう一度)

メールアドレス 公開

図 16 ユーザー情報

この評価は信頼できますか? 評価の更新を行いますか?
 できる できない

図 17 ユーザー評価

 **プライバシーポリシー評価館**
* _____ *
Gallery of Privacy Policy Evaluation

ユーザー評価
ako さんに賛成票を投じました。

図 18 賛成票を投じる

 **プライバシーポリシー評価館**
* _____ *
Gallery of Privacy Policy Evaluation

ユーザー評価
s98106yi さんに否定票を投じました。

図 19 否定票を投じる

その他	
index.php	トップページ「プライバシーポリシー評価館」(図 20) 本システムの目的、各機能へのリンク、解説など。
help.php	ヘルプ(図 21) プライバシーポリシーの判断項目などについての解説。
jump.php *付録に添付	プライバシーポリシーヘジャンプ プラグインの「このウェブサイトのプライバシーポリシーを見る」機能(図 22)に対応する。呼び出されるとデータベースに問い合わせ、プライバシーポリシーの URL を取得し、ブラウザに引き渡す(図 23)。
bbs.cgi	掲示板 意見交換用掲示板。

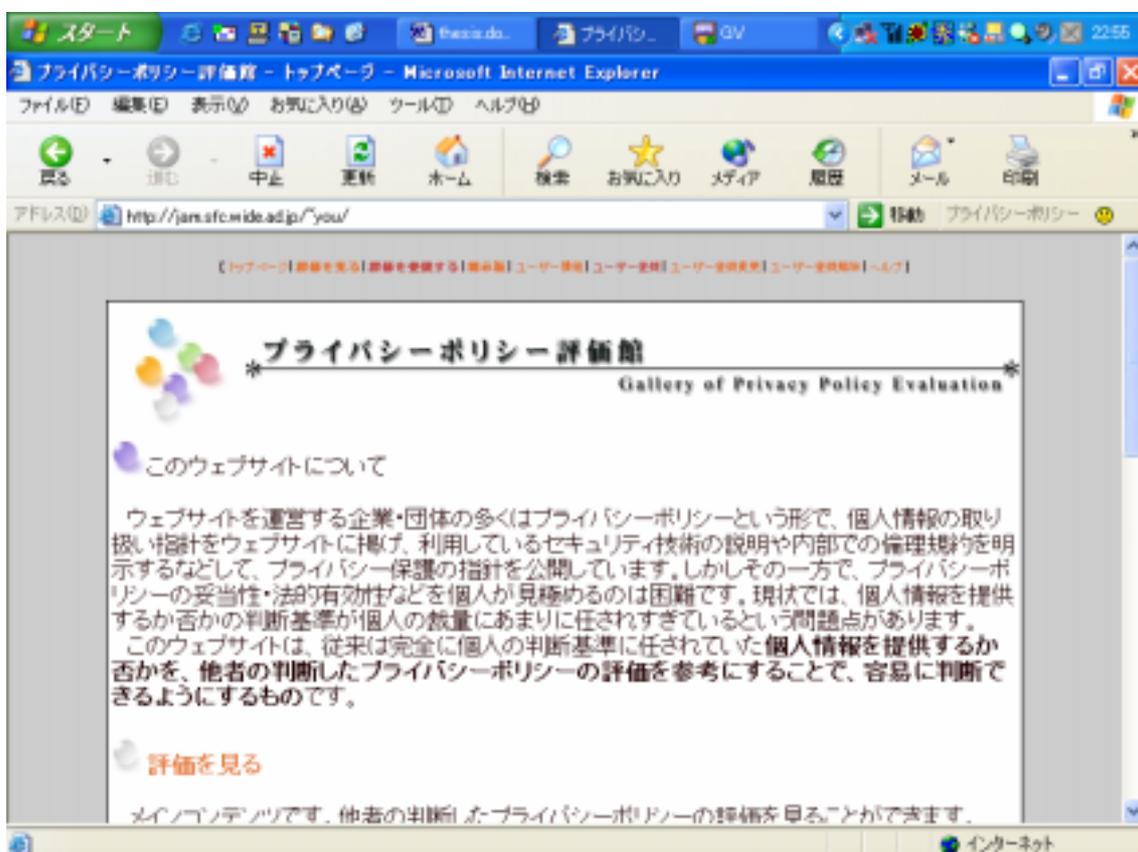


図 20 トップページ「プライバシーポリシー評価館」

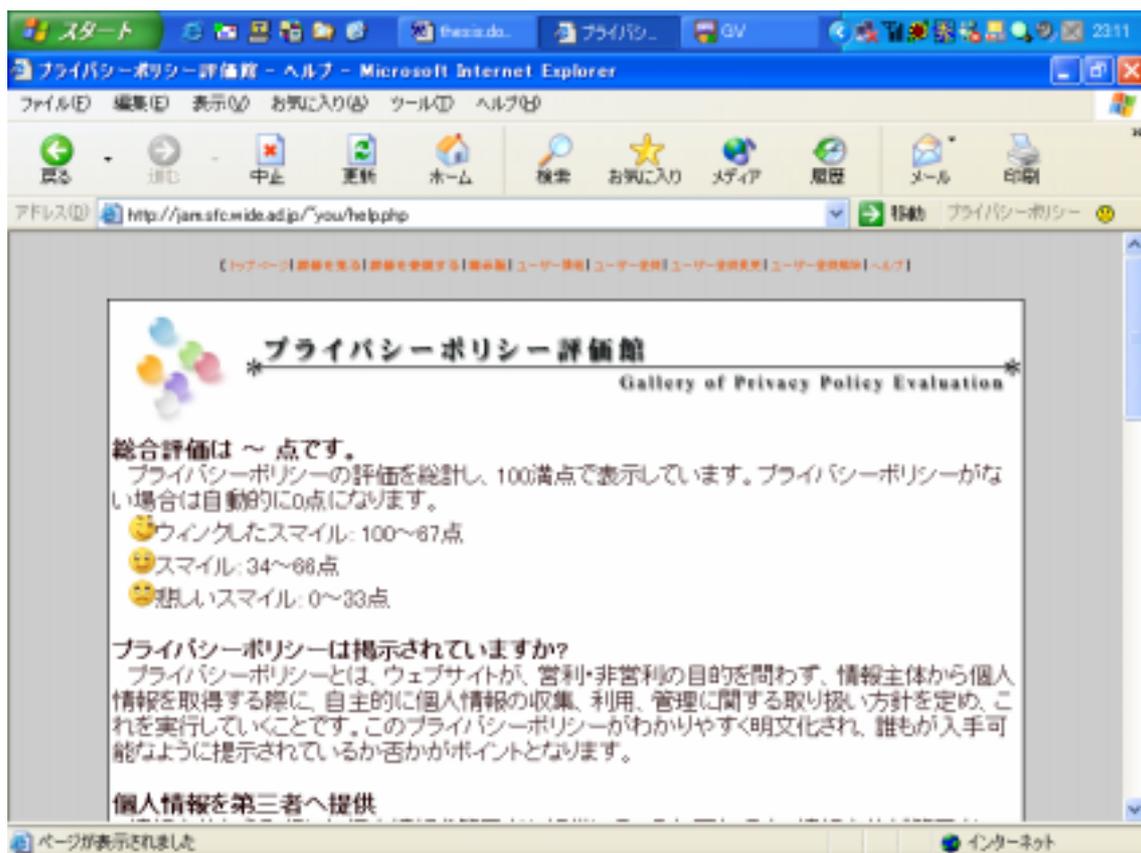


図 21 ヘルプ



図 22 プライバシーポリシーへジャンプ(プラグインのメニューから「このウェブサイトのプライバシーポリシー」をクリック)

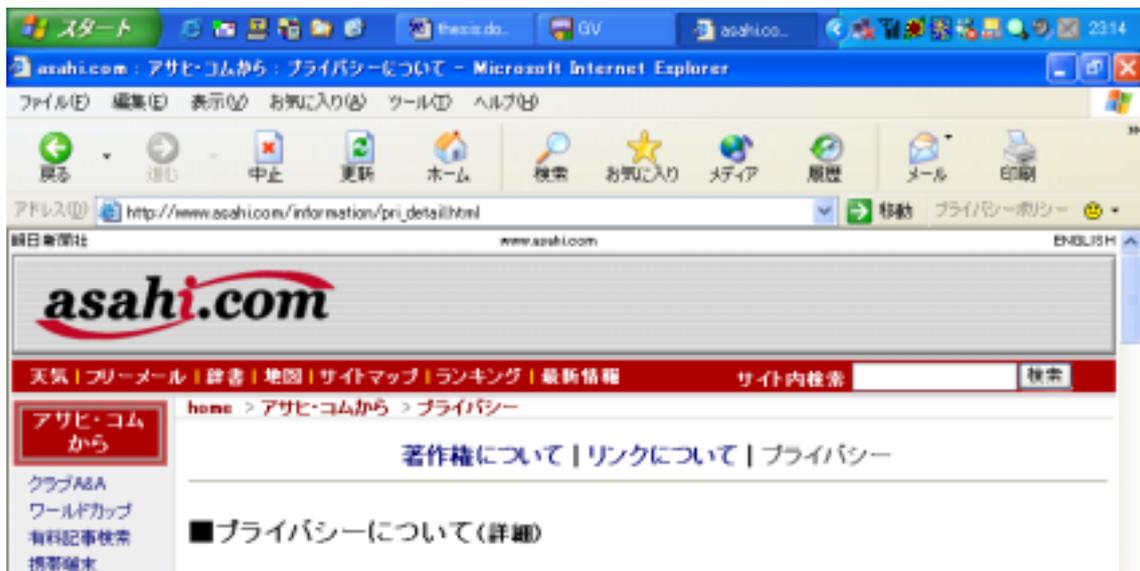


図 23 プライバシーポリシーへジャンプ(自動的に飛ぶ)

4.2.2.2 サイトリスト

ウェブサイトのプライバシーポリシーを評価する上で、評価するための基準が欠かせない。客観的でオープンな標準規格として、日本工業規格「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項」(JIS Q 15001) [26]の第4章が今回の目的にはふさわしいと考え、これに準じた形で基準を作成した。詳しくは以下に挙げる23項目である。「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項」のみに限定的に関わる項目や、プライバシーポリシーのみからは推し量れず、より踏み込んだ監査を必要とする項目については除外し、文章表現を一部改変してある。なお、比較のためJIS Q 15001の第4章を適宜参照してほしい。

作成した基準

- ・ 次の事項を含む個人情報保護方針を定めるとともに、これを実行し維持している
 - a) 事業の内容及び規模を考慮した適切な個人情報の収集、利用に関すること。
 - b) 個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどの予防並びに是正に関すること。
 - c) 個人情報に関する法令及びその他の規範を遵守すること。
- ・ 個人情報保護方針を文書化し、役員や従業員に周知させるとともに一般の人が入手可能な措置を講じている
 - ・ 自ら保有するすべての個人情報を特定するための手順を確立し、維持している
 - ・ 特定した個人情報に関するリスク(個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなど)を認識している
 - ・ 個人情報に関する法令及びその他の規範を特定し、参照できる手順を確立し、維持している
 - ・ 個人情報を保護するための内部規定を策定し、維持している
 - ・ 内部規定を遵守するために必要な教育、監査などの計画を立案し、文書化し、かつ、維持する
 - ・ 個人情報の収集は、収集目的を明確に定め、その目的の達成に必要な限度において行われている
 - ・ 個人情報の収集は、適法、かつ、公正な手段によって行われている
- ・ 次に示す内容を含む個人情報の収集、利用又は提供を行っていない
 - a) 思想、心情及び宗教に関する事項。
 - b) 人種、民族、門地、本籍地(所在都道府県に関する情報を除く。)、身体・精神障害、犯罪歴、その他社会的差別の要因となる事項
 - c) 勤労者の団結権、団体交渉及びその他の政治的権利の行使に関する事項。
 - d) 集団示威行為への参加、請願権の行使、及びその他の政治的権利の行使に関する事項。
 - e) 保健医療及び性生活。
- ・ 情報主体から直接に個人情報を収集する場合、情報主体に対して、少なくとも、次に示す事項又はそれと同等以上の内容の事項を書面若しくはこれに代わる方法によって通知し、情報主体の同意を得ている
 - a) 個人情報に関する問合せ部署名及び連絡先。
 - b) 収集目的。

c)個人情報の提供を行うことが予定される場合には、その目的、当該情報の受領者及び個人情報の取扱いに関する契約の有無。

d)個人情報の預託を行うことが予定される場合には、その旨。

e)情報主体が個人情報を与えることの任意性及び当該情報を与えなかった場合に情報主体に生じる結果。

f)個人情報の開示を求める権利、及び開示の結果、当該情報が誤っている場合に訂正又は削除を要求する権利の存在、並びに当該権利を行使するための具体的な方法。

・情報主体以外から間接的に個人情報を収集する場合、情報主体に対して、少なくとも、の a)～d)及び f)に示す事項を書面又はこれに代わる方法によって通知し、情報主体の同意を得ている(ただし、次に示すいずれかに該当する場合は、この限りでない)

a)情報主体からの個人情報の収集時に、あらかじめ自己への情報の提供を予定している旨の c)に従い情報主体の同意を得ている提供者から収集を行う場合

b)情報処理を委託するなどのために個人情報を預託される場合

c)情報主体の保護に値する利益が侵害されるおそれのない収集を行う場合

・個人情報の利用及び提供は、情報主体が同意を与えた収集目的の範囲内で行っている(ただし、次に示すいずれかに該当する場合は、情報主体の同意を必要としない)

(1)法令の規定による場合

(2)情報主体又は公衆の生命、健康、財産などの重大な利益を保護するために必要な場合

・情報主体が同意を与えた収集目的の範囲外で個人情報の利用及び提供を行う場合は、少なくとも、の a)～d)及び f)に示す事項を書面又はこれに代わる方法によって情報主体に通知し、事前の情報主体の同意の下に行っている

・個人情報は、収集目的に応じ必要な範囲内において、正確、かつ最新の状態で管理している

・個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなど個人情報に関するリスクに対して、合理的な安全対策を講じている

・情報処理を委託するなどのために個人情報を預託する場合は、十分な個人情報の保護水準を満たしている者を選定する基準を確立している

・契約によって、次に示す内容を規定し、その保護水準を担保している

(1)個人情報に関する秘密保持に関する事項

(2)再委託に関する事項

(3)事故時の責任分担に関する事項

(4)契約終了時の個人情報の返却及び消去に関する事項

・情報主体から自己の情報について開示を求められた場合、合理的な期間内に、これに応じる

・開示の結果、誤った情報があり、訂正又は削除を求められた場合は、合理的な期間内にこれに応じるとともに、訂正又は削除を行った場合は、可能な範囲内で当該個人情報の受領者に対して通知を行う

・保有している個人情報について、情報主体から自己の情報についての利用又は第三者への提供を拒まれた場合、これに応じる

・役員及び従業員に、適切な教育を行う

・個人情報に関して、情報主体からの苦情及び相談を受け付けて対応する

以上が全 23 項目であるが、詳細過ぎる嫌いがあり、プライバシーポリシー評価を登録するための時間的コスト、判断ミスというリスクなど、一般ユーザーが評価するには負担が大きい。また、多くのユーザーにもプライバシーポリシー評価を登録してもらわなければ、本システムの目指す「コミュニティモデルによる知識・情報のブラッシュアップ」にはつながらない。そのため、実際に登録する際の評価基準として、重複する項目や判断の困難な項目について徹底的な絞り込み・除外を行ったバージョンを作成した。シンプルなフレーズからなる全 12 項目である(表 3)。

一般的な項目		×	?
プライバシーポリシーの掲示	あり	なし	不明
個人情報を第三者へ提供	しない	する	不明
個人情報管理についての内部規定	あり	なし	不明
個人情報管理についての社員教育	している	していない	不明
個人情報への不正アクセス(紛失、破壊、改ざん、漏洩など)についてのリスク認識	あり	なし	不明
個人情報を最新の状態で管理	している	していない	不明
技術的な項目		×	?
個人情報の統計・利用	しない	する	不明
動的な個人情報の収集	しない	する	不明
禁止項目		×	?
特定の機微な個人情報(宗教、人種、身体・精神障害・犯罪歴など)の収集	しない	する	不明
苦情・相談対応項目		×	?
情報主体からの自己の個人情報の開示要求	応じる	応じない	不明
開示の結果誤った情報があった場合の削除・訂正	応じる	応じない	不明
個人情報に関する苦情・相談	応じる	応じない	不明

表 3 プライバシーポリシー評価項目

これにより、「(はい)」「×(いいえ)」「?(不明)」の 3 種類の判断で 1 つの評価を完成することができる。以上の各項目について、その旨がプライバシーポリシーに明示されているかどうかを評価し、まとめ上げたデータベースを「サイトリスト」と呼ぶ。

サイトリストは以下のような構造をしている(表 4)。

url	ウェブサイトの URL
privacypolicyurl	プライバシーポリシーの URL
sitename	ウェブサイトの名前
registrar	登録者名
updater	更新者名
registdate	登録日(yyyy-mm-dd)
updatedate	更新日(yyyy-mm-dd)
lastaccessdate	最終アクセス日(yyyy-mm-dd)
expiredate	有効期限日(yyyy-mm-dd) 登録日 or 更新日+1 年
accesscount	アクセス数
eval1	プライバシーポリシーの掲示

eval2	個人情報を第三者へ提供
eval3	個人情報管理についての内部規定
eval4	個人情報管理についての社員教育
eval5	個人情報への不正アクセス(紛失、破壊、改ざん、漏洩など)についてのリスク認識
eval6	個人情報を最新の状態で管理
eval7	個人情報の統計・利用
eval8	動的な個人情報の収集
eval9	特定の機微な個人情報(宗教、人種、身体・精神障害・犯罪歴など)の収集
eval10	情報主体からの自己の個人情報の開示要求
eval11	開示の結果誤った情報があった場合の削除・訂正
eval12	個人情報に関する苦情・相談

表 4 サイトリスト構造

url ~ accesscount まではコメントの通りである。eval[1-12]については若干説明が必要だろう。これらは前述の評価項目にそれぞれ対応しており、「(はい)」の場合は「t」、「×(いいえ)」の場合は「f」、「?(不明)」の場合は「n」のフラグが立つ。なお例外として、eval1 が「f」または「n」の場合はすべての項目で「n」のフラグが立つ。

サービスプログラムである「プライバシーポリシー評価を見る」内部では、これらのフラグを以下のように換算している。

- (はい)...+2 点
- ×(いいえ)...+1 点
- ?(不明)...0 点

集計は加点法である。肯定的な項目でプライバシーポリシーとして明示している点を最大限に加点することを基本とした。一方で、否定的な項目でもプライバシーポリシーとして明示している場合も加点対象とした。これは、明示がないよりはある方が良いという考えからである。そのため、プライバシーポリシーとして当該の項目がまったく明示されておらず、不明な場合は加点なしとした。

このまま単純に全項目を計算すると、最高点が 24 点、最低点が 0 点となる。しかし、前節で定義した、「誰にでも容易に理解できる」という要件を満たすため、最高点が 100 点になるように計算を行っている(表 5)。

表 5 プライバシーポリシー評価を得点化する計算式

<pre>\$point = \$point / 24 * 100; // 総計 ÷ 24 × 100 \$point = number_format(\$point); // 小数点以下を切り捨てる</pre>
--

4.3 実装

クライアント側では、OS に Microsoft Windows XP Professional Edition、プラグインの実装に Microsoft Visual C++ 6.0[47]に Service Pack 5.0 と Plathome SDK を組み込んだものを使用した。

サーバー側では、OS に Vine Linux 2.1.5 ・カーネル 2.4.3、サーバーソフトウェアに Apache 1.3.22、データベースソフトウェアに PostgreSQL 7.0.3[18][19][20]、サービスインターフェースの実装に PHP 4.0.4[50]を使用した。

動作確認は Microsoft Windows XP Professional Edition に Internet Explorer 6.0 を組み込んだ環境で行った。

5 システムの運用と評価

5.1 運用

本システムを「プライバシーポリシー評価館」と命名し、2001年12月下旬から研究室内でテスト公開し、バグ修正などを経て2002年1月上旬から一般公開を行った。2002年1月末現在 <http://privacy.sfc.wide.ad.jp/> にて公開中である。

ツールバー型プラグインはフリーソフトウェアとして配布し、プライバシーポリシー評価には誰もがアクセス可能とした。また、登録を行ったユーザーには、プライバシーポリシー評価の登録も可能とした。

2002年1月1日～1月28日までの総ページビュー数は5849に達した。

5.2 評価

本システムの評価は、実際にユーザーにシステムを使用してもらう実験でテストを行い、データを取ることで定量的な統計を、使用感などを調査票に記入してもらうことで定性的な統計をし、結果を分析することで行う。なお、テスト用紙、調査票については付録として添付した。

5.2.1 実験

本システムを利用しない際と、利用する際とで、ユーザーのプライバシーポリシーに対する動向がどう変化するかを見るため、次のような条件で実験を行った。

対象

19～27歳までの大学生・社会人男女

期間

2002年1月15日～1月21日

調査内容

- プライバシーポリシーをウェブページ上から探すまでの時間
- ツールバー型プラグインの使用感
- プライバシーポリシー内容理解の正確性
- プライバシーポリシー内容理解の速度(内容を飲み込み、判断できるようになるまでの時間)
- 他者によるプライバシーポリシー評価が信頼できるかどうか

- プライバシーポリシー評価項目の妥当性

調査方法

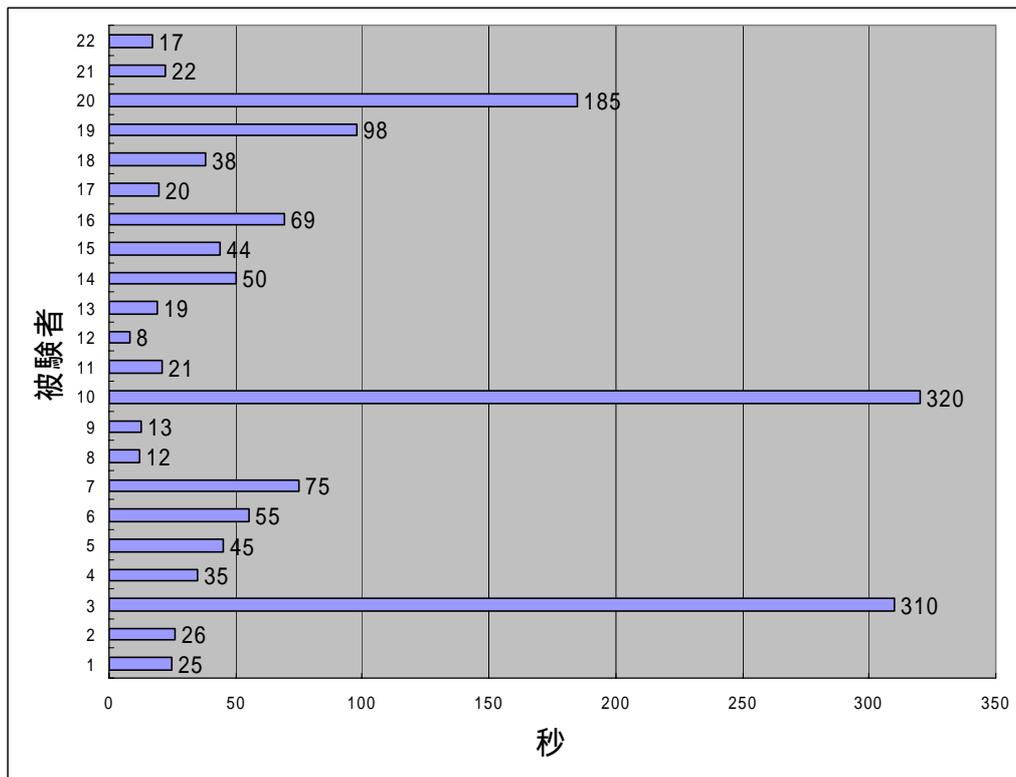
1. 被験者にこちらの用意した PC の前に座ってもらう。
2. 今回の実験についてと、プライバシーポリシーについての簡単な説明をする。なお、実験の目的については実験結果に影響が出る(故意に目的に迎合、あるいは反する行為を行う)危険性が考えられたため事前には説明をしていない。
3. ブラウザに「Mainichi INTERACTIVE(毎日新聞)」を表示し、プライバシーポリシーを探してもらう。被験者が探すのを開始してから、リンクをクリックしてプライバシーポリシー評価が表示されるまでの時間を記録する(表 6)。
4. 「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーを、60 秒間読んでもらう。
5. 「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーについて、理解度を調べるためテスト用紙に回答を行ってもらう(表 7)。提出までの時間も記録する(表 8)。
6. ブラウザに「アサヒ・コム(朝日新聞)」を表示し、プライバシーポリシーを探してもらう。表示までの時間は記録しない。
7. ツールバー型プラグインを使って、プライバシーポリシーにアクセスしてもらい、「このサイトのプライバシーポリシーを見る」機能の使用感を確かめてもらう。
8. 「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーを、60 秒間読んでもらう。
9. 「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーを、他者が評価した結果を見てもらう。ただし他者の主観による評価でしかなく、必ずしも被験者の主観と照らし合わせた場合と重なるものではないという旨も伝え、参考程度に見てもらうようにする。
10. 「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーについて、理解度を調べるためテスト用紙に回答を行ってもらう(表 9)。提出までの時間も記録する(表 10)。
なお「Mainichi INTERACTIVE」でも同様の作業を行っているため、ユーザーが慣れてしまい、理解度・提出時間共に「Mainichi INTERACTIVE」の時よりも良い結果が出てしまう可能性を考慮し、プライバシーポリシーが長めなウェブサイトである「アサヒ・コム」を選んだ。
11. 実験が終了した旨を伝え、調査票を記入してもらう(表 11表 11)(表 12)。提出までの時間は記録しない。

集まったデータ数

22

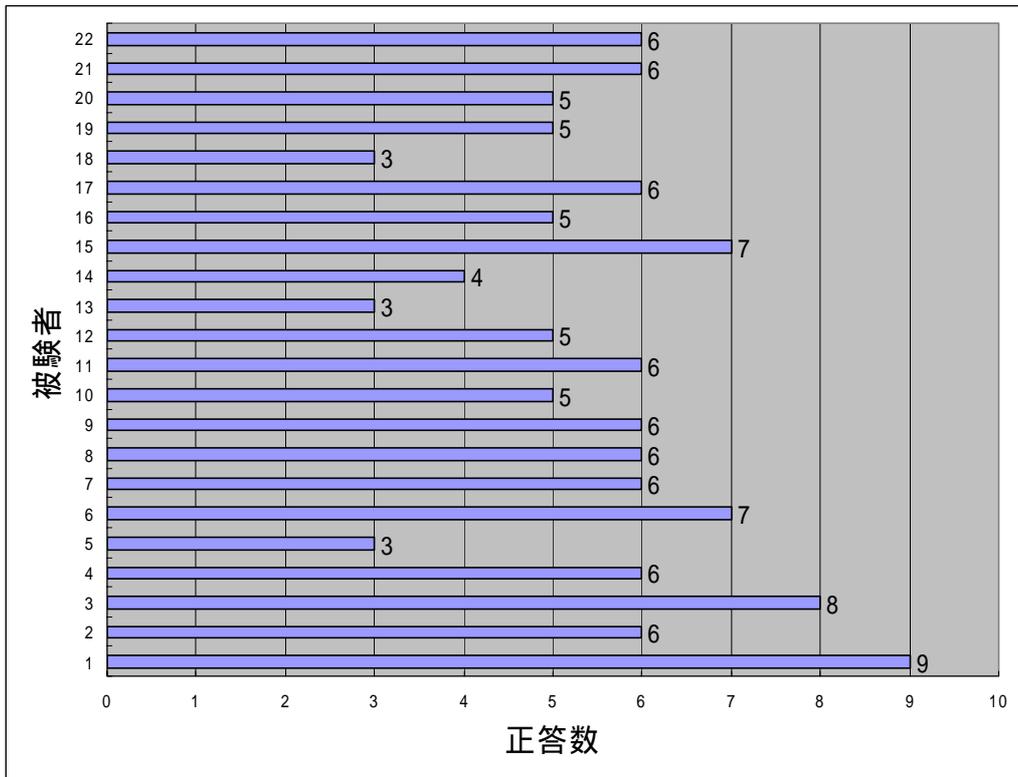
5.2.2 結果

表 6 「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーを見つけるまでの時間



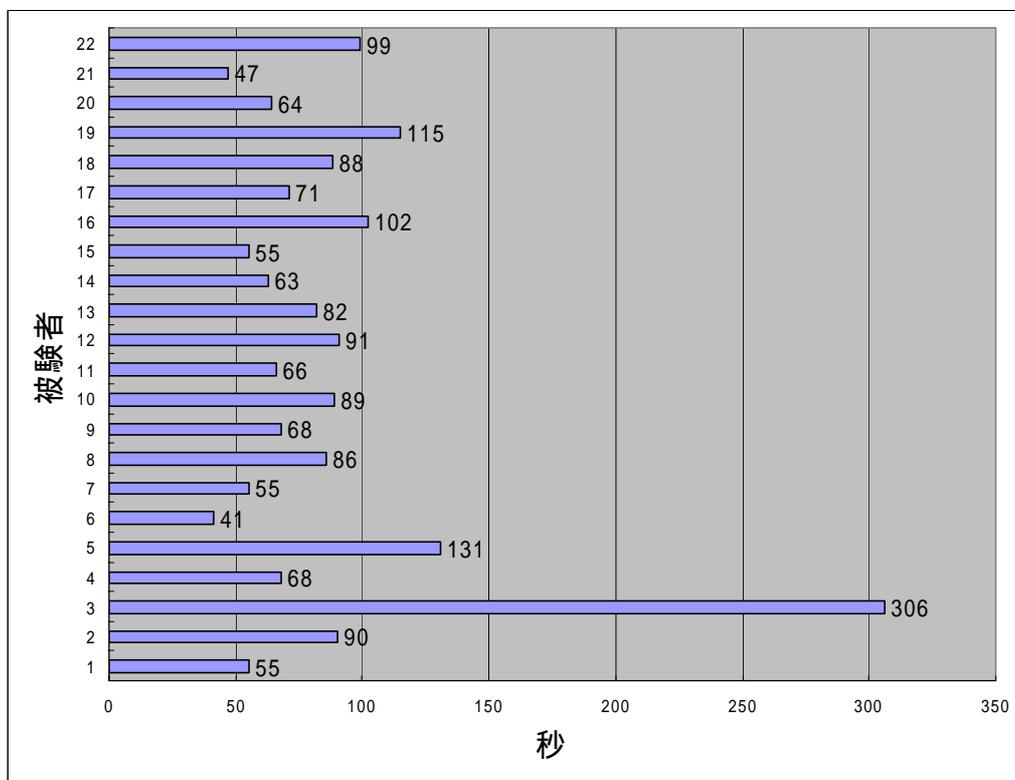
X軸に被験者番号、Y軸に時間(秒)をとり、「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーを見つけるまでの時間を表した。平均時間は68.50秒だが、8割の被験者が60秒以内に収まっている。

表 7 「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーについてのテスト正答数(11 問中)



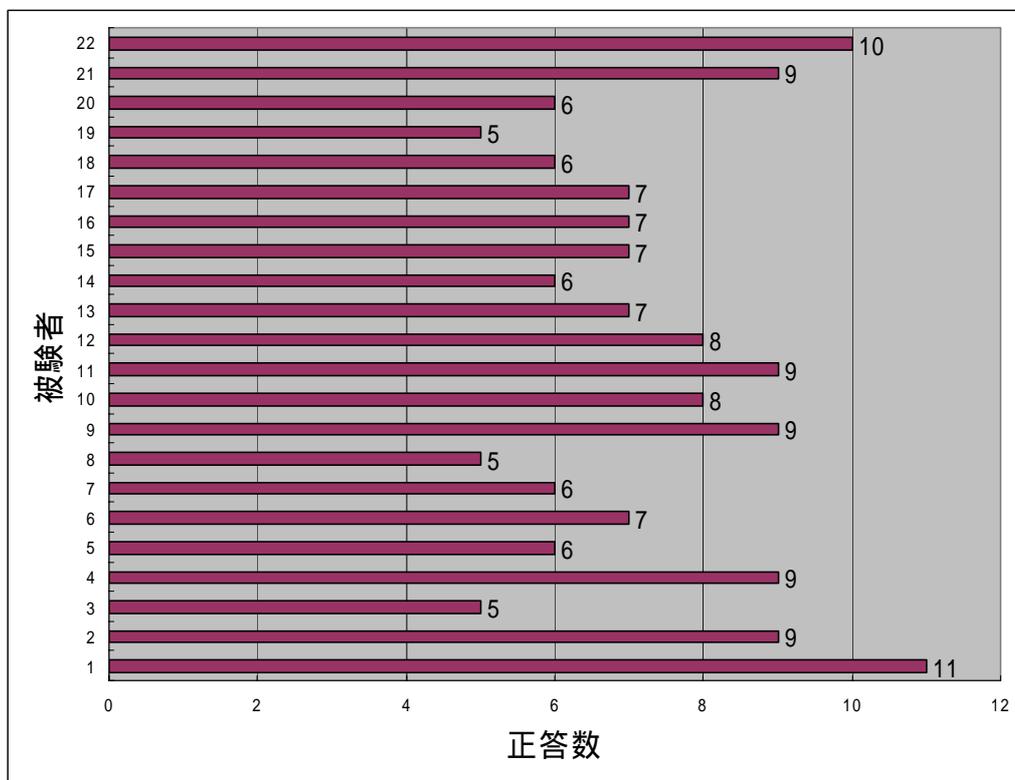
X 軸に被験者番号、Y 軸に正答数を取り、「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーについてのテスト正答数(11 問中)を表した。平均点は 5.59 点となった。

表 8 「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーについてのテスト用紙提出までの時間



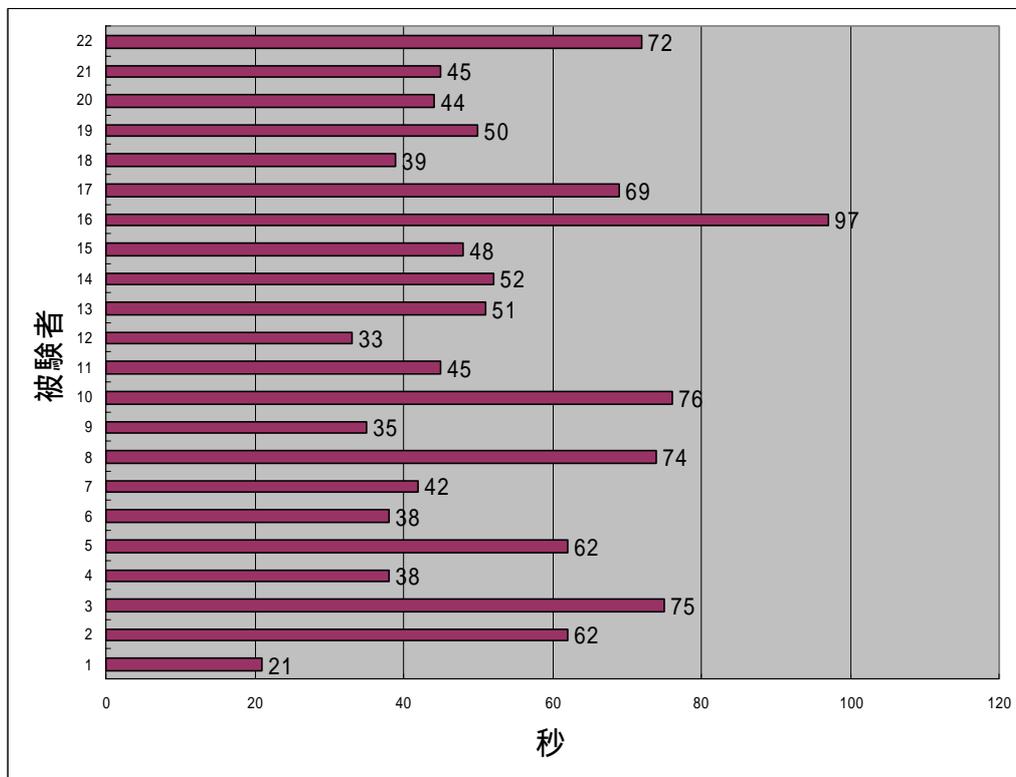
X軸に被験者番号、Y軸に時間(秒)をとり、「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーについてのテスト用紙提出までの時間を表した。平均時間 87.82 秒である。1 名のみ 306 秒かかっているが、これは外れ値として除外すべきだろう。

表 9 「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーについてのテスト正答数(11 問中)



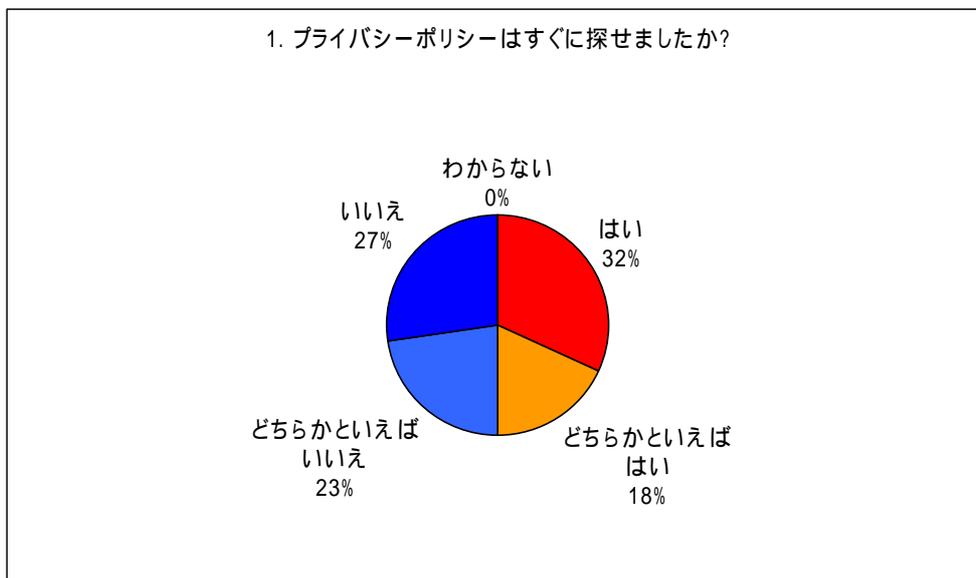
X 軸に被験者番号、Y 軸に正答数を取り、「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーについてのテスト正答数(11 問中)を表した。平均点は 7.36 点である。5 点未満の被験者はいなかった。

表 10 「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーについてのテスト用紙提出までの時間

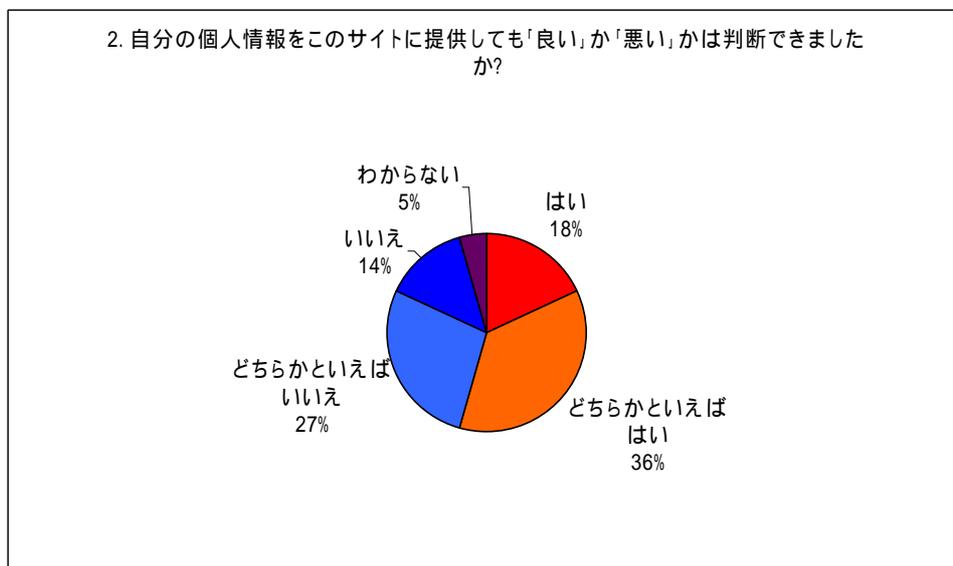


X 軸に被験者番号、Y 軸に時間(秒)をとり、「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーについてのテスト用紙提出までの時間を表した。平均時間は 53.09 秒である。

表 11 調査票:「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーを読む際

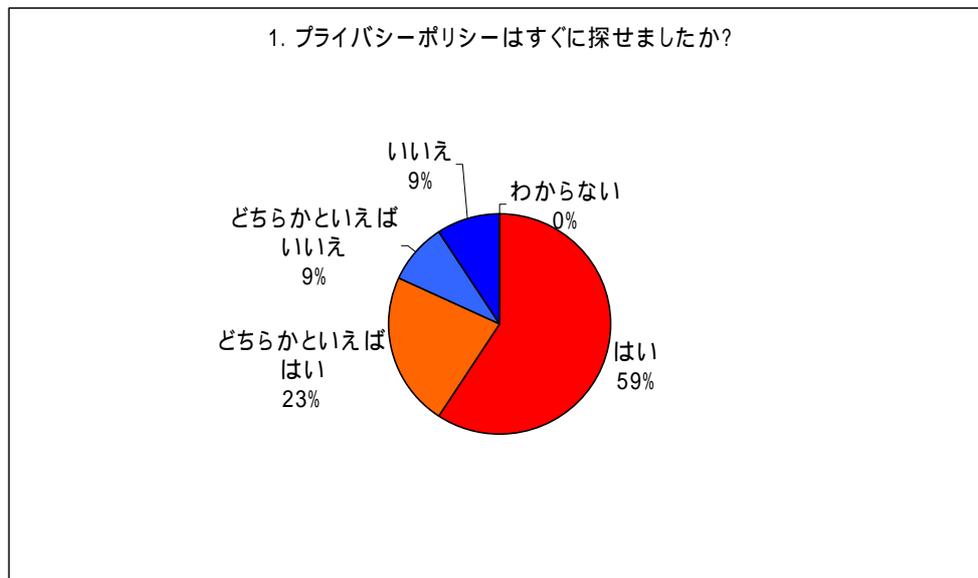


「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーはすぐに探せたかという質問に対する回答を分類した。「はい」「どちらかといえば はい」と、「いいえ」「どちらかといえば いいえ」という意見が半々である。

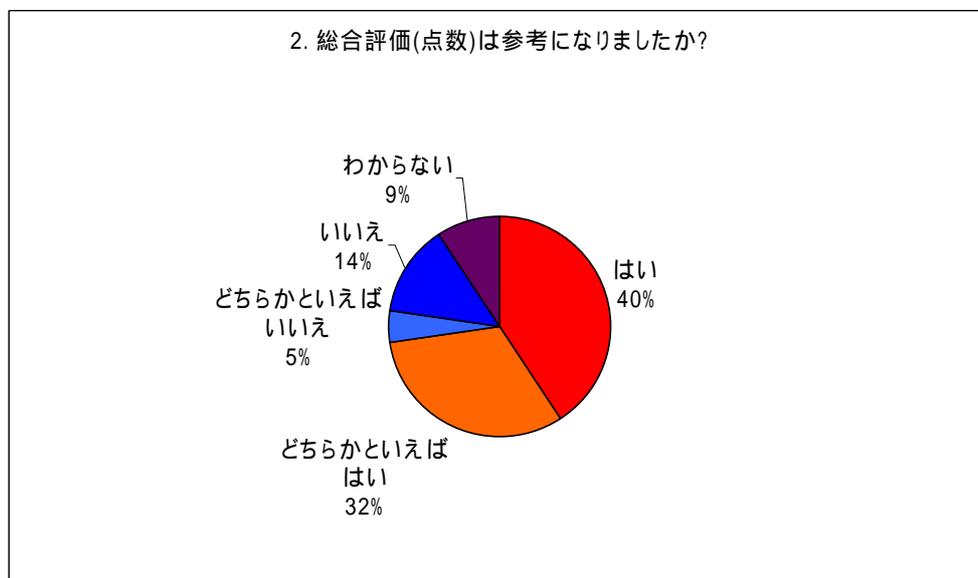


「Mainichi INTERACTIVE」に対し個人情報を提供してもよいかどうか判断できたかという質問に対する回答を分類した。「はい」「どちらかといえば はい」と、「いいえ」「どちらかといえば いいえ」「わからない」という意見がほぼ半々である。

表 12 調査票:「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーを「プライバシーポリシー評価」ツールを使って読む際

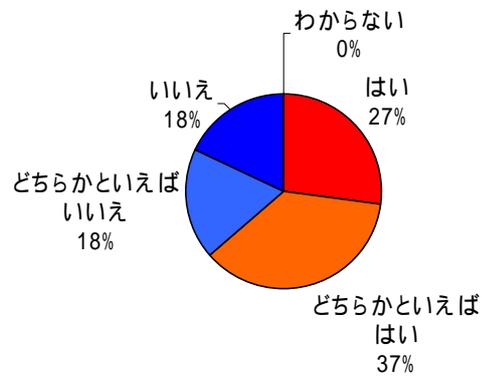


「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーはすぐに探せたかという質問に対する回答を分類した。「はい」「どちらかといえば はい」が80%を越えた。



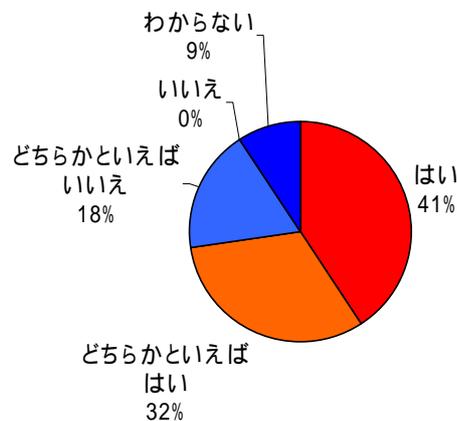
「アサヒ・コム」に対するプライバシーポリシー評価の総合評価(点数)が参考になったかという質問に対する回答を分類した。「はい」「どちらかといえば はい」が70%を越えているが、「わからない」という意見も若干あった。

3. 自分の個人情報をこのサイトに提供しても「良い」か「悪い」かは判断できましたか？



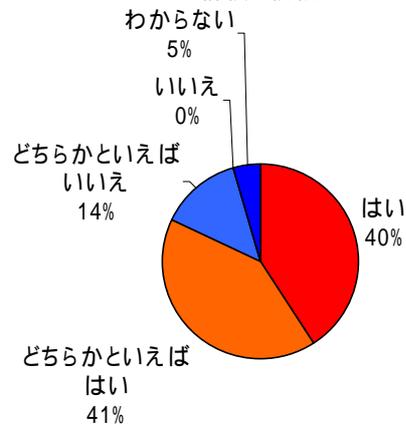
「アサヒ・コム」に対し個人情報を提供してもよいかどうか判断できたかという質問に対する回答を分類した。「はい」「どちらかといえば はい」とする被験者の比率が「いいえ」「どちらかといえば いいえ」とする被験者よりも若干高くなった。

4. 他者によるプライバシーポリシー評価は参考になるとおもいますか？



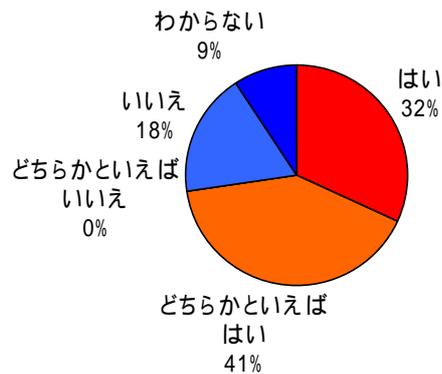
「アサヒ・コム」に対し個人情報を提供する際、他者によるプライバシーポリシー評価は参考になると思うかという質問に対する回答を分類した。「はい」「どちらかといえば はい」とする被験者が70%を越えている。

5. 多くの人とそのプライバシーポリシー評価を信頼している場合、自分もそのプライバシーポリシー評価を信頼できると思いますか？



多くの人「アサヒ・コム」に対するプライバシーポリシー評価を信頼している場合、自分もそのプライバシーポリシー評価を信頼できると思うかという質問に対する回答を分類した。「はい」「どちらかといえば はい」とする人が80%を越えた。

6. プライバシーポリシー評価の項目は妥当だと思いますか？



プライバシーポリシー評価の項目は妥当だと思うかという質問に対する回答を分類した。「はい」「どちらかといえば はい」とする人が70%を越えた。

5.2.3 分析

プライバシーポリシーをウェブページ上から探すまでの時間と ツールバー型プラグインの使用感

「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーへのリンクは比較的に見つけづらい場所であったためか、探し当てるまでの平均時間が68.50秒もかかっている(表 6)。その一方で「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーはプラグインの「このウェブサイトのプライバシーポリシーを見る」機能を使って表示してもらったので、探し当てるまでの時間は実質的に0秒である。

調査票を見てみると、「Mainichi INTERACTIVE」に関する「1. プライバシーポリシーはすぐに探せましたか?」という質問に対しては、「はい」「どちらかといえば はい」と答えた人が全体の50%を占めるのに対し、「いいえ」「どちらかといえば いいえ」と答えた人も50%を占めており、すぐに探し当てることのできた人とできなかった人とに二分されたことが分かる(表 11)。その一方で「アサヒ・コム」に関する「1. プライバシーポリシーはすぐに探せましたか?」という質問に対しては、「はい」「どちらかといえば はい」と答えた人が全体の80%を占めている(表 12)。プラグインの「このウェブサイトのプライバシーポリシーを見る」機能が、プライバシーポリシーへのアクセスの手間を軽減していると考えて良いだろう。

プライバシーポリシー内容理解の正確性

「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーについては、被験者自身の判断のみでテストに回答してもらったためか、平均点が5.59点に止まっている(表 7)。その一方で「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーは他者によるプライバシーポリシーの評価を参考にしつつ、最終的な判断は被験者に行ってもらったところ、平均点が7.36点にまで上がっている(表 9)。

しかしこの2つの結果だけからは、ランダムに標本を選んだときの標本抽出による誤差によって、観測された平均値の差が偶然生じている可能性を否定できない。そこで、他者によるプライバシーポリシーの評価を参考にすることが、内容理解を正確なものにしているかどうかをより詳しく調べるため、「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーについてのテスト正答数と、「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーについてのテスト正答数の、分散が等しくないと仮定した2つの標本間でt検定¹を行い、両者に統計的に有意な差が見られるかを検証した。その結果、 $t=-3.659$ 、自由度=41、 $p<0.01$ となり有意水準1%で両者の間に有意な差を見ることができた。

調査票を見ても、「Mainichi INTERACTIVE」に関する「2. 自分の個人情報をこのサイトに提供しても「良い」か「悪い」かは判断できましたか?」という質問に対しては、「はい」「どちらかといえば はい」と答えた人が全体の55%である(表 11)のに対し、「アサヒ・コム」に関する「3. 自分の個人情報をこのサイトに提供しても「良い」か「悪い」かは判断できましたか?」という同様の質問では、「はい」「どちらかといえば はい」と答えた人が全体の64%と微増している(表 12)ことがわかり、被験者の感覚的にも判断がしやすくなっていることがうかがえる。なお、「わからない」という回答の中には、「毎日新聞、朝日新聞というネームバリューで判断してしまった。」というものもあり、個人情報取扱事業者の経営規模、知名度、ブランド力なども判断に影響を及ぼす可能性があることを示唆している。

¹ 2群の平均値の差の検定。カテゴリー変数の2つの水準の間で、数量変数の平均値を取り比較する。
<http://aoki2.si.gunma-u.ac.jp/lecture/Average/t-test.html>

プライバシーポリシー内容理解の速度(内容を飲み込み、判断できるようになるまでの時間)

「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーについては、被験者自身の判断のみでテストに回答してもらったためか、テスト用紙提出までの平均時間が 87.82 秒かかっている(表 8)。その一方で「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーは他者によるプライバシーポリシーの評価を参考にしつつ、最終的な判断は被験者に行ってもらったところ、テスト用紙提出までの平均時間が 53.09 秒に短縮されている(表 10)。

しかしこの 2 つの結果だけからは前述の項目同様、観測された平均値の差が偶然生じている可能性を否定できない。そこで、他者によるプライバシーポリシーの評価を参考にすることが、内容理解の速度を短縮しているかどうかをより詳しく調べるため、「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーについてのテスト用紙提出までの時間と、「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーについてのテスト用紙提出までの時間の、分散が等しくないと仮定した 2 つの標本間で t 検定を行い、両者に統計的に有意な差が見られるかを検証した。その結果、 $t=2.876$ 、自由度=26、 $p<0.01$ となり有意水準 1%で両者の間に有意な差を見ることができた。

また、「アサヒ・コム」に関する「2. 総合評価(点数)は参考になりましたか?」という質問に対し、73%の人が「はい」「どちらかといえば はい」と答えている(表 12)。プライバシーポリシー内容を大まかにつかむための指針として働いていることがうかがえるが、一方で「わからない」という意見の中には「(そもそも表示に)気づかなかった」というものもあり、より分かりやすい表示の仕方も求められている。

他者によるプライバシーポリシー評価が信頼できるかどうか

「アサヒ・コム」に関する「4. 他者によるプライバシーポリシー評価は参考になると思いますか?」という質問に対し、「はい」「どちらかといえば はい」と答えた人が全体の 73%に達しており(表 12)、プライバシーポリシーの内容理解の手助けとなったと答えている。

また、「アサヒ・コム」に関する「5. 多くの人とそのプライバシーポリシー評価を信頼している場合、自分もそのプライバシーポリシー評価を信頼できると思いますか?」という質問に対しても 82%の人が「はい」「どちらかといえば はい」と答えている(表 12)。品質が高く、利用価値があると複数の人から判断されている情報は、積極的に参照したいという意志の現われと考えられる。「コミュニティによる情報のブラッシュアップ」の仕組みがこうした意志をより強固なものとするだろう。

自由記入欄の「7. ご意見・ご感想をお書きください(良かった点、改善した方が良い点など)。」へは、「評価をしている人はプライバシーに関して意識の高い人だと思ったので、信頼した。」という回答もあった。

プライバシーポリシー評価項目の妥当性

「アサヒ・コム」に関する「6. プライバシーポリシー評価の項目は妥当だと思いますか?」という質問に対し、「はい」「どちらかといえば はい」と答えた人が 68%、一方で「いいえ」「どちらかといえば いいえ」と答えた人が 18%いた(表 12)。また自由記入欄の「7. ご意見・ご感想をお書きください(良かった点、改善した方が良い点など)。」へは、「もっと短いセンテンスの方がよい。抽象的な単語が多いので、幅広いユーザーに使われにくいのではないか。」という回答もあった。

誰もが納得のいくプライバシーポリシー評価項目を作ることは難しいが、客観的でオープンな標準規格として、日本工業規格「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項」(JIS Q 15001)の第 4 章を選び、一般の人にも理解可能な形で絞り込み・単純

化をした評価項目を作成したこと自体の狙いは間違っていないだろう。ヘルプなどを充実させ、理解を助けるための仕組みを作り上げていく必要がある。

6 結論

6.1 判明点

本論文の目的は、「個人情報を提供する際の判断リスク・コストの低減」であった。この実現のため、既存の社会制度・技術制度を概観すると共にそれらの問題点について洗い出した上で、「個人情報提供時における他者判断基準の導入」という新しい概念を提案した。これに基づき、従来は完全に個人の判断基準に任されていた個人情報を提供するか否かを、他者によるプライバシーポリシー評価を参考にすることで、個人に一定の担保を与えられ、容易に判断できるようにすることを目指したシステムを設計・実装・運用した。

システムの評価の結果、ユーザーは従来と比べプライバシーポリシーの内容をより速く、正確に理解できるようになり、判断に迷うリスクが減少したことがわかった。詳細なプライバシーポリシー内容を知りたいと思った際の、時間的コストも減少していることも同時にわかった。また、他者によるプライバシーポリシー評価をユーザーズコミュニティ全体でブラッシュアップさせ、情報の信頼性を向上させていくことで、判断をより正確で強固なものにできることが確かめられた。

6.2 今後の課題

まず、システムのインターフェースや、プライバシーポリシー評価項目の妥当性を問う意見も挙がっている。前者については運用を継続し、意見収集・改善というフィードバックスパイラルを作り出すことで解決を目指すことが課題であろう。後者については、JIS Q 15001 以外の他の規格に基づき評価項目を作成し、運用した場合との比較が必要である。ISO など国際標準規格としての個人情報保護に関する規格の登場を待ちたい。

また今後は、プライバシーポリシー評価自体を正規化し、今回試験的に作成したインターフェース以外のクライアントから情報を問い合わせできるようにし、本論文が提案した概念を広く普及させていくことが重要になる。

謝辞

本論文を執筆するにあたり、ご指導をいただきました慶應義塾大学環境情報学部の村井純教授、慶應義塾大学政策・メディア研究科の折田明子特別研究助手に感謝いたします。

また、本論文に関する示唆を与えてくださった慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程の江木啓訓氏、西村祐貴氏、並びにネットワークコミュニケーションに関する研究グループ(neco)の皆様、layer8 メーリングリスト(18)の皆様に感謝いたします。

最後に…。執筆に行き詰まったとき、いつも気分転換のお手伝いをしてくれた愛すべき私のバイク、マジスティクんに「どうもありがとう」。



参考文献

ネットワーク論

1. インターネット協会『インターネット白書 2001』(インプレス)
2. Neil Randall・村井純・田中りゅう・村井佳世子『インターネットヒストリー オープンソース革命の起源』(オライリー・ジャパン、1999年)
3. 今井賢一『情報ネットワーク社会』(岩波書店、1984年)
4. 今井賢一・金子郁容『ネットワーク組織論』(岩波書店、1988年)
5. 安田雪『ネットワーク分析 何が行為を決定するか』(新曜社、1997年)
6. 安田雪『実践ネットワーク分析 関係を解く理論と技法』(新曜社、2001年)
7. 立川敬二・NTT 技術予測研究会『2015年の情報通信技術 次世代 IT の未来ビジョン』(NTT 出版、2001年)

コミュニティ論

8. 金子郁容『コミュニティ・ソリューション ボランティアな問題解決にむけて』(岩波書店、1999年)
9. 金子郁容『ボランティア経済の誕生 自発する経済とコミュニティ』(実業之日本社、1998年)
10. 佐々木裕一・北山聡『Linux はいかにしてビジネスになったか コミュニティ・アライアンス戦略』(NTT 出版、2000年)
11. 宮垣元・佐々木裕一『シェアウェア』(NTT 出版、1998年)
12. Raymond, E.S. "The Cathedral and the Bazaar," O'Reilly, 1999.
13. Saxenian, A. "Regional Advantage," Harvard University Press, 1994.

プライバシー・人間の信頼感情

14. 林紘一郎・牧野二郎・村井純『IT2001 なにが問題か』(岩波書店、2001年)
15. Keen, P., C. Ballance, S. Chan and S. Schrupp "Electronic Commerce Relationships: Trust by Design," Prentice Hall PTR, 2000.
16. フランシス・フクヤマ『「信」無くば立たず』(三笠書房、1996年)
17. 山岸俊男『安心社会から信頼社会へ』(中公新書、1999年)

プログラミング・データベース

18. 堀田倫英・石井達夫・廣川類『PHP4 徹底攻略 Web とデータベースの連携プログラミング』(ソフトバンクパブリッシング、2000年)
19. 萌木彪『はじめての SQL 基礎からはじめるデータベース操作』(技術評論社、1995年)
20. ブルース・モムジャン・日本ポストgresユーザー会『はじめての PostgreSQL』(ピアソン・エデュケーション、2001年)

参考ウェブサイト

プライバシー

21. Organization for Economic Cooperation and Development “Guidelines on the Protection of Privacy and Transborder Flows of Personal Data, (23rd September, 1980)”
<http://www1.oecd.org/dsti/sti/it/secur/prod/PRIV-EN.HTM>
22. EU “Data Protection”
http://europa.eu.int/comm/internal_market/en/dataprot/
23. 個人情報保護法制化専門委員会
<http://www.kantei.go.jp/jp/it/privacy/houseika/>
24. 個人情報保護法案全文
<http://www.mainichi.co.jp/digital/houan/01.html>
25. U.S. Department of Commerce “Safe Harbor”
<http://www.export.gov/safeharbor/>
26. 日本工業規格「個人情報に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項」(JIS Q 15001)
<http://www.jipdec.or.jp/security/privacy/pdf/jisq15001.pdf>
27. 日本情報処理開発協会「プライバシーマーク制度」
<http://www.jipdec.or.jp/security/privacy/>
28. データ通信協会「個人情報保護登録センター」
<http://www.dekyo.or.jp/hogo/center.htm>
29. TRUSTe
<http://www.truste.org/>
30. BBBOnline
<http://www.bbb.com/>
31. 牧野二郎「プライバシーとはなにか」
http://www3.justnet.ne.jp/~ilc/journal/990828_1.htm
32. ニューメディア開発協会「インターネット上のプライバシー保護に関する各国の現状」
http://www.nmda.or.jp/enc/privacy/privacy-now5_1.html
33. 岩手県「岩手県の情報公開」
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0103/koukai/>
34. 警察庁「不正アクセス行為禁止法」
http://www.npa.go.jp/hightech/fusei_ac1/main.htm
35. CHRONOLOGY of PRIVACY
<http://www.mb.nma.ne.jp/~jun/re/privacy/privacychrono.html>
36. ZDNet「ユーザーはどんな時、個人情報を自ら手放すか」
<http://www.zdnet.co.jp/news/0004/13/data.html>
37. 「MS のプライバシー侵害問題の真相」
<http://ascii24.com/news/columns/10103/article/1999/03/30/620279-000.html>

ネットワーク

38. 総務省「情報通信行政(IT 政策)」
http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/joho_tsusin.html

仕様

39. Platform for Privacy Preferences (P3P) Project
<http://www.w3.org/P3P/>
40. Platform for Internet Content Selection (PICS)
<http://www.w3.org/PICS/>

概念

41. 暗号とは
<http://www.na.sakura.ne.jp/~yonai/pgp/crypto.html>
42. 日本ベリサイン「SSL サーバ証明書」
<http://www.verisign.co.jp/server/>
43. Mainichi INTERACTIVE 京の視点「自己情報コントロール権」
<http://www.mainichi.co.jp/area/kyoto/siten/1116.html>
44. Yahoo! JAPAN「Yahoo!オークションでの評価とは?」
<http://help.yahoo.co.jp/help/jp/auct/agen/agen-07.html>
45. 三者協議会「信用情報機関における個人信用情報の保護に関する指針」
http://www.zij.co.jp/sinyo/kikan_2.html
46. 協調フィルタリング
<http://www.csl.sony.co.jp/person/masui/bib/CollaborativeFiltering.html>

プログラミング

47. Microsoft「MSDN ライブラリ」
<http://www.microsoft.com/japan/developer/library/>
48. Microsoft「Browser Helper Objects: 望み通りのブラウザ」
<http://www.microsoft.com/JAPAN/developer/library/jptech/msdnnews/top.htm>
49. Internet Explorer をコントロールする
<http://www1.plala.or.jp/knambo/vc/usemore.html#IEXPLORE>
50. The PHP Group「PHP マニュアル」
<http://www.php.net/manual/ja/>

参考プログラム

51. The Code Project "Toolband (Toolbar for IE) sample using WTL"
<http://www.codeproject.com/useritems/toolband.asp>
52. PRIVACY FOUNDATION "BUGNOSIS"
<http://www.bugnosis.org/>
53. hottolink「ホットリンクバー」
<http://www.hottolink.com/>
54. Google「Google ツールバー」
<http://toolbar.google.com/intl/ja/>

付録

ソースコード(クライアント)

- ToolBand.cpp: Implementation of DLL Exports.
- ToolBandObj.cpp: Implementation of CToolBandObj.
- BandToolBarCtrl.cpp: Implementation of the CBandToolBarCtrl class.
- BandEditCtrl.cpp: Implementation of the CBandEditCtrl class.

ソースコード(サーバー)

- view.php: プライバシーポリシー評価を見る
- register[1-5].php: 評価を登録する
- userinfo.php: ユーザー情報
- usereval.php: ユーザー評価
- jump.php: このウェブサイトのプライバシーポリシー評価を見る

実験

- テスト用紙
- 調査票

```

1 // ToolBand.cpp : Implementation of DLL Exports.
2
3
4 // Note: Proxy/Stub Information
5 // To build a separate proxy/stub DLL,
6 // run nmake -f ToolBandps.mk in the project directory.
7
8 // =====
9 // Sample by Rashid Thadha Aug 2001
10 // =====
11
12 #include "stdafx.h"
13 #include "resource.h"
14 #include <initguid.h>
15 #include "ToolBand.h"
16
17 #include "ToolBand_i.c"
18 #include "ToolBandObj.h"
19
20
21 CMyComModule _Module;
22
23 BEGIN_OBJECT_MAP(ObjectMap)
24 OBJECT_ENTRY(CLSID_ToolBandObj, CToolBandObj)
25 END_OBJECT_MAP()
26
27 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
28 // DLL Entry Point
29
30 extern "C"
31 BOOL WINAPI DllMain(HINSTANCE hInstance, DWORD dwReason, LPVOID /*lpReserved*/)
32 {
33     if (dwReason == DLL_PROCESS_ATTACH)
34     {
35         _Module.Init(ObjectMap, hInstance, &LIBID_TOOLBANDLib);
36         DisableThreadLibraryCalls(hInstance);
37     }
38     else if (dwReason == DLL_PROCESS_DETACH)
39         _Module.Term();
40     return TRUE; // ok
41 }
42
43 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
44 // Used to determine whether the DLL can be unloaded by OLE
45
46 STDAPI DllCanUnloadNow(void)
47 {
48     return (_Module.GetLockCount()==0) ? S_OK : S_FALSE;
49 }
50
51 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
52 // Returns a class factory to create an object of the requested type
53
54 STDAPI DllGetClassObject(REFCLSID rclsid, REFIID riid, LPVOID* ppv)
55 {
56     return _Module.GetClassObject(rclsid, riid, ppv);
57 }
58
59 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
60 // DllRegisterServer - Adds entries to the system registry
61
62 STDAPI DllRegisterServer(void)
63 {
64     // registers object, typelib and all interfaces in typelib
65     HKEY hKeyLocal = NULL;
66     RegCreateKeyEx(HKEY_LOCAL_MACHINE, _T("Software\\Microsoft\\Internet Explorer\\Toolbar"), 0, NULL
67 , REG_OPTION_NON_VOLATILE, KEY_WRITE, NULL, &hKeyLocal, NULL);
68     RegSetValueEx(hKeyLocal, _T("{0E1230F8-EA50-42A9-983C-D22ABC2EED3B}"), 0, REG_BINARY, NULL, 0);
69     RegCloseKey(hKeyLocal);
70     return _Module.RegisterServer(TRUE);
71 }
72
73 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
74 // DllUnregisterServer - Removes entries from the system registry
75
76 STDAPI DllUnregisterServer(void)
77 {
78     HKEY hKeyLocal = NULL;
79     RegCreateKeyEx(HKEY_LOCAL_MACHINE, _T("Software\\Microsoft\\Internet Explorer\\Toolbar"), 0, NULL
80 , REG_OPTION_NON_VOLATILE, KEY_WRITE, NULL, &hKeyLocal, NULL);
81     RegDeleteValue(hKeyLocal, _T("{0E1230F8-EA50-42A9-983C-D22ABC2EED3B}"));
82     RegCloseKey(hKeyLocal);
83     return _Module.UnregisterServer(TRUE);

```

```
84 }  
85  
86
```

```

1 //ToolBandObj.cpp : Implementation of CToolBandObj
2
3 //*****//
4 //
5 // This file was created using the DeskBand ATL Object Wizard 2.0
6 // By Erik Thompson 9 2001
7 // Email questions and comments to erikt@radbytes.com
8 //
9 //*****//
10
11 // =====
12 // Sample by Rashid Thadha Aug 2001
13 // =====
14
15
16 #include "stdafx.h"
17
18 #include "ToolBand.h"
19 #include "ToolBandObj.h"
20 #include <wchar.h>
21
22 const WCHAR TITLE_CToolBandObj[] = L"プライベートポリシー";
23
24 //////////////////////////////////////
25 // CToolBandObj
26
27 CToolBandObj::CToolBandObj():
28     m_dwBandID(0),
29     m_dwViewMode(0),
30     m_bShow(FALSE),
31     m_bEnterHelpMode(FALSE),
32     m_hWndParent(NULL),
33     m_pSite(NULL),
34     m_nToolBarButtonType(1)
35 {
36 }
37
38 BOOL CToolBandObj::RegisterAndCreateWindow()
39 {
40     RECT rectClientParent;
41     ::GetClientRect(m_hWndParent, &rectClientParent);
42
43     // We need to create an Invisible Child Window using the Parent Window, this will also be used to ref
44     //lect Command
45     // messages from the rebar
46     HWND hWndChild = m_wndInvisibleChildWnd.Create(m_hWndParent, rectClientParent, NULL, WS_CHILD);
47
48     // Now we can create the Tool Bar, using the Invisible Child
49     DWORD dStyle = WS_CHILD | WS_VISIBLE | WS_CLIPCHILDREN | WS_CLIPSIBLINGS | CCS_NODIVIDER | CCS_NORESIZE
50     | CCS_NOPARENTALIGN | TBSTYLE_TOOLTIPS | TBSTYLE_FLAT;
51
52     HWND hWnd = m_wndToolBar.CreateSimpleToolBarCtrl(hWndChild, IDR_TOOLBAR_TEST, FALSE, dStyle);
53     m_wndToolBar.m_pBand = this;
54     m_wndToolBar.SetExtendedStyle(TBSTYLE_EX_DRAWDDARROWS);
55
56     m_wndToolBar.m_ctlBandEdit.m_pBand = this;
57
58     return ::IsWindow(m_wndToolBar.m_hWnd);
59 }
60
61 // IDeskBand
62 STDMETHODIMP CToolBandObj::GetBandInfo(DWORD dwBandID, DWORD dwViewMode, DESKBANDINFO* pdbi)
63 {
64     {
65         m_dwBandID = dwBandID;
66         m_dwViewMode = dwViewMode;
67
68         if (pdbi)
69         {
70             if (pdbi->dwMask & DBIM_MINSIZE)
71             {
72                 pdbi->ptMinSize.x = 40;
73                 pdbi->ptMinSize.y = 20;
74             }
75             if (pdbi->dwMask & DBIM_MAXSIZE)
76             {
77                 pdbi->ptMaxSize.x = 0; // ignored
78                 pdbi->ptMaxSize.y = -1; // width
79             }
80             if (pdbi->dwMask & DBIM_INTEGRAL)
81             {
82                 pdbi->ptIntegral.x = 1; // ignored
83                 pdbi->ptIntegral.y = 1; // not sizeable
84             }
85             if (pdbi->dwMask & DBIM_ACTUAL)

```

```

84         {
85             pdbi->ptActual.x = 40;
86 //         pdbi->ptActual.x = 250;
87             pdbi->ptActual.y = 20;
88         }
89         if (pdbi->dwMask & DBIM_TITLE)
90         {
91             wcsncpy(pdbi->wszTitle, TITLE_CToolBandObj);
92         }
93         if (pdbi->dwMask & DBIM_BKCOLOR)
94         {
95             //Use the default background color by removing this flag.
96             pdbi->dwMask &= ~DBIM_BKCOLOR;
97         }
98         if (pdbi->dwMask & DBIM_MODEFLAGS)
99         {
100            pdbi->dwModeFlags = DBIMF_VARIABLEHEIGHT;
101        }
102    }
103    return S_OK;
104 }
105
106 // IOleWindow
107 STDMETHODIMP CToolBandObj::GetWindow(HWND* phwnd)
108 {
109     HRESULT hr = S_OK;
110     if (NULL == phwnd)
111     {
112         hr = E_INVALIDARG;
113     }
114     else
115     {
116         *phwnd = m_wndToolBar.m_hWnd;
117     }
118     return hr;
119 }
120
121 STDMETHODIMP CToolBandObj::ContextSensitiveHelp(BOOL fEnterMode)
122 {
123     m_bEnterHelpMode = fEnterMode;
124     return S_OK;
125 }
126
127 // IDockingWindow
128 STDMETHODIMP CToolBandObj::CloseDW(unsigned long dwReserved)
129 {
130     return S_OK;
131 }
132
133 STDMETHODIMP CToolBandObj::ResizeBorderDW(const RECT* prcBorder, IUnknown* punkToolBarSite, BOOL fReserve
134 d)
135 {
136     // Not used by any band object.
137     return E_NOTIMPL;
138 }
139
140 STDMETHODIMP CToolBandObj::ShowDW(BOOL fShow)
141 {
142     HRESULT hr = S_OK;
143     m_bShow = fShow;
144     ShowWindow(m_wndToolBar.m_hWnd, m_bShow ? SW_SHOW : SW_HIDE);
145     return hr;
146 }
147 // IObjectWithSite
148 STDMETHODIMP CToolBandObj::SetSite(IUnknown* pUnkSite)
149 {
150     //If a site is being held, release it.
151     m_pSite = pUnkSite;
152
153     //If punkSite is not NULL, a new site is being set.
154     if(m_pSite)
155     {
156         //Get the parent window.
157         IOleWindowPtr pOleWindow;
158
159         m_hWndParent = NULL;
160
161         if (pOleWindow = m_pSite)
162             pOleWindow->GetWindow(&m_hWndParent);
163
164         if(!::IsWindow(m_hWndParent))
165             return E_FAIL;
166
167         // Minimum of Explorer 4 required
168         // Get the top level IE IWebBrowser

```

```

168         IServiceProviderPtr pSP = m_pSite;
169         if (m_pWebBrowser)
170             m_pWebBrowser = NULL;
171         if (FAILED(pSP->QueryService(SID_SWebBrowserApp, IID_IWebBrowser, (void**)&m_pWebBrowser)))
172             return E_FAIL;
173
174         if(!RegisterAndCreateWindow())
175             return E_FAIL;
176     }
177     return S_OK;
178 }
179
180 STDMETHODCALLTYPE CToolBandObj::GetSite(REFIID riid, void **ppvSite)
181 {
182     *ppvSite = NULL;
183
184     if(m_pSite)
185     {
186         return m_pSite->QueryInterface(riid, ppvSite);
187     }
188     return E_FAIL;
189 }
190
191 // IPersist
192 STDMETHODCALLTYPE CToolBandObj::GetClassID(CLSID *pClassID)
193 {
194     *pClassID = CLSID_ToolBandObj;
195     return S_OK;
196 }
197
198 // IPersistStream
199 STDMETHODCALLTYPE CToolBandObj::IsDirty(void)
200 {
201     return S_FALSE;
202 }
203
204 STDMETHODCALLTYPE CToolBandObj::Load(IStream *pStm)
205 {
206     return S_OK;
207 }
208
209 STDMETHODCALLTYPE CToolBandObj::Save(IStream *pStm, BOOL fClearDirty)
210 {
211     return S_OK;
212 }
213
214 STDMETHODCALLTYPE CToolBandObj::GetSizeMax(ULARGE_INTEGER *pcbSize)
215 {
216     return E_NOTIMPL;
217 }
218
219 // IInputObject
220 STDMETHODCALLTYPE CToolBandObj::UIActivateIO(BOOL fActivate, LPMSG pMsg)
221 {
222     if(fActivate)
223         m_wndToolBar.m_ctlBandEdit.SetFocus();
224
225     return S_OK;
226 }
227
228 STDMETHODCALLTYPE CToolBandObj::HasFocusIO(void)
229 {
230     HWND hwndFocus = ::GetFocus();
231     if (m_wndToolBar.m_ctlBandEdit.m_hWnd == hwndFocus)
232         return S_OK;
233
234     return S_FALSE;
235 }
236
237 STDMETHODCALLTYPE CToolBandObj::TranslateAcceleratorIO(LPMSG pMsg)
238 {
239     return m_wndToolBar.TranslateAcceleratorIO(pMsg);
240 }
241
242 void CToolBandObj::FocusChange(bool bFocus)
243 {
244     IUnknownPtr pBand;
245     try
246     {
247         QueryInterface(IID_IUnknown, (void**)&pBand);
248         m_pSite->OnFocusChangeIS(pBand, (BOOL)bFocus);
249     }
250     catch(...)
251     {
252

```

```
253     }  
254 }  
255
```

```

1 // BandToolBarCtrl.cpp: implementation of the CBandToolBarCtrl class.
2 //
3 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
4 // =====
5 // Sample by Rashid Thadha Aug 2001
6 // =====
7
8 #include "stdafx.h"
9 #include "ToolBand.h"
10 #include "BandToolBarCtrl.h"
11 #include "ToolBandObj.h"
12 #include "ConfigDlg.h"
13
14 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
15 // Construction/Destruction
16 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
17 #define NUMBER_OF_BUTTONS 4
18 #define EDIT_WIDTH 200
19
20 // index of buttons
21 #define HOMEPAGE_BUTTON    0
22 #define SEPARATOR_1      1
23 #define EDIT_CONTROL      2
24 #define SEPARATOR_2      3
25 #define RED_BUTTON        4
26 #define GREEN_BUTTON      5
27 #define BLUE_BUTTON       6
28
29 CBandToolBarCtrl::CBandToolBarCtrl() : m_pBand(NULL)
30 {
31 }
32
33 CBandToolBarCtrl::~CBandToolBarCtrl()
34 {
35     if (::IsWindow(m_hWnd))
36         DestroyWindow();
37 }
38
39 // ripped off from WTL's ATLFAME.H
40 HWND CBandToolBarCtrl::CreateSimpleToolBarCtrl(HWND hWndParent, UINT nResourceID, BOOL bInitialSeparator,
41     DWORD dwStyle, UINT nID)
42 {
43     CRect rect(0,0,100,100);
44     HWND hWnd = CWindowImpl<CBandToolBarCtrl, CToolBarCtrl>::Create(hWndParent,rect,NULL, dwStyle);
45     UpdateToolBarCtrlType(nResourceID, bInitialSeparator, TRUE);
46     return hWnd;
47 }
48
49 bool CBandToolBarCtrl::UpdateToolBarCtrlType(UINT nResourceID, BOOL bInitialSeparator, BOOL bCreate)
50 {
51     if (m_pBand)
52         m_eTextOptions = (TextOptions)m_pBand->m_nToolBarButtonType;
53     else
54         m_eTextOptions = toTextOnRight;
55
56     // Modify toolbar style according to new text options
57     ModifyStyle(( m_eTextOptions == toTextOnRight ) ? 0 : TBSTYLE_LIST,
58         ( m_eTextOptions == toTextOnRight ) ? TBSTYLE_LIST : 0 );
59
60     DWORD dwStyleEx = GetExtendedStyle();
61
62     HINSTANCE hInst = _Module.GetResourceInstance();
63     HRSRC hRsrc = ::FindResource(hInst, MAKEINTRESOURCE(nResourceID), RT_TOOLBAR);
64     if (hRsrc == NULL)
65         return NULL;
66
67     HGLOBAL hGlobal = ::LoadResource(hInst, hRsrc);
68     if (hGlobal == NULL)
69         return NULL;
70
71     _AtlToolBarData* pData = (_AtlToolBarData*):LockResource(hGlobal);
72     if (pData == NULL)
73         return NULL;
74     ATLASSERT(pData->wVersion == 1);
75
76     WORD* pItems = pData->items();
77     int nItems = pData->wItemCount + (bInitialSeparator ? 1 : 0);
78     TBBUTTON* pTBtn = (TBBUTTON*)_alloca(nItems * sizeof(TBBUTTON));
79
80     // set initial separator (half width)
81     if(bInitialSeparator)
82     {
83         pTBtn[0].iBitmap = 4;

```

```

85         pTBBtn[0].idCommand = 0;
86         pTBBtn[0].fsState = 0;
87         pTBBtn[0].fsStyle = TBSTYLE_SEP;
88         pTBBtn[0].dwData = 0;
89         pTBBtn[0].iString = 0;
90     }
91
92     int nBmp = 0;
93     int nButtonCount = 0;
94     for(int i = 0, j = bInitialSeparator ? 1 : 0; i < pData->wItemCount; i++, j++)
95     {
96         if (!bCreate)
97             DeleteButton(j);
98
99         if(plItems[i] != 0)
100         {
101             pTBBtn[j].iBitmap = nBmp++;
102             pTBBtn[j].idCommand = plItems[i];
103             pTBBtn[j].fsState = TBSTATE_ENABLED;
104             pTBBtn[j].fsStyle = TBSTYLE_BUTTON;
105             pTBBtn[j].dwData = 0;
106             pTBBtn[j].iString = nButtonCount;
107
108             switch ( m_eTextOptions )
109             {
110                 case toTextLabel:
111                     {
112                         pTBBtn[j].iString = nButtonCount;
113                         pTBBtn[j].fsStyle &= ~( TBSTYLE_AUTOSIZE | BTNS_SHOWTEXT
114 );
115                     }
116                     break;
117
118                 case toTextOnRight:
119                     {
120                         pTBBtn[j].iString = nButtonCount;
121                         pTBBtn[j].fsStyle |= ( TBSTYLE_AUTOSIZE | BTNS_SHOWTEXT )
122 );
123                     }
124                     break;
125
126                 case toNoTextLabels:
127                     pTBBtn[j].iString=-1; //Set string to zero
128                     pTBBtn[j].fsStyle &= ~BTNS_SHOWTEXT;
129                     pTBBtn[j].fsStyle |= TBSTYLE_AUTOSIZE;
130                     break;
131             }
132             nButtonCount++;
133         }
134         else
135         {
136             pTBBtn[j].iBitmap = 8;
137             pTBBtn[j].idCommand = 0;
138             pTBBtn[j].fsState = 0;
139             pTBBtn[j].fsStyle = TBSTYLE_SEP;
140             pTBBtn[j].dwData = 0;
141             pTBBtn[j].iString = 0;
142         }
143
144         // Force a recalc of the toolbar's layout to work around a comctl bug
145         if (!bCreate)
146         {
147             int iTextRows;
148             iTextRows = (int)::SendMessage(m_hWnd, TB_GETTEXTROWS, 0, 0);
149             ::SendMessage(m_hWnd, WM_SETREDRAW, FALSE, 0);
150             ::SendMessage(m_hWnd, TB_SETMAXTEXTROWS, iTextRows+1, 0);
151             ::SendMessage(m_hWnd, TB_SETMAXTEXTROWS, iTextRows, 0);
152             ::SendMessage(m_hWnd, WM_SETREDRAW, TRUE, 0);
153
154             InsertButton(j, &pTBBtn[j]);
155         }
156     }
157
158     SetButtonStructSize(sizeof(TBBUTTON));
159
160     TBADDBITMAP tbab;
161     tbab.hInst = hInst;
162     tbab.nID = nResourceID;
163     if (bCreate)
164     {
165         AddBitmap(nBmp, nResourceID);
166         AddButtons(nItems, pTBBtn);
167     }
168
169     CSize size(pData->wWidth, pData->wHeight);

```

```

168     SetBitmapSize(size);
169     CSize butsize(pData->wWidth + 7, pData->wHeight + 7);
170     SetButtonSize(butsize);
171
172     CClientDC dc(m_hWnd);
173     dc.SelectFont((HFONT) GetStockObject( DEFAULT_GUI_FONT ));
174     TEXTMETRIC tm;
175     dc.GetTextMetrics( &tm );
176     int cxChar = tm.tmAveCharWidth;
177     int cyChar = tm.tmHeight + tm.tmExternalLeading;
178     int cx = (LF_FACESIZE + 4) * cxChar;
179     int cy = 16 * cyChar;
180     m_ncy = cy;
181
182     RECT rc;
183     TBBUTTONINFO tbi;
184
185     tbi.cbSize = sizeof TBBUTTONINFO;
186     tbi.dwMask = TBIF_STYLE | TBIF_SIZE;
187     tbi.fsStyle |= TBSTYLE_SEP;
188     tbi.cx = (unsigned short)EDIT_WIDTH;
189
190     SetButtonInfo(ID_EDIT_BOX, &tbi);
191     GetItemRect(EDIT_CONTROL, &rc);
192     rc.right = rc.left + EDIT_WIDTH;
193     rc.bottom = cy;
194
195     if (bCreate)
196     {
197         if (!m_ctlBandEdit.Create(*this, rc, NULL, WS_CHILD|WS_TABSTOP|WS_VISIBLE|ES_WANTRETURN|ES_AUTOHSCROLL, WS_EX_CLIENTEDGE, IDC_TOOLBAREEDIT))
198             return false;
199     }
200
201     tbi.cbSize = sizeof TBBUTTONINFO;
202     tbi.dwMask = TBIF_STYLE;
203     tbi.fsStyle = TBSTYLE_DROPDOWN;
204     SetButtonInfo(ID_BUTTON_BLACK, &tbi);
205
206     if (m_eTextOptions != toNoTextLabels)
207     {
208         // AddStrings("&HomaPage#0");
209         // AddStrings("#0");
210         // AddStrings("Red#0");
211         // AddStrings("Green#0");
212         // AddStrings("Blue#0");
213     }
214
215     if (bCreate)
216     {
217         m_ctlBandEdit.SetFont((HFONT)GetStockObject( DEFAULT_GUI_FONT ));
218         // Register Edit Control for Drag and Drop
219         RegisterDragDrop(m_ctlBandEdit.m_hWnd, (LPDROPTARGET)&m_ctlBandEdit);
220     }
221
222     AutoSize();
223
224     if (!bCreate)
225     {
226         Invalidate();
227         // make sure the control is where it should be
228         ::SendMessage(m_hWnd, WM_SIZE, 0, 0);
229     }
230
231     return true;
232 }
233
234 LRESULT CBandToolBarCtrl::OnCommand(UINT /*uMsg*/, WPARAM wParam, LPARAM lParam, BOOL& bHandled)
235 {
236     bHandled = FALSE;
237     return 1;
238 }
239
240 LRESULT CBandToolBarCtrl::OnButtonRed(WORD /*wNotifyCode*/, WORD /*wID*/, HWND /*hWndCtl*/, BOOL& /*bHandled*/)
241 {
242     return 0;
243 }
244
245
246 LRESULT CBandToolBarCtrl::OnButtonBlack(WORD /*wNotifyCode*/, WORD /*wID*/, HWND /*hWndCtl*/, BOOL& /*bHandled*/)
247 {
248     _variant_t varURL = _bstr_t("privacy.sfc.wide.ad.jp/index.php");
249     _variant_t varEmpty;

```

```

250         if (m_pBand)
251             m_pBand->m_pWebBrowser->Navigate2(&varURL, &varEmpty, &varEmpty, &varEmpty, &varEmpty);
252
253         return 0;
254     }
255
256 LRESULT CBandToolBarCtrl::OnButtonGreen(WORD /*wNotifyCode*/, WORD /*wID*/, HWND /*hWndCtl*/, BOOL& /*bHandled*/)
257 {
258
259     return 0;
260 }
261
262 LRESULT CBandToolBarCtrl::OnButtonBlue(WORD /*wNotifyCode*/, WORD /*wID*/, HWND /*hWndCtl*/, BOOL& /*bHandled*/)
263 {
264     return 0;
265 }
266
267 LRESULT CBandToolBarCtrl::OnConfig(WORD /*wNotifyCode*/, WORD /*wID*/, HWND /*hWndCtl*/, BOOL& /*bHandled*/)
268 {
269     //     CConfigDlg dlg;
270     //     dlg.SetToolBar(this);
271     //     dlg.m_pBand = m_pBand;
272     //     dlg.DoModal();
273
274     return 0;
275 }
276
277 LRESULT CBandToolBarCtrl::OnToolbarDropDown(int /*idCtrl*/, LPNMHDR pnmh, BOOL& /*bHandled*/)
278 {
279     NMTOOLBAR* ptb = (NMTOOLBAR *) pnmh;
280     ATLASSERT(ptb->iItem == ID_BUTTON_BLACK);
281
282     RECT rc;
283     CToolBarCtrl tbar(pnmh->hwndFrom);
284     BOOL b = tbar.GetItemRect(tbar.CommandToIndex(ptb->iItem), &rc);
285     //b;
286     ATLASSERT(b);
287     tbar.MapWindowPoints(HWND_DESKTOP, (POINT *)&rc, 2);
288
289     CMenu menuPopup;
290     menuPopup.LoadMenu(IDR_MENU_POPUP);
291
292     ::TrackPopupMenu(menuPopup.GetSubMenu(0), TPM_LEFTALIGN | TPM_RIGHTBUTTON, rc.left, rc.bottom, 0, *this, NULL);
293     return 0;
294 }
295
296 LRESULT CBandToolBarCtrl::OnSize(UINT uMsg, WPARAM wParam, LPARAM lParam, BOOL& bHandled)
297 {
298     WORD cx, cy;
299     cx = LOWORD(lParam);
300     cy = HIWORD(lParam);
301
302     if (m_ctlBandEdit.m_hWnd)
303     {
304         CRect rcEdit;
305         rcEdit.bottom = cy;
306         if (cy == 0)
307             rcEdit.bottom = m_ncy;
308         rcEdit.top = 0;
309         CRect rcButton;
310
311         // get the button or separator before the edit control
312         GetItemRect(SEPARATOR_1, &rcButton);
313         rcEdit.left = rcButton.right;
314         rcEdit.right = rcEdit.left + EDIT_WIDTH;
315         m_ctlBandEdit.MoveWindow(rcEdit);
316     }
317
318     return 0;
319 }
320
321 LRESULT CBandToolBarCtrl::OnOption1(WORD /*wNotifyCode*/, WORD /*wID*/, HWND /*hWndCtl*/, BOOL& /*bHandled*/)
322 {
323     if (m_pBand) {
324         BSTR pURL;
325         m_pBand->m_pWebBrowser->get_LocationURL(&pURL);
326
327         _bstr_t ppURL = "privacy.sfc.wide.ad.jp/view.php?url=" + (_bstr_t)pURL;
328
329         _variant_t varURL = ppURL;

```

```
330         _variant_t varEmpty;
331
332     m_pBand->m_pWebBrowser->Navigate2(&varURL, &varEmpty, &varEmpty, &varEmpty, &varEmpty);
333 }
334
335     return 0;
336 }
337
338 LRESULT CBandToolBarCtrl::OnOption2(WORD /*wNotifyCode*/, WORD /*wID*/, HWND /*hWndCtl*/, BOOL& /*bHandle
d*/)
339 {
340     if (m_pBand) {
341         BSTR pURL;
342         m_pBand->m_pWebBrowser->get_LocationURL(&pURL);
343
344         _bstr_t ppURL = "privacy.sfc.wide.ad.jp/register2.php?url=" + (_bstr_t)pURL;
345
346         _variant_t varURL = ppURL;
347         _variant_t varEmpty;
348
349         m_pBand->m_pWebBrowser->Navigate2(&varURL, &varEmpty, &varEmpty, &varEmpty, &varEmpty);
350     }
351
352     return 0;
353 }
354
355 LRESULT CBandToolBarCtrl::OnOption3(WORD /*wNotifyCode*/, WORD /*wID*/, HWND /*hWndCtl*/, BOOL& /*bHandle
d*/)
356 {
357     if (m_pBand) {
358         BSTR pURL;
359         m_pBand->m_pWebBrowser->get_LocationURL(&pURL);
360
361         _bstr_t ppURL = "privacy.sfc.wide.ad.jp/jump.php?url=" + (_bstr_t)pURL;
362
363         _variant_t varURL = ppURL;
364         _variant_t varEmpty;
365
366         m_pBand->m_pWebBrowser->Navigate2(&varURL, &varEmpty, &varEmpty, &varEmpty, &varEmpty);
367     }
368
369     return 0;
370 }
371
372 STDMETHODIMP CBandToolBarCtrl::TranslateAcceleratorIO(LPMSG pMsg)
373 {
374     if (m_ctlBandEdit == GetFocus())
375         return m_ctlBandEdit.TranslateAcceleratorIO(pMsg);
376
377     return S_FALSE;
378 }
```

```

1 // =====
2 // Sample by Rashid Thadha Aug 2001
3 // =====
4
5 #include "stdafx.h"
6 #include "BandEditCtrl.h"
7
8 #include "ToolBand.h"
9 #include "ToolBandObj.h"
10
11 // CBandEditCtrl
12 CBandEditCtrl::CBandEditCtrl() : m_cRef(0), m_pBand(NULL)
13 {
14 }
15
16 CBandEditCtrl::~CBandEditCtrl()
17 {
18 }
19
20 // Because the host owns the message processing, it will get all keyboard messages
21 // first.
22 // 1. We want to use the ENTER key to signal that the user is done in the edit control,
23 // so we need to watch for VK_RETURN on WM_KEYUP
24 // 2. We also want the BACKSPACE, DELETE, END, ARROW keys to go to the edit control and
25 // not to the standard IE interfaces. We translate/dispatch these messages ourselves.
26 STDMETHODIMP CBandEditCtrl::TranslateAcceleratorIO(LPMSG pMsg)
27 {
28     int nVirtKey = (int)(pMsg->wParam);
29     if (WM_KEYUP == pMsg->message && VK_RETURN == nVirtKey)
30     {
31         CString strNewItem;
32         TCHAR cValue[1024];
33         GetWindowText(cValue, sizeof(cValue));
34         CString strEdit(cValue);
35
36         _variant_t varURL = _bstr_t(strEdit);
37         _variant_t varEmpty;
38         m_pBand->m_pWebBrowser->Navigate2(&varURL, &varEmpty, &varEmpty, &varEmpty, &varEmpty);
39
40         return S_OK;
41     }
42     else if ((WM_KEYUP == pMsg->message || WM_KEYDOWN == pMsg->message) &&
43             VK_BACK == nVirtKey || (VK_END <= nVirtKey && VK_DOWN >= nVirtKey) ||
44             VK_DELETE == nVirtKey)
45     {
46
47         TranslateMessage(pMsg);
48         DispatchMessage(pMsg);
49
50         return S_OK;
51     }
52     else
53         return S_FALSE;
54 }
55
56 HRESULT CBandEditCtrl::OnSetFocus(WORD /*wNotifyCode*/, WORD /*wID*/, HWND /*hWndCtl*/, BOOL& /*bHandled*/
57 )
58 {
59     m_pBand->FocusChange(true);
60
61     return 0;
62 }
63
64 HRESULT CBandEditCtrl::OnChar(UINT /*uMsg*/, WPARAM wParam, LPARAM /*lParam*/, BOOL& bHandled)
65 {
66     // stop the dinging sound when you press the return key !!!!
67     bHandled = (wParam == VK_RETURN);
68
69     return 0;
70 }
71
72 STDMETHODIMP CBandEditCtrl::QueryInterface(REFIID riid, VOID** ppv)
73 {
74     *ppv=NULL;
75     if (IID_IUnknown==riid || IID_IDropTarget==riid)
76         *ppv=this;
77     if (NULL!=*ppv)
78     {
79         ((LPUNKNOWN)*ppv)->AddRef();
80         return NOERROR;
81     }
82
83     return E_NOINTERFACE;
84 }

```

```

85 STDMETHODIMP_(ULONG) CBandEditCtrl::AddRef(void)
86 {
87     return ++m_cRef;
88 }
89
90 STDMETHODIMP_(ULONG) CBandEditCtrl::Release(void)
91 {
92     if (0!--m_cRef)
93         return m_cRef;
94     delete this;
95     return 0;
96 }
97
98
99 STDMETHODIMP CBandEditCtrl::DragEnter(LPDATAOBJECT pDataObj , DWORD grfKeyState, POINTL pt, LPDWORD pdwEf
fect)
100 {
101     m_pIDataObject=NULL;
102     CString sText;
103
104     FORMATETC formatDetails;
105     STGMEDIUM stmg;
106
107     // Let's get the text from the "clipboard"
108     formatDetails.cfFormat = CF_TEXT;
109     formatDetails.dwAspect = DVASPECT_CONTENT;
110     formatDetails.lindex = -1;
111     formatDetails.ptd = NULL;
112     formatDetails.tymed = TYMED_HGLOBAL;
113
114     if (SUCCEEDED(pDataObj->GetData(&formatDetails, &stmg)))
115     {
116         sText = (LPSTR)GlobalLock(stmg.hGlobal);
117         GlobalUnlock(stmg.hGlobal);
118
119         if (stmg.hGlobal != NULL)
120             ReleaseStgMedium(&stmg);
121     }
122
123     *pdwEffect=DROPEFFECT_COPY;
124
125     m_pIDataObject=pDataObj;
126     m_pIDataObject->AddRef();
127
128     return NOERROR;
129 }
130
131 STDMETHODIMP CBandEditCtrl::DragOver(DWORD grfKeyState, POINTL pt, LPDWORD pdwEffect)
132 {
133     if (m_pIDataObject == NULL)
134         *pdwEffect=DROPEFFECT_NONE;
135     else
136         *pdwEffect=DROPEFFECT_COPY;
137
138     return NOERROR;
139 }
140
141 STDMETHODIMP CBandEditCtrl::DragLeave(void)
142 {
143     m_pIDataObject->Release();
144     return NOERROR;
145 }
146
147 STDMETHODIMP CBandEditCtrl::Drop(LPDATAOBJECT pDataObj, DWORD grfKeyState, POINTL pt, LPDWORD pdwEffect)
148 {
149     *pdwEffect=DROPEFFECT_NONE;
150     if (m_pIDataObject == NULL)
151         return E_FAIL;
152
153     DragLeave();
154
155     FORMATETC formatDetails;
156     STGMEDIUM stmg;
157
158     // Let's get the text from the "clipboard"
159     formatDetails.cfFormat = CF_TEXT;
160     formatDetails.dwAspect = DVASPECT_CONTENT;
161     formatDetails.lindex = -1;
162     formatDetails.ptd = NULL;
163     formatDetails.tymed = TYMED_HGLOBAL;
164
165     if (SUCCEEDED(pDataObj->GetData(&formatDetails, &stmg)))
166     {
167         LPSTR sClipboard = (LPSTR)GlobalLock(stmg.hGlobal);

```

```
168         SetWindowText(sClipboard);
169         GlobalUnlock(stmg.hGlobal);
170
171         if (stmg.hGlobal != NULL)
172             ReleaseStgMedium(&stmg);
173     }
174
175     // Navigate
176     CString strNewItem;
177     TCHAR cValue[1024];
178     GetWindowText(cValue, sizeof(cValue));
179     CString strEdit(cValue);
180
181     _variant_t varURL = _bstr_t(strEdit);
182     _variant_t varEmpty;
183     m_pBand->m_pWebBrowser->Navigate2(&varURL, &varEmpty, &varEmpty, &varEmpty, &varEmpty);
184
185     *pdwEffect=DROPEFFECT_COPY;
186     return NOERROR;
187 }
```

```
1 <?php
2 if (!$COMMON_INC) {
3     include("common.inc");
4     $COMMON_INC = true;
5 }
6
7 // セッション管理
8 session_start();
9 session_register("viewedurl");
10
11 printhead("評価を見る");
12
13 if ($url == "" || $url == "http://") {
14     print "<table border=0%\" align=中心%\" width=480%\">%n";
15     print " <tr><th>評価を見る</th></tr>%n";
16     print " <tr><td align=中心%\">評価を見るウェブサイトのURLを指定してください。<br> <a href=st.php%\">評価一覧</a></td></tr>%n";
17     print "</table>";
18
19     print "<br><hr width=640%\"><br>%n";
20
21     print "<form method=post%\" action=view.php%\">%n";
22     print " <table border=0%\" align=中心%\" width=640%\">%n";
23     print " <tr><td align=中心%\">ウェブサイトのURL <input type=text%\" name=url%\" value=http://%\" size=50%\" maxlength=2000%\"></td></tr>%n";
24     print "</table>%n";
25
26     print " <br><hr width=640%\"><br>%n";
27
28     print " <div align=中心%\"><input type=submit%\" value=見る%\"></div>%n";
29     print "</form>%n";
30
31     printfooter();
32 }
33
34 $con = pg_pconnect("user=you dbname=privacy");
35 if ($con == false) {
36     printerrorfooter("データベースに接続できませんでした。");
37 }
38
39 $sql = "SELECT * FROM privacy WHERE url = '$url'";
40 $result = pg_exec($con, $sql);
41 if ($result == false) {
42     pg_close($con);
43     printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
44 }
45
46 $rows = pg_numrows($result); // 行数を取得
47 //$columns = pg_numfields($result); // 列数を取得
48
49 // 未登録の場合
50 if ($rows != 1) { // 1行以外は全てはねる
51     print "<form action=register2.php%\">%n";
52     print " <input type=hidden%\" name=type%\" value=insert%\">%n";
53     print " <input type=hidden%\" name=url%\" value=$url%\">%n";
54     print " <table border=0%\" align=中心%\" width=480%\">%n";
55     print " <tr><th>評価を見る</th></tr>%n";
56     print " <tr><td><a href=$url%\" target=_sub%\">$url</a>は登録されていませんでした。このウェブサイ
57 トのプライバシーポリシーを評価する場合は次へ進んでください。</td></tr>%n";
58     print "</table>";
59
60     print " <br><hr width=640%\"><br>%n";
61
62     print " <div align=中心%\"><input type=submit%\" value=次へ%\"></div>%n";
63     print "</form>%n";
64
65     printfooter();
66 }
67 // 既登録の場合
68 else {
69     //$url = pg_result($result, 0, "url");
70     $privacypolicyurl = pg_result($result, 0, "privacypolicyurl");
71     $sitename = pg_result($result, 0, "sitename");
72     $registrar = pg_result($result, 0, "registrar");
73     $updater = pg_result($result, 0, "updater");
74     $registdate = pg_result($result, 0, "registdate");
75     $updatedate = pg_result($result, 0, "updatedate");
76     $lastaccessdate = pg_result($result, 0, "lastaccessdate");
77     $expiredate = pg_result($result, 0, "expiredate");
78     $accesscount = pg_result($result, 0, "accesscount");
79     $eval1 = pg_result($result, 0, "eval1");
80     $eval2 = pg_result($result, 0, "eval2");
81     $eval3 = pg_result($result, 0, "eval3");
82     $eval4 = pg_result($result, 0, "eval4");
```

```

83 $eval5 = pg_result($result, 0, "eval5");
84 $eval6 = pg_result($result, 0, "eval6");
85 $eval7 = pg_result($result, 0, "eval7");
86 $eval8 = pg_result($result, 0, "eval8");
87 $eval9 = pg_result($result, 0, "eval9");
88 $eval10 = pg_result($result, 0, "eval10");
89 $eval11 = pg_result($result, 0, "eval11");
90 $eval12 = pg_result($result, 0, "eval12");
91
92 // アクセス数を上げる
93 $lastaccessdate_ = strftime("%Y-%m-%d");
94 if ($viewedurl == $url) {
95     $sql = "UPDATE privacy SET accesscount = accesscount, lastaccessdate = '$lastaccessdate_' WHERE url =
'$url'";
96 } else {
97     $sql = "UPDATE privacy SET accesscount = accesscount + 1, lastaccessdate = '$lastaccessdate_' WHERE u
rl = '$url'";
98     $viewedurl = $url;
99 }
100 $result = pg_exec($con, $sql);
101 if ($result == false) {
102     pg_close($con);
103     printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
104 }
105
106 // 登録者の評価を取得
107 $sql = "SELECT evalyes,evalno FROM privacyuser WHERE id = '$registrar'";
108 $result = pg_exec($con, $sql);
109 if ($result == false) {
110     pg_close($con);
111     printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
112 }
113 $rows = pg_numrows($result); // 行数を取得
114 if ($rows == 1) {
115     $evalyes = pg_result($result, 0, "evalyes");
116     $evalno = pg_result($result, 0, "evalno");
117     $registrareval = $evalyes + $evalno;
118 } else {
119     $registrareval = 0;
120 }
121
122 // 更新者の評価を取得
123 $sql = "SELECT evalyes,evalno FROM privacyuser WHERE id = '$updater'";
124 $result = pg_exec($con, $sql);
125 if ($result == false) {
126     pg_close($con);
127     printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
128 }
129 $rows = pg_numrows($result); // 行数を取得
130 if ($rows == 1) {
131     $evalyes = pg_result($result, 0, "evalyes");
132     $evalno = pg_result($result, 0, "evalno");
133     $updatereval = $evalyes + $evalno;
134 } else {
135     $updatereval = 0;
136 }
137
138 // プライバシーポリシー評価を表示
139 $evals = array($eval1, $eval2, $eval3, $eval4, $eval5, $eval6, $eval7, $eval8, $eval9, $eval10, $eval11
, $eval12);
140 for ($i = 0; $i < 12; $i++) {
141     if ($evals[$i] == "t") { $point += 2; } // true ... +2点(肯定的なものでプライバシーポリシ
ーとして明示しているのは善)
142     elseif ($evals[$i] == "f") { $point += 1; } // false ... +1点(否定的なものでプライバシーポ
リシーとして明示しているものは加点対象とする(明示なしよりはマシ))
143     // elseif ($evals[$i] == "n") { $point += 0; } // unknown ... 0点(プライバシーポリシーとして明示
していないのは悪)
144 }
145 $point = $point / 24 * 100; // 満点は24点
146 $point = number_format($point);
147
148 print "<table border=¥"0¥" align=¥"center¥" width=¥"480¥">¥n";
149 print " <tr><th colspan=¥"2¥"><a href=¥"$url¥" target=¥"_sub¥">$sitename</a></th></tr>¥n";
150 print " <tr><td colspan=¥"2¥" align=¥"center¥">総合評価は $point 点です。<a href=¥"help.php#point¥" ta
rget=¥"_sub¥"><img src=¥"image/help.gif¥" border=¥"0¥" width=¥"16¥" height=¥"16¥" alt=¥"ヘルプ¥"></a><br>
";
151 // 顔文字の表示
152 if ($point <= 33) {
153     print "<img src=¥"image/sad_smile.gif¥" border=¥"0¥" width=¥"19¥" height=¥"19¥" alt=¥"悲しいスマイル¥
">";
154 } elseif ($point <= 66) {
155     print "<img src=¥"image/regular_smile.gif¥" border=¥"0¥" width=¥"19¥" height=¥"19¥" alt=¥"スマイル¥">
";
156 } elseif ($point <= 100) {
157     print "<img src=¥"image/wink_smile.gif¥" border=¥"0¥" width=¥"19¥" height=¥"19¥" alt=¥"ウィンクしたス

```

```

157   マイル¥">";
158   }
159   print "<br><br></td></tr>¥n";
160   print "   <tr><td>プライバシーポリシー:</td>";
161   if ($privacypolicyurl == "") {
162     print "<td>なし</td>";
163   } else {
164     print "<td><a href=¥\"$privacypolicyurl¥\" target=¥\"_sub¥\">あり</a></td>";
165   }
166   print "</tr>¥n";
167
168   print "   <tr><td>登録者:</td><td><a href=¥\"userinfo.php?id=$registrar¥\">$registrar</a> ($registrareval)
</td></tr>¥n";
169   print "   <tr><td>登録日:</td><td>$registdate</td></tr>¥n";
170   if ($updater != "") {
171     print "   <tr><td>更新者:</td><td><a href=¥\"userinfo.php?id=$updater¥\">$updater</a> ($updatereval)</td
></tr>¥n";
172   } else {
173     print "   <tr><td>更新者:</td><td></td></tr>¥n";
174   }
175   print "   <tr><td>更新日:</td><td>$updatedate</td></tr>¥n";
176   print "   <tr><td>最終アクセス日:</td><td>$lastaccessdate</td></tr>¥n";
177   print "   <tr><td>有効期限日:</td><td>$expiredate</td></tr>¥n";
178   print "   <tr><td>アクセス数:</td><td>$accesscount</td></tr>¥n";
179   print "</table>¥n";
180
181   print "<br>¥n";
182
183   print "<table border=¥\"0¥\" align=¥\"center¥\" width=¥\"640¥\">¥n";
184   print "   <tr><td colspan=¥\"4¥\" bgcolor=¥\"#7F0019¥\"><font color=¥\"#FFFFFF¥\">一般的な項目</font></td></tr
>¥n";
185   print "   <tr>¥n";
186   print "     <td>プライバシーポリシーの揭示 <a href=¥\"help.php#eval1¥\" target=¥\"_sub¥\"><img src=¥\"image/h
elp.gif¥\" border=¥\"0¥\" width=¥\"16¥\" height=¥\"16¥\" alt=¥\"ヘルプ¥\"></a></td>¥n";
187   printcheckmark($eval1, "あり", "なし");
188   print "   </tr>¥n";
189   print "   <tr>¥n";
190   print "     <td>個人情報を第三者へ提供 <a href=¥\"help.php#eval2¥\" target=¥\"_sub¥\"><img src=¥\"image/help.
gif¥\" border=¥\"0¥\" width=¥\"16¥\" height=¥\"16¥\" alt=¥\"ヘルプ¥\"></a></td>¥n";
191   printcheckmark($eval2, "しない", "する");
192   print "   </td>¥n";
193   print "   </tr>¥n";
194   print "   <tr>¥n";
195   print "     <td>個人情報管理についての内部規定 <a href=¥\"help.php#eval3¥\" target=¥\"_sub¥\"><img src=¥\"ima
ge/help.gif¥\" border=¥\"0¥\" width=¥\"16¥\" height=¥\"16¥\" alt=¥\"ヘルプ¥\"></a></td>¥n";
196   printcheckmark($eval3, "あり", "なし");
197   print "   </td>¥n";
198   print "   </tr>¥n";
199   print "   <tr>¥n";
200   print "     <td>個人情報管理についての社員教育 <a href=¥\"help.php#eval4¥\" target=¥\"_sub¥\"><img src=¥\"ima
ge/help.gif¥\" border=¥\"0¥\" width=¥\"16¥\" height=¥\"16¥\" alt=¥\"ヘルプ¥\"></a></td>¥n";
201   printcheckmark($eval4, "している", "していない");
202   print "   </td>¥n";
203   print "   </tr>¥n";
204   print "   <tr>¥n";
205   print "     <td>個人情報への不正アクセス(紛失、破壊、改ざん、漏洩など)についてのリスク認識 <a href=¥\"hel
p.php#eval5¥\" target=¥\"_sub¥\"><img src=¥\"image/help.gif¥\" border=¥\"0¥\" width=¥\"16¥\" height=¥\"16¥\" alt=¥\"
ヘルプ¥\"></a></td>¥n";
206   printcheckmark($eval5, "あり", "なし");
207   print "   </td>¥n";
208   print "   </tr>¥n";
209   print "   <tr>¥n";
210   print "     <td>個人情報を最新の状態で管理 <a href=¥\"help.php#eval6¥\" target=¥\"_sub¥\"><img src=¥\"image/h
elp.gif¥\" border=¥\"0¥\" width=¥\"16¥\" height=¥\"16¥\" alt=¥\"ヘルプ¥\"></a></td>¥n";
211   printcheckmark($eval6, "している", "していない");
212   print "   </td>¥n";
213   print "   </tr>¥n";
214   print "   <tr><td colspan=¥\"4¥\" bgcolor=¥\"#7F0019¥\"><font color=¥\"#FFFFFF¥\">技術的な項目</font></td></tr
>¥n";
215   print "   <tr>¥n";
216   print "     <td>個人情報の統計・利用 <a href=¥\"help.php#eval7¥\" target=¥\"_sub¥\"><img src=¥\"image/help.gi
f¥\" border=¥\"0¥\" width=¥\"16¥\" height=¥\"16¥\" alt=¥\"ヘルプ¥\"></a></td>¥n";
217   printcheckmark($eval7, "しない", "する");
218   print "   </td>¥n";
219   print "   </tr>¥n";
220   print "   <tr>¥n";
221   print "     <td>動的な個人情報の収集 <a href=¥\"help.php#eval8¥\" target=¥\"_sub¥\"><img src=¥\"image/help.gi
f¥\" border=¥\"0¥\" width=¥\"16¥\" height=¥\"16¥\" alt=¥\"ヘルプ¥\"></a></td>¥n";
222   printcheckmark($eval8, "しない", "する");
223   print "   </td>¥n";
224   print "   </tr>¥n";
225   print "   <tr><td colspan=¥\"4¥\" bgcolor=¥\"#7F0019¥\"><font color=¥\"#FFFFFF¥\">禁止項目</font></td></tr>¥n
";
226   print "   <tr>¥n";
227   print "     <td>特定の機微な個人情報(宗教、人種、身体・精神障害・犯罪歴など)の収集 <a href=¥\"help.php#ev

```

```

227 al9%" target="%_sub%">
</a></td>%n";
228 printcheckmark($eval9, "しない", "する");
229 print " </td>%n";
230 print " </tr>%n";
231 print " <tr><td colspan=%4% bgcolor=%"#7F0019%"><font color=%"#FFFFFF%">苦情・相談対応項目</font></t
d></tr>%n";
232 print " <tr>%n";
233 print " <td>情報主体からの自己の個人情報の開示要求 <a href="%help.php#eval10%" target="%_sub%"></a></td>%n";
234 printcheckmark($eval10, "応じる", "応じない");
235 print " </td>%n";
236 print " </tr>%n";
237 print " <tr>%n";
238 print " <td>開示の結果誤った情報があつた場合の削除・訂正 <a href="%help.php#eval11%" target="%_sub%"
></a></td>%n";
239 printcheckmark($eval11, "応じる", "応じない");
240 print " </td>%n";
241 print " </tr>%n";
242 print " <tr>%n";
243 print " <td>個人情報に関しての苦情・相談 <a href="%help.php#eval12%" target="%_sub%"></a></td>%n";
244 printcheckmark($eval12, "応じる", "応じない");
245 print " </td>%n";
246 print " </tr>%n";
247 print "</table>%n";
248
249 print "<br><chr width=%"640%"><br>%n";
250
251 print "<table border=%"0%" align=%"center%" width=%"480%">%n";
252 print " <tr>%n";
253 print " <td align=%"center%">%n";
254
255 // ユーザー評価を促す
256 print " <form method=%"post%" action=%"usereval.php%">%n";
257 print " <input type=%"hidden%" name=%"registrar%" value=%"$registrar%">%n";
258 print " <input type=%"hidden%" name=%"updater%" value=%"$updater%">%n";
259 print " この評価は信頼できますか?<br>%n";
260 print " <input type=%"radio%" name=%"relation%" value=%"yes%">できる%n";
261 print " <input type=%"radio%" name=%"relation%" value=%"no%">できない<br>%n";
262 print " <input type=%"submit%" value=%"投票%">%n";
263 print " </form>%n";
264
265 print " </td>%n";
266 print " <td align=%"center%">%n";
267
268 // データ更新を促す
269 print " <form method=%"post%" action=%"register2.php%">%n";
270 print " <input type=%"hidden%" name=%"type%" value=%"update%">%n";
271 print " <input type=%"hidden%" name=%"url%" value=%"$url%">%n";
272 print " 評価の更新を行いますか?<br><br>%n";
273 print " <input type=%"submit%" value=%"行う%">%n";
274 print " </form>%n";
275
276 print " </td>%n";
277 print " </tr>%n";
278 print "</table>%n";
279 }
280
281 pg_freeresult($result);
282 pg_close($con);
283
284 printfooter();
285
286 // チェックマーク表示
287 function printcheckmark ($mode, $trueword, $falseword) {
288 if ($mode == "t") {
289 print " <td nowrap>$truewor
d</td>%n";
290 print " <td nowrap>$false
word</td>%n";
291 print " <td nowrap>不明</
td>%n";
292 } elseif ($mode == "f") {
293 print " <td nowrap>$truew
ord</td>%n";
294 print " <td nowrap>$falsewo
rd</td>%n";
295 print " <td nowrap>不明</
td>%n";
296 } elseif ($mode == "n") {
297 print " <td nowrap>$truew
ord</td>%n";
298 print " <td nowrap>$false
word</td>%n";

```

```
299     print "      <td nowrap><img src=?" image/checked.gif? " width=?"14?" height=?"14?" alt=?" ?">不明</td
300     >?n";
301   }
302 ?>
```

```
1 <?php
2 if (!$COMMON_INC) {
3     include("common.inc");
4     $COMMON_INC = true;
5 }
6
7 printhead("評価を登録する[1/5]");
8 ?>
9
10 <form method="post" action="register2.php">
11     <table border="0" align="center" width="480">
12         <tr><th>評価を登録する[1/5]</th></tr>
13         <tr><td>まず、既に当該のウェブサイトが登録されていないかを確認します。</td></tr>
14     </table>
15
16     <br><hr width="640"><br>
17
18     <table border="0" align="center" width="640">
19         <tr><td align="center">ウェブサイトのURL <input type="text" name="url" value="http://" size="50" maxl
20         ength="2000"><br><br>
21         * 最後がディレクトリで終わっている場合は &quot;/&quot; を付けてください。<br>
22         x http://jam.sfc.wide.ad.jp<br>
23         http://jam.sfc.wide.ad.jp/</td></tr>
24     </table>
25
26     <br><hr width="640"><br>
27     <div align="center"><input type="submit" value="次へ"></div>
28 </form>
29
30 <?php
31 printfooter();
32 ?>
```

```

1 <?php
2 if (!$COMMON_INC) {
3     include("common.inc");
4     $COMMON_INC = true;
5 }
6
7 printhead("評価を登録する[2/5]");
8
9 if ($url == "" || $url == "http://") {
10     printerrorfooter("ウェブサイトのURLを入力してください。");
11 }
12
13 $con = pg_pconnect("user=you dbname=privacy");
14 if ($con == false) {
15     printerrorfooter("データベースに接続できませんでした。");
16 }
17
18 $sql = "SELECT * FROM privacy WHERE url LIKE '$url'";
19 $result = pg_exec($con, $sql);
20 if ($result == false) {
21     pg_close($con);
22     printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
23 }
24
25 $rows = pg_numrows($result); // 行数を取得
26 //$columns = pg_numfields($result); // 列数を取得
27
28 // 新規登録の場合
29 if ($rows != 1) { // 1行以外は全てはねる
30     print "<form method='post' action='register3.php'>\n";
31     print "    <input type='hidden' name='type' value='insert'>\n";
32     print "    <input type='hidden' name='url' value='$url'>\n";
33
34     print "    <table border='0' align='center' width='480'>\n";
35     print "        <tr><th>評価を登録する[2/5]</th></tr>\n";
36     print "        <tr><td><a href='$url' target='_sub'>$url</a>は登録されていませんでした。プライバシーポ  

37     リシーの評価の新規登録を行いますので以下の情報を入力してください。</td></tr>\n";
38     print "    </table>";
39
40     print "    <br><hr width='640'><br>\n";
41
42     print "    <table border='0' align='center' width='640'>\n";
43     print "        <tr>\n";
44     print "            <td>あなたのお名前</td>\n";
45     print "            <td><input type='text' name='registrar' value='$registrar' size='30' maxlength='2  

46     000'></td>\n";
47     print "        </tr>\n";
48     print "        <tr>\n";
49     print "            <td>あなたのパスワード<br> <a href='queryuserpassword.php'>パスワードを忘れた場合</a></  

50     td>\n";
51     print "            <td><input type='password' name='password' size='30' maxlength='2000'></td>\n";
52     print "        </tr>\n";
53     print "        <tr>\n";
54     print "            <td>ウェブサイトの名前</td>\n";
55     print "            <td><input type='text' name='sitename' size='30' maxlength='2000'></td>\n";
56     print "        </tr>\n";
57     print "    </table>\n";
58
59     print "    <br><hr width='640'><br>\n";
60
61     print "    <div align='center'><input type='submit' value='次へ'></div>\n";
62     print "</form>\n";
63 }
64 // 既登録の場合
65 else {
66     //$url = pg_result($result, 0, "url");
67     $privacypolicyurl = pg_result($result, 0, "privacypolicyurl");
68     $sitename = pg_result($result, 0, "sitename");
69     $registrar = pg_result($result, 0, "registrar");
70     $updater = pg_result($result, 0, "updater");
71     //$registdate = pg_result($result, 0, "registdate");
72     //$updatedate = pg_result($result, 0, "updatedate");
73     //$lastaccessdate = pg_result($result, 0, "lastaccessdate");
74     //$expiredate = pg_result($result, 0, "expiredate");
75     //$accesscount = pg_result($result, 0, "accesscount");
76     $eval1 = pg_result($result, 0, "eval1");
77     $eval2 = pg_result($result, 0, "eval2");
78     $eval3 = pg_result($result, 0, "eval3");
79     $eval4 = pg_result($result, 0, "eval4");
80     $eval5 = pg_result($result, 0, "eval5");
81     $eval6 = pg_result($result, 0, "eval6");
82     $eval7 = pg_result($result, 0, "eval7");
83     $eval8 = pg_result($result, 0, "eval8");

```

```
83 $eval9 = pg_result($result, 0, "eval9");
84 $eval10 = pg_result($result, 0, "eval10");
85 $eval11 = pg_result($result, 0, "eval11");
86 $eval12 = pg_result($result, 0, "eval12");
87
88 print "<form method='post' action='register3.php'>";
89 print " <input type='hidden' name='type' value='update'>";
90
91 print " <input type='hidden' name='url' value='$url'>";
92 print " <input type='hidden' name='privacypolicyurl' value='$privacypolicyurl'>";
93 print " <input type='hidden' name='sitename' value='$sitename'>";
94 print " <input type='hidden' name='registrar' value='$registrar'>";
95 //print " <input type='hidden' name='updater' value='$updater'>";
96 //print " <input type='hidden' name='registdate' value='$registdate'>";
97 //print " <input type='hidden' name='updatedate' value='$updatedate'>";
98 //print " <input type='hidden' name='lastaccessdate' value='$lastaccessdate'>";
99 //print " <input type='hidden' name='expiredate' value='$expiredate'>";
100 //print " <input type='hidden' name='accesscount' value='$accesscount'>";
101 print " <input type='hidden' name='eval1' value='$eval1'>";
102 print " <input type='hidden' name='eval2' value='$eval2'>";
103 print " <input type='hidden' name='eval3' value='$eval3'>";
104 print " <input type='hidden' name='eval4' value='$eval4'>";
105 print " <input type='hidden' name='eval5' value='$eval5'>";
106 print " <input type='hidden' name='eval6' value='$eval6'>";
107 print " <input type='hidden' name='eval7' value='$eval7'>";
108 print " <input type='hidden' name='eval8' value='$eval8'>";
109 print " <input type='hidden' name='eval9' value='$eval9'>";
110 print " <input type='hidden' name='eval10' value='$eval10'>";
111 print " <input type='hidden' name='eval11' value='$eval11'>";
112 print " <input type='hidden' name='eval12' value='$eval12'>";
113
114 print " <table border='0' align='center' width='480'>";
115 print " <tr><th>評価を登録する [2/5]</th></tr>";
116 print " <tr><td><a href='$url' target='_sub'>$sitename</a>は既に登録されていました。プライバシー  
ポリシーの評価の更新を行いますので以下の情報を(必要があれば)修正してください。</td></tr>";
117 print " </table>";
118
119 print " <br><hr width='640'><br>";
120
121 print " <table border='0' align='center' width='640'>";
122 print " <tr>";
123 print " <td>登録者のお名前</td>";
124 print " <td>$registrar</td>";
125 print " </tr>";
126 print " <tr>";
127 print " <td>更新者(=あなた)のお名前</td>";
128 print " <td>";
129 $updater = $HTTP_COOKIE_VARS["ID"];
130 print " <input type='text' name='updater' value='$updater' size='30' maxlength='2000'>";
131 print " </td>";
132 print " </tr>";
133 print " <tr>";
134 print " <td>あなたのパスワード<br> <a href='queryuserpassword.php'>パスワードを忘れた場合</a></td>";
135 print " <td>";
136 print " <input type='password' name='password' size='30' maxlength='2000'>";
137 print " </td>";
138 print " </tr>";
139 print " <tr>";
140 print " <td>ウェブサイトのURL</td>";
141 print " <td>$url</td>";
142 print " </tr>";
143 print " <tr>";
144 print " <td>ウェブサイトの名前</td>";
145 print " <td>";
146 print " <input type='text' name='sitename' size='30' value='$sitename' maxlength='2000'>";
147 print " </td>";
148 print " </tr>";
149 print " </table>";
150
151 print " <br><hr width='640'><br>";
152
153 print " <div align='center'><input type='submit' value='次へ'></div>";
154 print "</form>";
155 }
156
157 pg_freeresult($result);
158 pg_close($con);
159
160 printfooter();
161 ?>
```

```

1 <?php
2 if (!$COMMON_INC) {
3     include("common.inc");
4     $COMMON_INC = true;
5 }
6
7 // 新規登録の場合
8 if ($stype == "insert") {
9     if ($registrar != "") {
10         // Cookieを発行
11         $cookie = "ID";
12         $expire = time() + 365*24*3600;
13         setcookie($cookie, $registrar, $expire);
14         printhead("評価を登録する[3/5]");
15     } else {
16         printhead("評価を登録する[3/5]");
17         printerrorfooter("あなたのお名前を入力してください。");
18     }
19     if ($sitename == "") { printerrorfooter("ウェブサイトの名前を入力してください。"); }
20     if ($password == "") { printerrorfooter("あなたのパスワードを入力してください。<br>お持ちでない場合は<a
href=?createuser.php?>ユーザー登録</a>をお願いします。"); }
21     else {
22         // パスワード認証
23         $con = pg_pconnect("user=you dbname=privacy");
24         if ($con == false) {
25             printerrorfooter("データベースに接続できませんでした。");
26         }
27
28         $sql = "SELECT * FROM privacyuser WHERE id = '$registrar'";
29         $result = pg_exec($con, $sql);
30         if ($result == false) {
31             pg_close($con);
32             printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
33         }
34
35         $rows = pg_numrows($result); // 行数を取得
36         // $columns = pg_numfields($result); // 列数を取得
37
38         if ($rows != 1) { // 1行以外は全てはねる
39             // 未登録
40             pg_freeresult($result);
41             pg_close($con);
42             printerrorfooter("あなたのお名前とパスワードは登録されていません。<br>お持ちでない場合は<a href=?c
reateuser.php?>ユーザー登録</a>をお願いします。");
43         } else {
44             // 登録済
45             // $id = pg_result($result, 0, "id");
46             $password_ = pg_result($result, 0, "password");
47             // $idpasswordregistdate = pg_result($result, 0, "idpasswordregistdate");
48             // $email = pg_result($result, 0, "email");
49
50             if ($password != $password_) {
51                 pg_freeresult($result);
52                 pg_close($con);
53                 printerrorfooter("パスワードが違います。");
54             }
55         }
56
57         pg_freeresult($result);
58         pg_close($con);
59     }
60
61     print "<form method=?post? action=?register4.php?>\n";
62     print " <input type=?hidden? name=?type? value=?insert?>\n";
63     print " <input type=?hidden? name=?url? value=?$url?>\n";
64     // print " <input type=?hidden? name=?privacypolicyurl? value=?$privacypolicyurl?>\n";
65     print " <input type=?hidden? name=?sitename? value=?$sitename?>\n";
66     print " <input type=?hidden? name=?registrar? value=?$registrar?>\n";
67     // print " <input type=?hidden? name=?updater? value=?$updater?>\n";
68     // print " <input type=?hidden? name=?registdate? value=?$registdate?>\n";
69     // print " <input type=?hidden? name=?updatedate? value=?$updatedate?>\n";
70     // print " <input type=?hidden? name=?lastaccessdate? value=?$lastaccessdate?>\n";
71     // print " <input type=?hidden? name=?expiredate? value=?$expiredate?>\n";
72     // print " <input type=?hidden? name=?accesscount? value=?$accesscount?>\n";
73
74     print " <table border=?0? align=?center? width=?480?>\n";
75     print " <tr><th>評価を登録する[3/5]</th></tr>\n";
76     print " <tr><td>質問1: <a href=?$url? target=?_sub?>$sitename</a>のプライバシーポリシーについて
お聞きします。</td></tr>\n";
77     print " </table>";
78
79     print " <br><hr width=?640?><br>\n";
80
81     print " <table border=?0? align=?center? width=?640?>\n";
82     print " <tr>\n";

```

```

83 print "      <td>プライバシーポリシーの掲示 <a href=#"help.php#eval1%" target=#"_sub%"><img src=#"image
/help.gif%" border=#"0%" width=#"16%" height=#"16%" alt=#"ヘルプ%"></a></td>#n";
84 print "      <td>#n";
85 print "      <input type=#"radio%" name=#"eval1%" value=#"t%">あり#n";
86 print "      <input type=#"radio%" name=#"eval1%" value=#"f%" checked>なし#n";
87 print "    </td>#n";
88 print "  </tr>#n";
89 print "  <tr>#n";
90 print "    <td>プライバシーポリシーのURL<br>(掲示を「あり」にした場合)</td>#n";
91 print "    <td><input type=#"text%" name=#"privacypolicyurl%" value=#"http://%" size=#"50%" maxlength=
=#"2000%"></td>#n";
92 print "  </tr>#n";
93 print " </table>#n";
94
95 print " <br><hr width=#"640%"><br>#n";
96
97 print " <div align=#"center%"><input type=#"submit%" value=#"次へ%"></div>#n";
98 print "</form>#n";
99 }
100
101 // 既登録の場合
102 elseif ($type == "update") {
103   if ($supdater != "") {
104     // Cookieを発行
105     $cookie = "ID";
106     $expire = time() + 365*24*3600;
107     setcookie($cookie, $supdater, $expire);
108     printhead("評価を登録する[3/5]");
109   } else {
110     printhead("評価を登録する[3/5]");
111     printerrorfooter("更新者(=あなた)のお名前を入力してください。");
112   }
113   if ($sitename == "") { printerrorfooter("ウェブサイトの名前を入力してください。"); }
114   if ($password == "") { printerrorfooter("あなたのパスワードを入力してください。<br>お持ちでない場合は<a
href=#"createuser.php%">ユーザー登録</a>をお願いします。"); }
115   else {
116     // パスワード認証
117     $con = pg_pconnect("user=you dbname=privacy");
118     if ($con == false) {
119       printerrorfooter("データベースに接続できませんでした。");
120     }
121
122     $sql = "SELECT * FROM privacyuser WHERE id = '$registrar'";
123     $result = pg_exec($con, $sql);
124     if ($result == false) {
125       pg_close($con);
126       printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
127     }
128
129     $rows = pg_numrows($result); // 行数を取得
130     // $columns = pg_numfields($result); // 列数を取得
131
132     if ($rows != 1) { // 1行以外は全てはねる
133       // 未登録
134       pg_freeresult($result);
135       pg_close($con);
136       printerrorfooter("あなたのお名前とパスワードは登録されていません。<br>お持ちでない場合は<a href=#"c
reateuser.php%">ユーザー登録</a>をお願いします。");
137     } else {
138       // 登録済
139       // $id = pg_result($result, 0, "id");
140       $password_ = pg_result($result, 0, "password");
141       // $idpasswordregistdate = pg_result($result, 0, "idpasswordregistdate");
142       // $email = pg_result($result, 0, "email");
143
144       if ($password != $password_) {
145         pg_freeresult($result);
146         pg_close($con);
147         printerrorfooter("パスワードが違います。");
148       }
149     }
150
151     pg_freeresult($result);
152     pg_close($con);
153   }
154
155 print "<form method=#"post%" action=#"register4.php%">#n";
156 print " <input type=#"hidden%" name=#"type%" value=#"update%">#n";
157 print " <input type=#"hidden%" name=#"url%" value=#"$url%">#n";
158 //print " <input type=#"hidden%" name=#"privacypolicyurl%" value=#"$privacypolicyurl%">#n";
159 print " <input type=#"hidden%" name=#"sitename%" value=#"$sitename%">#n";
160 print " <input type=#"hidden%" name=#"registrar%" value=#"$registrar%">#n";
161 print " <input type=#"hidden%" name=#"updater%" value=#"$supdater%">#n";
162 //print " <input type=#"hidden%" name=#"registdate%" value=#"$registdate%">#n";
163 //print " <input type=#"hidden%" name=#"updatedate%" value=#"$updatedate%">#n";

```

```

164 //print " <input type="hidden%" name="lastaccessdate%" value="{$lastaccessdate%}">%n";
165 //print " <input type="hidden%" name="expiredate%" value="{$expiredate%}">%n";
166 //print " <input type="hidden%" name="accesscount%" value="{$accesscount%}">%n";
167 //print " <input type="hidden%" name="eval1%" value="{$eval1%}">%n";
168 print " <input type="hidden%" name="eval2%" value="{$eval2%}">%n";
169 print " <input type="hidden%" name="eval3%" value="{$eval3%}">%n";
170 print " <input type="hidden%" name="eval4%" value="{$eval4%}">%n";
171 print " <input type="hidden%" name="eval5%" value="{$eval5%}">%n";
172 print " <input type="hidden%" name="eval6%" value="{$eval6%}">%n";
173 print " <input type="hidden%" name="eval7%" value="{$eval7%}">%n";
174 print " <input type="hidden%" name="eval8%" value="{$eval8%}">%n";
175 print " <input type="hidden%" name="eval9%" value="{$eval9%}">%n";
176 print " <input type="hidden%" name="eval10%" value="{$eval10%}">%n";
177 print " <input type="hidden%" name="eval11%" value="{$eval11%}">%n";
178 print " <input type="hidden%" name="eval12%" value="{$eval12%}">%n";
179
180 print " <table border="0%" align="center%" width="480%">%n";
181 print " <tr><th>評価を登録する[3/5]</th></tr>%n";
182 print " <tr><td>質問1: <a href="{$url%" target="$_sub%">{$sitename%}</a>のプライバシーポリシーについて
お聞きします。 </td></tr>%n";
183 print " </table>";
184
185 print " <br><hr width="640%"><br>%n";
186
187 print " <table border="0%" align="center%" width="640%">%n";
188 print " <tr>%n";
189 print " <td>プライバシーポリシーは揭示されていますか? <a href="help.php#eval1%" target="$_sub%"><
img src="image/help.gif%" border="0%" width="16%" height="16%" alt="ヘルプ%"></a></td>%n";
190 print " <td>%n";
191 if ($eval1 == "t") {
192     print " <input type="radio%" name="eval1%" value="t%" checked>いる%n";
193     print " <input type="radio%" name="eval1%" value="f%">いない%n";
194     print " </td>%n";
195 } else {
196     print " <input type="radio%" name="eval1%" value="t%">いる%n";
197     print " <input type="radio%" name="eval1%" value="f%" checked>いない%n";
198     print " </td>%n";
199 }
200 print " </tr>%n";
201 print " <tr>%n";
202 print " <td>プライバシーポリシーのURL(もしあれば)</td>%n";
203 print " <td>%n";
204 if ($privacypolicyurl != "") {
205     print " <input type="text%" name="privacypolicyurl%" value="{$privacypolicyurl%" size="50%"
maxLength="2000%">%n";
206 } else {
207     print " <input type="text%" name="privacypolicyurl%" value="http://%" size="50%">%n";
208 }
209
210 print " </td>%n";
211 print " </tr>%n";
212 print " </table>%n";
213
214 print " <br><hr width="640%"><br>%n";
215
216 print " <div align="center%"><input type="submit%" value="次へ%"></div>%n";
217 print "</form>%n";
218 }
219
220 printfooter();
221 ?>

```

```

1 <?php
2 if (!$COMMON_INC) {
3     include("common.inc");
4     $COMMON_INC = true;
5 }
6
7 printhead("評価を登録する[4/5]");
8
9 // 新規登録の場合
10 if ($type == "insert") {
11     if ($eval1 == "t") {
12         if ($privacypolicyurl == "" || $privacypolicyurl == "http://") { printerrorfooter("プライバシーポリシー
13 URLを入力してください。"); }
14     } elseif ($eval1 == "f") {
15         // プライバシーポリシーがない場合は全ての評価項目をnで登録
16         $con = pg_connect("user=you dbname=privacy");
17         if ($con == false) {
18             printerrorfooter("データベースに接続できませんでした。");
19         }
20         $registdate = strftime("%Y-%m-%d");
21         $expiredate1 = strftime("%Y");
22         $expiredate1++;
23         $expiredate2 = strftime("-%m-%d");
24         $expiredate = $expiredate1 . $expiredate2;
25
26         $sql = "INSERT INTO privacy (
27             url,
28             privacypolicyurl,
29             sitename,
30             registrar,
31             updater,
32             registdate,
33             updatedate,
34             lastaccessdate,
35             expiredate,
36             accesscount,
37             eval1,eval2,eval3,eval4,eval5,eval6,eval7,eval8,eval9,eval10,eval11,eval12
38         ) VALUES (
39             '$url',
40             '',
41             '$sitename',
42             '$registrar',
43             '',
44             '$registdate',
45             NULL,
46             NULL,
47             '$expiredate',
48             0,
49             'n','n','n','n','n','n','n','n','n','n','n','n','n'
50         )";
51         $result = pg_exec($con, $sql);
52         if ($result == false) {
53             pg_close($con);
54             printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
55         }
56
57         pg_freeresult($result);
58         pg_close($con);
59
60         print "<table border='0' align='center' width='480'>\n";
61         print " <tr><th>評価を登録する[4/5(途中終了)]</th></tr>\n";
62         print " <tr><td><a href='\"$url\"' target='\"_sub\"\">$sitename</a>のプライバシーポリシーの評価を投稿しま
63 した。ご協力ありがとうございました。</td></tr>\n";
64         print "</table>";
65
66         print "<br><hr width='640'><br>";
67
68         print "<form method='post' action='view.php'>\n";
69         print " <input type='hidden' name='url' value='\"$url\"'>\n";
70         print " <div align='center'><input type='submit' value='\"確認\"></div>\n";
71         print "</form>";
72
73         printfooter();
74     }
75
76 // プライバシーポリシーがある場合は質問2へ
77 print "<form method='post' action='register5.php'>\n";
78 print " <input type='hidden' name='type' value='insert'>\n";
79
80 print " <input type='hidden' name='url' value='\"$url\"'>\n";
81 //print " <input type='hidden' name='privacypolicyurl' value='\"$privacypolicyurl\"'>\n";
82 print " <input type='hidden' name='sitename' value='\"$sitename\"'>\n";
83 print " <input type='hidden' name='registrar' value='\"$registrar\"'>\n";
84 print " <input type='hidden' name='updater' value='\"$updater\"'>\n";

```

```
84 //print " <input type=%"hidden%" name=%"registdate%" value=%"$registdate%">%n";
85 //print " <input type=%"hidden%" name=%"updatedate%" value=%"$updatedate%">%n";
86 //print " <input type=%"hidden%" name=%"lastaccessdate%" value=%"$lastaccessdate%">%n";
87 //print " <input type=%"hidden%" name=%"expiredate%" value=%"$expiredate%">%n";
88 //print " <input type=%"hidden%" name=%"accesscount%" value=%"$accesscount%">%n";
89 print " <input type=%"hidden%" name=%"eval1%" value=%"$eval1%">%n";
90
91 print " <table border=%"0%" align=%"center%" width=%"480%">%n";
92 print " <tr><th>評価を登録する[4/5]</th></tr>%n";
93 print " <tr><td>質問2: プライバシーポリシーの内容についてお聞きします。<a href=%"$url%" target=%"_sub%">$sitename</a>の";
94 if ($privacypolicyurl == "http://") {
95     $privacypolicyurl = "";
96     print "プライバシーポリシーの内容は...";
97 } else {
98     print "<a href=%"$privacypolicyurl%" target=%"_sub%">プライバシーポリシー</a>の内容は...";
99 }
100 print " <input type=%"hidden%" name=%"privacypolicyurl%" value=%"$privacypolicyurl%">%n";
101 print " </td></tr>";
102 print " </table>";
103
104 print " <br>%n";
105
106 print " <table border=%"0%" align=%"center%" width=%"640%">%n";
107 print " <tr><td colspan=%"4%" bgcolor=%"#0033E6%"><font color=%"#FFFFFF%">一般的な項目</font></td></tr>%n";
108 print " <tr>%n";
109 print " <td>個人情報を第三者へ提供 <a href=%"help.php#eval2%" target=%"_sub%"><img src=%"image/help.p.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
110 print radiobutton1("eval2", "しない", "する");
111 print " </tr>%n";
112 print " <tr>%n";
113 print " <td>個人情報管理についての内部規定 <a href=%"help.php#eval3%" target=%"_sub%"><img src=%"image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
114 print radiobutton1("eval3", "あり", "なし");
115 print " </tr>%n";
116 print " <tr>%n";
117 print " <td>個人情報管理についての社員教育 <a href=%"help.php#eval4%" target=%"_sub%"><img src=%"image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
118 print radiobutton1("eval4", "している", "していない");
119 print " </tr>%n";
120 print " <tr>%n";
121 print " <td>個人情報への不正アクセス(紛失、破壊、改ざん、漏洩など)についてのリスク認識 <a href=%"help.php#eval5%" target=%"_sub%"><img src=%"image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
122 print radiobutton1("eval5", "あり", "なし");
123 print " </tr>%n";
124 print " <tr>%n";
125 print " <td>個人情報を最新の状態で管理 <a href=%"help.php#eval6%" target=%"_sub%"><img src=%"image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
126 print radiobutton1("eval6", "している", "していない");
127 print " </tr>%n";
128 print " <tr><td colspan=%"4%" bgcolor=%"#0033E6%"><font color=%"#FFFFFF%">技術的な項目</font></td></tr>%n";
129 print " <tr>%n";
130 print " <td>個人情報の統計・利用 <a href=%"help.php#eval7%" target=%"_sub%"><img src=%"image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
131 print radiobutton1("eval7", "しない", "する");
132 print " </tr>%n";
133 print " <tr>%n";
134 print " <td>動的な個人情報の収集 <a href=%"help.php#eval8%" target=%"_sub%"><img src=%"image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
135 print radiobutton1("eval8", "しない", "する");
136 print " </tr>%n";
137 print " <tr><td colspan=%"4%" bgcolor=%"#0033E6%"><font color=%"#FFFFFF%">禁止項目</font></td></tr>%n";
138 print " <tr>%n";
139 print " <td>特定の機微な個人情報(宗教、人種、身体・精神障害・犯罪歴など)の収集 <a href=%"help.php#eval9%" target=%"_sub%"><img src=%"image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
140 print radiobutton1("eval9", "しない", "する");
141 print " </tr>%n";
142 print " <tr><td colspan=%"4%" bgcolor=%"#0033E6%"><font color=%"#FFFFFF%">苦情・相談対応項目</font></td></tr>%n";
143 print " <tr>%n";
144 print " <td>情報主体からの自己の個人情報の開示要求 <a href=%"help.php#eval10%" target=%"_sub%"><img src=%"image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
145 print radiobutton1("eval10", "応じる", "応じない");
146 print " </tr>%n";
147 print " <tr>%n";
148 print " <td>開示の結果誤った情報があった場合の削除・訂正 <a href=%"help.php#eval11%" target=%"_sub%"><img src=%"image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
149 print radiobutton1("eval11", "応じる", "応じない");
150 print " </tr>%n";
151 print " <tr>%n";
```

```

152 print "      <td>個人情報に関する苦情・相談 <a href=\"%help.php#eval12%\" target=\"%_sub%\"><img src=\"%im
age/help.gif%\" border=\"%0%\" width=\"%16%\" height=\"%16%\" alt=\"%ヘルプ%\"></a></td>%n";
153 print radiobutton("eval12", "応じる", "応じない");
154 print "    </tr>%n";
155 print "  </table>%n";
156
157 print "  <br><hr width=\"%640%\"><br>%n";
158
159 print "  <div align=\"%center%\"><input type=\"%submit%\" value=\"%登録%\"></div>%n";
160 print "</form>%n";
161 }
162
163 // 既登録の場合
164 elseif ($type == "update") {
165   if ($eval1 == "t" && $privacypolicyurl == "" || $privacypolicyurl == "http://") {
166     printerrorfooter("プライバシーポリシーURLを入力してください。");
167   } elseif ($eval1 == "f") {
168     // プライバシーポリシーがない場合は全ての評価項目をnで登録
169     $con = pg_pconnect("user=you dbname=privacy");
170     if ($con == false) {
171       printerrorfooter("データベースに接続できませんでした。");
172     }
173
174     $updatedate = strftime("%Y-%m-%d");
175     $expiredate1 = strftime("%Y");
176     $expiredate1++;
177     $expiredate2 = strftime("-%m-%d");
178     $expiredate = $expiredate1 . $expiredate2;
179
180     $sql = "UPDATE privacy SET
181       privacypolicyurl = '$privacypolicyurl',
182       sitename = '$sitename',
183       updater = '$updater',
184       updatedate = '$updatedate',
185       expiredate = '$expiredate',
186       eval1 = 'n',
187       eval2 = 'n',
188       eval3 = 'n',
189       eval4 = 'n',
190       eval5 = 'n',
191       eval6 = 'n',
192       eval7 = 'n',
193       eval8 = 'n',
194       eval9 = 'n',
195       eval10 = 'n',
196       eval11 = 'n',
197       eval12 = 'n'
198     WHERE url = '$url'";
199     //url = '$url',
200     //registrar = '$registrar',
201     //registdate = '$registdate',
202     //lastaccessdate = '$lastaccessdate',
203     //accesscount = '$accesscount',
204     $result = pg_exec($con, $sql);
205     if ($result == false) {
206       pg_close($con);
207       printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
208     }
209
210     pg_freeresult($result);
211     pg_close($con);
212
213     print "<table border=\"%0%\" align=\"%center%\" width=\"%480%\">%n";
214     print "  <tr><th>評価を登録する[4/5(途中終了)]</th></tr>%n";
215     print "  <tr><td><a href=\"%url%\" target=\"%_sub%\">$sitename</a>のプライバシーポリシーの評価を投稿しま
した。ご協力ありがとうございました。</td></tr>%n";
216     print "</table>";
217
218     print "  <br><hr width=\"%640%\"><br>%n";
219
220     print "<form method=\"%post%\" action=\"%view.php%\">%n";
221     print "  <input type=\"%hidden%\" name=\"%url%\" value=\"%url%\">%n";
222     print "  <div align=\"%center%\"><input type=\"%submit%\" value=\"%確認%\"></div>%n";
223     print "</form>%n";
224
225     printfooter();
226   }
227
228 // プライバシーポリシーがある場合は質問2へ
229 print "<form method=\"%post%\" action=\"%register5.php%\">%n";
230 print "  <input type=\"%hidden%\" name=\"%type%\" value=\"%update%\">%n";
231
232 print "  <input type=\"%hidden%\" name=\"%url%\" value=\"%url%\">%n";
233 //print "  <input type=\"%hidden%\" name=\"%privacypolicyurl%\" value=\"%privacypolicyurl%\">%n";
234 print "  <input type=\"%hidden%\" name=\"%sitename%\" value=\"%sitename%\">%n";

```

```
235 print " <input type=%"hidden%" name=%"registrar%" value=%"$registrar%">%n";
236 print " <input type=%"hidden%" name=%"updater%" value=%"$updater%">%n";
237 //print " <input type=%"hidden%" name=%"registdate%" value=%"$registdate%">%n";
238 //print " <input type=%"hidden%" name=%"updatedate%" value=%"$updatedate%">%n";
239 //print " <input type=%"hidden%" name=%"lastaccessdate%" value=%"$lastaccessdate%">%n";
240 //print " <input type=%"hidden%" name=%"expiredate%" value=%"$expiredate%">%n";
241 //print " <input type=%"hidden%" name=%"accesscount%" value=%"$accesscount%">%n";
242 print " <input type=%"hidden%" name=%"eval1%" value=%"$eval1%">%n";
243
244 print " <table border=%"0%" align=%"center%" width=%"480%">%n";
245 print " <tr><th>評価を登録する[4/5]</th></tr>%n";
246 print " <tr><td>質問2: プライバシーポリシーの内容についてお聞きします。<a href=%"$url1%" target=%"_su
b%">$sitename</a>の";
247 if ($privacypolicyurl == "http://") {
248     $privacypolicyurl = "";
249     print " プライバシーポリシーの内容は...";
250 } else {
251     print " <a href=%"$privacypolicyurl%" target=%"_sub%">プライバシーポリシー</a>の内容は...";
252 }
253 print " <input type=%"hidden%" name=%"privacypolicyurl%" value=%"$privacypolicyurl%">%n";
254 print " </td></tr>";
255 print " </table>";
256
257 print " <br>%n";
258
259 print " <table border=%"0%" align=%"center%" width=%"640%">%n";
260 print " <tr><td colspan=%"4%" bgcolor=%"#0033E6%"><font color=%"#FFFFFF%">一般的な項目</font></td></
tr>%n";
261 print " <tr>%n";
262 print " <td>個人情報を第三者へ提供 <a href=%"help.php#eval2%" target=%"_sub%"><img src=%"image/hel
p.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
263 print radiobutton2($eval2, "eval2", "しない", "する");
264 print " </tr>%n";
265 print " <tr>%n";
266 print " <td>個人情報管理についての内部規定 <a href=%"help.php#eval3%" target=%"_sub%"><img src=%"i
mage/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
267 print radiobutton2($eval3, "eval3", "あり", "なし");
268 print " </tr>%n";
269 print " <tr>%n";
270 print " <td>個人情報管理についての社員教育 <a href=%"help.php#eval4%" target=%"_sub%"><img src=%"
image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
271 print radiobutton2($eval4, "eval4", "している", "していない");
272 print " </tr>%n";
273 print " <tr>%n";
274 print " <td>個人情報への不正アクセス(紛失、破壊、改ざん、漏洩など)についてのリスク認識 <a href=%
"help.php#eval5%" target=%"_sub%"><img src=%"image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt
=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
275 print radiobutton2($eval5, "eval5", "あり", "なし");
276 print " </tr>%n";
277 print " <tr>%n";
278 print " <td>個人情報を最新の状態で管理 <a href=%"help.php#eval6%" target=%"_sub%"><img src=%"ima
ge/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
279 print radiobutton2($eval6, "eval6", "している", "していない");
280 print " </tr>%n";
281 print " <tr><td colspan=%"4%" bgcolor=%"#0033E6%"><font color=%"#FFFFFF%">技術的な項目</font></td></
tr>%n";
282 print " <tr>%n";
283 print " <td>個人情報の統計・利用 <a href=%"help.php#eval7%" target=%"_sub%"><img src=%"image/hel
p.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
284 print radiobutton2($eval7, "eval7", "しない", "する");
285 print " </tr>%n";
286 print " <tr>%n";
287 print " <td>動的な個人情報の収集 <a href=%"help.php#eval8%" target=%"_sub%"><img src=%"image/hel
p.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
288 print radiobutton2($eval8, "eval8", "しない", "する");
289 print " </tr>%n";
290 print " <tr><td colspan=%"4%" bgcolor=%"#0033E6%"><font color=%"#FFFFFF%">禁止項目</font></td></tr>%
n";
291 print " <tr>%n";
292 print " <td>特定の機微な個人情報(宗教、人種、身体・精神障害・犯罪歴など)の収集 <a href=%"help.ph
p#eval9%" target=%"_sub%"><img src=%"image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘル
プ%"></a></td>%n";
293 print radiobutton2($eval9, "eval9", "しない", "する");
294 print " </tr>%n";
295 print " <tr><td colspan=%"4%" bgcolor=%"#0033E6%"><font color=%"#FFFFFF%">苦情・相談対応項目</font><
/td></tr>%n";
296 print " <tr>%n";
297 print " <td>情報主体からの自己の個人情報の開示要求 <a href=%"help.php#eval10%" target=%"_sub%"><
img src=%"image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
298 print radiobutton2($eval10, "eval10", "応じる", "応じない");
299 print " </tr>%n";
300 print " <tr>%n";
301 print " <td>開示の結果誤った情報があった場合の削除・訂正 <a href=%"help.php#eval11%" target=%"_s
ub%"><img src=%"image/help.gif%" border=%"0%" width=%"16%" height=%"16%" alt=%"ヘルプ%"></a></td>%n";
302 print radiobutton2($eval11, "eval11", "応じる", "応じない");
```

```

303 print "    </tr>¥n";
304 print "    <tr>¥n";
305 print "        <td>個人情報に関するの苦情・相談 <a href=¥"help.php#eval12¥" target=¥"_sub¥"><img src=¥"
image/help.gif¥" border=¥"0¥" width=¥"16¥" height=¥"16¥" alt=¥"ヘルプ¥"></a></td>¥n";
306 printradiobutton2($eval12, "eval12", "応じる", "応じない");
307 print "    </tr>¥n";
308 print " </table>¥n";
309
310 print " <br><hr width=¥"640¥"><br>¥n";
311
312 print " <div align=¥"center¥"><input type=¥"submit¥" value=¥"登録¥"></div>¥n";
313 print "</form>¥n";
314 }
315
316 printfooter();
317
318 // ラジオボタン表示1
319 function printradiobutton1 ($evalname, $trueword, $falseword) {
320 print "        <td nowrap><input type=¥"radio¥" name=¥"$evalname¥" value=¥"t¥">$trueword</td>¥n";
321 print "        <td nowrap><input type=¥"radio¥" name=¥"$evalname¥" value=¥"f¥">$falseword</td>¥n";
322 print "        <td nowrap><input type=¥"radio¥" name=¥"$evalname¥" value=¥"n¥" checked>不明</td>¥n";
323 }
324
325 // ラジオボタン表示2
326 function printradiobutton2 ($mode, $evalname, $trueword, $falseword) {
327 if ($mode == "t") {
328 print "        <td nowrap><input type=¥"radio¥" name=¥"$evalname¥" value=¥"t¥" checked>$trueword</td>
¥n";
329 print "        <td nowrap><input type=¥"radio¥" name=¥"$evalname¥" value=¥"f¥">$falseword</td>¥n";
330 print "        <td nowrap><input type=¥"radio¥" name=¥"$evalname¥" value=¥"n¥">不明</td>¥n";
331 } elseif ($mode == "f") {
332 print "        <td nowrap><input type=¥"radio¥" name=¥"$evalname¥" value=¥"t¥">$trueword</td>¥n";
333 print "        <td nowrap><input type=¥"radio¥" name=¥"$evalname¥" value=¥"f¥" checked>$falseword</td>
¥n";
334 print "        <td nowrap><input type=¥"radio¥" name=¥"$evalname¥" value=¥"n¥">不明</td>¥n";
335 } elseif ($mode == "n") {
336 print "        <td nowrap><input type=¥"radio¥" name=¥"$evalname¥" value=¥"t¥">$trueword</td>¥n";
337 print "        <td nowrap><input type=¥"radio¥" name=¥"$evalname¥" value=¥"f¥">$falseword</td>¥n";
338 print "        <td nowrap><input type=¥"radio¥" name=¥"$evalname¥" value=¥"n¥" checked>不明</td>¥n";
339 }
340 }
341 ?>

```

```
1 <?php
2 if (!$COMMON_INC) {
3     include("common.inc");
4     $COMMON_INC = true;
5 }
6
7 printhead("評価を登録する[5/5]");
8
9 // 新規登録の場合
10 if ($type == "insert") {
11     if ($eval1 == "" || $eval2 == "" || $eval3 == "" || $eval4 == "" || $eval5 == "" || $eval6 == "" || $eval7 == "" || $eval8 == "" || $eval9 == "" || $eval10 == "" || $eval11 == "" || $eval12 == "") {
12         printerrorfooter("プライバシーポリシーの内容について全て入力してください。");
13     }
14
15     $con = pg_pconnect("user=you dbname=privacy");
16     if ($con == false) {
17         printerrorfooter("データベースに接続できませんでした。");
18     }
19
20     $registdate = strftime("%Y-%m-%d");
21     $sql = "INSERT INTO privacy (
22         url,
23         privacyurl,
24         sitename,
25         registrar,
26         updater,
27         registdate,
28         updatedate,
29         lastaccessdate,
30         expiredate,
31         accesscount,
32         eval1,eval2,eval3,eval4,eval5,eval6,eval7,eval8,eval9,eval10,eval11,eval12
33     ) VALUES (
34         '$url',
35         '$privacyurl',
36         '$sitename',
37         '$registrar',
38         '',
39         '$registdate',
40         NULL,
41         NULL,
42         NULL,
43         0,
44         '$eval1','$eval2','$eval3','$eval4','$eval5','$eval6','$eval7','$eval8','$eval9','$eval10','$eval11','$eval12'
45     )";
46 }
47
48 // 既登録の場合
49 elseif ($type == "update") {
50     if ($eval1 == "" || $eval2 == "" || $eval3 == "" || $eval4 == "" || $eval5 == "" || $eval6 == "" || $eval7 == "" || $eval8 == "" || $eval9 == "" || $eval10 == "" || $eval11 == "" || $eval12 == "") {
51         printerrorfooter("プライバシーポリシーの内容について全て入力してください。");
52     }
53
54     $con = pg_pconnect("user=you dbname=privacy");
55     if ($con == false) {
56         printerrorfooter("データベースに接続できませんでした。");
57     }
58
59     $updatedate = strftime("%Y-%m-%d");
60     $expiredate1 = strftime("%Y");
61     $expiredate1++;
62     $expiredate2 = strftime("-%m-%d");
63     $expiredate = $expiredate1 . $expiredate2;
64
65     $sql = "UPDATE privacy SET
66         privacyurl = '$privacyurl',
67         sitename = '$sitename',
68         updater = '$updater',
69         updatedate = '$updatedate',
70         expiredate = '$expiredate',
71         eval1 = '$eval1',
72         eval2 = '$eval2',
73         eval3 = '$eval3',
74         eval4 = '$eval4',
75         eval5 = '$eval5',
76         eval6 = '$eval6',
77         eval7 = '$eval7',
78         eval8 = '$eval8',
79         eval9 = '$eval9',
80         eval10 = '$eval10',
81         eval11 = '$eval11',
82         eval12 = '$eval12'
```

```
83     WHERE url = '$url';
84     //url = '$url',
85     //registrar = '$registrar',
86     //registdate = '$registdate',
87     //lastaccessdate = '$lastaccessdate',
88     //accesscount = '$accesscount',
89 }
90
91 // SQLの実行
92 $result = pg_exec($con, $sql);
93 if ($result == false) {
94     pg_close($con);
95     printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
96 }
97
98 pg_freeresult($result);
99 pg_close($con);
100
101 print "<table border=¥"0¥" align=¥"center¥" width=¥"480¥">¥n";
102 print " <tr><th>評価を登録する[5/5]</th></tr>¥n";
103 print " <tr><td><a href=¥"$url¥" target=¥"¥_sub¥">¥sitename</a>のプライバシーポリシーの評価を投稿しました
104     。ご協力ありがとうございました。</td></tr>¥n";
105 print "</table>";
106 print "<br><hr width=¥"640¥"><br>¥n";
107
108 print "<form method=¥"post¥" action=¥"view.php¥">¥n";
109 print " <input type=¥"hidden¥" name=¥"url¥" value=¥"$url¥">¥n";
110 print " <div align=¥"center¥"><input type=¥"submit¥" value=¥"確認¥"></div>¥n";
111 print "</form>¥n";
112
113 printfooter();
114 ?>
```

```
1 <?php
2 if (!$COMMON_INC) {
3     include("common.inc");
4     $COMMON_INC = true;
5 }
6
7 printhead("ユーザー情報");
8
9 if ($id == "") {
10    print "<table border=0%\" align=中心%\" width=480%\">%n";
11    print " <tr><th>ユーザー情報</th></tr>%n";
12    print " <tr><td align=中心%\">情報を見るお名前を指定してください。<br> <a href= \"userlist.php%\">ユーザー一覧</a></td></tr>%n";
13    print "</table>";
14
15    print "<br><hr width=640%\"><br>%n";
16
17    print "<form method= \"post%\" action= \"userinfo.php%\">%n";
18    print " <table border=0%\" align=中心%\" width=640%\">%n";
19    print " <tr><td align=中心%\">お名前 <input type= \"text%\" name= \"id%\" size=50%\" maxlength=2000%\"></td></tr>%n";
20    print " </table>%n";
21
22    print " <br><hr width=640%\"><br>%n";
23
24    print " <div align=中心%\"><input type= \"submit%\" value= \"見る%\"></div>%n";
25    print "</form>%n";
26
27    printfooter();
28 }
29
30 $con = pg_pconnect("user=you dbname=privacy");
31 if ($con == false) {
32    printerrorfooter("データベースに接続できませんでした。");
33 }
34
35 // 当該のユーザー情報を確認
36 $sql = "SELECT idpasswordregistdate,email,emailflag,evalyes,evalno FROM privacyuser WHERE id = '$id'";
37 $result = pg_exec($con, $sql);
38 if ($result == false) {
39    pg_close($con);
40    printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
41 }
42 $rows = pg_numrows($result); // 行数を取得
43 // $columns = pg_numfields($result); // 列数取得
44
45 if ($rows != 1) { // 1行でなければ全てはねる
46    printerrorfooter("$idさんは登録されていないか、登録解除された可能性があります。");
47 }
48
49 // $id = pg_result($result, 0, "id");
50 // $password = pg_result($result, 0, "password");
51 $idpasswordregistdate = pg_result($result, 0, "idpasswordregistdate");
52 $email = pg_result($result, 0, "email");
53 $emailflag = pg_result($result, 0, "emailflag");
54 $evalyes = pg_result($result, 0, "evalyes");
55 $evalno = pg_result($result, 0, "evalno");
56
57 if ($evalyes == 0 && $evalno == 0) {
58    $relation = "?%(まだ表示できません)";
59 } else {
60    $relation = ($evalyes + $evalno) / ($evalyes + abs($evalno)) * 100;
61    $relation = number_format($relation) . "%";
62 }
63
64 // 当該のユーザーのプライバシーポリシー評価数を確認
65 $sql = "SELECT COUNT(*) FROM privacy WHERE registrar = '$id' OR updater = '$id'";
66 $result = pg_exec($con, $sql);
67 if ($result == false) {
68    pg_close($con);
69    printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
70 }
71
72 $count = pg_result($result, 0, "count");
73
74 // ユーザー情報を表示
75 print "<table border=0%\" align=中心%\" width=480%\">%n";
76 print " <tr><th>ユーザー情報</th></tr>%n";
77 print " <tr><td align=中心%\">$idさんの情報です。</td></tr>%n";
78 print "</table>";
79
80 print "<br><hr width=640%\"><br>%n";
81
82 print "<table border=0%\" align=中心%\" width=480%\">%n";
83 print " <tr><td>評価登録数:</td><td>$count</td></tr>%n";
```

```
84 print " <tr><td>他者からの賛成票(+):</td><td>$evalyes</td></tr>¥n";
85 print " <tr><td>他者からの否定票(-):</td><td>$evalno</td></tr>¥n";
86 print " <tr><td>他者からの信頼度:</td><td>$relation</td></tr>¥n";
87 print " <tr><td>メールアドレス:</td>";
88 if ($emailflag == "t") {
89   print "<td><a href=¥\"mailto:$email¥\">公開</a></td></tr>¥n";
90 } else {
91   print "<td>非公開</td></tr>¥n";
92 }
93 print " <tr><td>登録日時:</td><td>$idpasswordregistdate</td></tr>¥n";
94 print "</table>";
95
96 print "<br>";
97
98 pg_freeresult($result);
99 pg_close($con);
100
101 print footer();
102 ?>
```

```
1 <?php
2 if (!$COMMON_INC) {
3     include("common.inc");
4     $COMMON_INC = true;
5 }
6
7 // セッション管理
8 session_start();
9 session_register("evaldid");
10
11 printhead("ユーザー評価");
12
13 if ($registrar == "" && $updater == "") { printerrorfooter("呼び出し方法が不正です。"); }
14 if ($relation == "") { printerrorfooter("信頼できるかできないかを選択してください。"); }
15
16 $con = pg_pconnect("user=you dbname=privacy");
17 if ($con == false) {
18     printerrorfooter("データベースに接続できませんでした。");
19 }
20
21 // 当該のユーザー評価を更新
22 if ($updater != "") {
23     $id = $updater;
24 } else {
25     $id = $registrar;
26 }
27
28 // 自作自演禁止
29 if ($id == $HTTP_COOKIE_VARS["ID"]) {
30     printerrorfooter("自分自身の行った評価には投票できません。");
31 }
32
33 // 多重投票禁止
34 if ($evaldid != "" && $evaldid == $id) {
35     printerrorfooter("連続してボタンを押さないでください。");
36 } else {
37     if ($relation == "yes") {
38         $sql = "UPDATE privacyuser SET evalyes = evalyes + 1 WHERE id = '$id'";
39     } elseif ($relation == "no") {
40         $sql = "UPDATE privacyuser SET evalno = evalno - 1 WHERE id = '$id'";
41     }
42     $evaldid = $id;
43 }
44
45 $result = pg_exec($con, $sql);
46 if ($result == false) {
47     pg_close($con);
48     printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
49 }
50
51 print "<table border='0' align='center' width='480'>\n";
52 print " <tr><th>ユーザー評価</th></tr>\n";
53 print " <tr><td align='center'>$id さんに";
54 if ($relation == "yes") {
55     print "賛成票を投じました。</td></tr>\n";
56 } elseif ($relation == "no") {
57     print "否定票を投じました。</td></tr>\n";
58 }
59 print "</table>";
60
61 print "<br><hr width='640'><br>\n";
62
63 print "<form method='post' action='userinfo.php'>\n";
64 print " <input type='hidden' name='id' value='$id'>\n";
65 print " <div align='center'><input type='submit' value='確認'></div>\n";
66 print "</form>\n";
67
68 pg_freeresult($result);
69 pg_close($con);
70
71 printfooter("");
72 ?>
```

```
1 <?php
2 if (!$COMMON_INC) {
3     include("common.inc");
4     $COMMON_INC = true;
5 }
6
7 $title = "このウェブサイトのプライバシーポリシーURL";
8
9 if ($url == "") {
10    printhead($title);
11    printerrorfooter("URLを入力してください。");
12 }
13
14 $con = pg_pconnect("user=you dbname=privacy");
15 if ($con == false) {
16    printhead($title);
17    printerrorfooter("データベースに接続できませんでした。");
18 }
19
20 // 当該ウェブサイトのプライバシーポリシーを確認
21 $sql = "SELECT * FROM privacy WHERE url = '$url'";
22 $result = pg_exec($con, $sql);
23 if ($result == false) {
24    pg_close($con);
25    printhead($title);
26    printerrorfooter("$sql の実行に失敗しました。");
27 }
28
29 $rows = pg_numrows($result);          // 行数を取得
30 //$columns = pg_numfields($result);   // 列数を取得
31 if ($rows != 1) {
32    printhead($title);
33    printerrorfooter("このウェブサイトのプライバシーポリシーURLは登録されていませんでした。");
34 }
35
36 $url = pg_result($result, 0, "url");
37 $privacypolicyurl = pg_result($result, 0, "privacypolicyurl");
38 $sitename = pg_result($result, 0, "sitename");
39
40 pg_freeresult($result);
41 pg_close($con);
42
43 if ($privacypolicyurl == "") {
44    printhead($title);
45    printerrorfooter("<a href='\"$url\"' target='\"_sub\"'>$sitename</a>のプライバシーポリシーURLは登録されてい
46    ませんでした。");
47 } else {
48    Header("Location: $privacypolicyurl\n\n");
49 }
?>
```

実験アンケート(1/2)

お名前 :
メールアドレス(*ご連絡以外には使いません) :

「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーによると、このウェブサイトは

- | | |
|--|---------------|
| 1. 個人情報を第三者へ提供していますか? | しない・する・不明 |
| 2. 個人情報管理についての内部規定はありますか? | あり・なし・不明 |
| 3. 個人情報管理についての社員教育はしていますか? | している・していない・不明 |
| 4. 個人情報への不正アクセス(紛失、破壊、改ざん、漏洩など)についてのリスク認識はありますか? | あり・なし・不明 |
| 5. 個人情報を最新の状態で管理していますか? | している・していない・不明 |
| 6. 個人情報の統計・利用をしていますか? | しない・する・不明 |
| 7. 動的な個人情報の収集(アクセスログ・クッキーなど)をしていますか? | しない・する・不明 |
| 8. 特定の機微な個人情報(宗教、人種、身体・精神障害・犯罪歴など)の収集をしていますか? | しない・する・不明 |
| 9. 情報主体からの自己の個人情報の開示要求には応じますか? | 応じる 応じない 不明 |
| 10. 開示の結果誤った情報があった場合の削除・訂正には応じますか? | 応じる・応じない・不明 |
| 11. 個人情報に関する苦情・相談には応じますか? | 応じる・応じない・不明 |

「asahi.com」のプライバシーポリシーによると、このウェブサイトは

- | | |
|--|---------------|
| 1. 個人情報を第三者へ提供していますか? | しない・する・不明 |
| 2. 個人情報管理についての内部規定はありますか? | あり・なし・不明 |
| 3. 個人情報管理についての社員教育はしていますか? | している・していない・不明 |
| 4. 個人情報への不正アクセス(紛失、破壊、改ざん、漏洩など)についてのリスク認識はありますか? | あり・なし・不明 |
| 5. 個人情報を最新の状態で管理していますか? | している・していない・不明 |
| 6. 個人情報の統計・利用をしていますか? | しない・する・不明 |
| 7. 動的な個人情報の収集(アクセスログ・クッキーなど)をしていますか? | しない・する・不明 |
| 8. 特定の機微な個人情報(宗教、人種、身体・精神障害・犯罪歴など)の収集をしていますか? | しない・する・不明 |
| 9. 情報主体からの自己の個人情報の開示要求には応じますか? | 応じる 応じない 不明 |
| 10. 開示の結果誤った情報があった場合の削除・訂正には応じますか? | 応じる・応じない・不明 |
| 11. 個人情報に関する苦情・相談には応じますか? | 応じる・応じない・不明 |

実験アンケート(2/2)

「Mainichi INTERACTIVE」のプライバシーポリシーを読む際

1. プライバシーポリシーはすぐに探せましたか?
はい・どちらかといえば はい・どちらかといえば いいえ・いいえ
わからない(理由...)
2. 自分の個人情報をこのサイトに提供しても「良い」か「悪い」かは判断できましたか?
はい・どちらかといえば はい・どちらかといえば いいえ・いいえ
わからない(理由...)

「アサヒ・コム」のプライバシーポリシーを「プライバシーポリシー評価」ツールバーを使って読む際

1. プライバシーポリシーはすぐに探せましたか?
はい・どちらかといえば はい・どちらかといえば いいえ・いいえ
わからない(理由...)
2. 総合評価(点数)は参考になりましたか?
はい・どちらかといえば はい・どちらかといえば いいえ・いいえ
わからない(理由...)
3. 自分の個人情報をこのサイトに提供しても「良い」か「悪い」かは判断できましたか?
はい・どちらかといえば はい・どちらかといえば いいえ・いいえ
わからない(理由...)
4. 他者によるプライバシーポリシー評価は参考になるとおもいますか?
はい・どちらかといえば はい・どちらかといえば いいえ・いいえ
わからない(理由...)
5. 多くの人があるプライバシーポリシー評価を信頼している場合、自分もそのプライバシーポリシー評価を信頼できると思いますか?
はい・どちらかといえば はい・どちらかといえば いいえ・いいえ
わからない(理由...)
6. プライバシーポリシー評価の項目は妥当だと思いますか?
はい・どちらかといえば はい・どちらかといえば いいえ・いいえ
わからない(理由...)
7. ご意見・ご感想をお書きください(良かった点、改善した方がよい点など).

--